

MessagePRO 日本語版  
ユーザマニュアル  
Ver.4. 8. 41. 59

Last revision: 2014/03/10

<b>1. はじめに</b>	<b>4</b>
1.1. MessagePRO 必要システム	4
1.2. MessagePRO のインストール・アンインストール	4
1.2.1. インストール	4
1.2.2. アンインストール	7
1.3. MessagePRO について	9
1.4. MessagePRO の画面構成	10
1.4.1. メッセージ画面	11
1.4.2. 各種設定画面	12
1.4.3. PC ツール画面	13
1.5. お断り	14
<b>2. メッセージ作成・編集・印刷の流れ</b>	<b>15</b>
2.1. メッセージ編集画面の基本	15
2.2. メッセージ作成・編集手順	16
2.2.1. メッセージの新規作成手順	16
2.2.2. 既存メッセージの編集手順	19
<b>3. オブジェクト</b>	<b>22</b>
3.1. オブジェクトについて	22
3.1.1. オブジェクトの新規追加	23
3.1.2. オブジェクトの移動	23
3.1.3. オブジェクトの削除	23
3.1.4. オブジェクトの各種情報変更	23
3.1.5. オブジェクトのコピー	23
3.1.6. オブジェクトの貼り付け	23
3.2. テキスト	23
3.3. Windows フォント	24
3.4. ロゴ	24
3.5. 現在日付	25
3.6. 未来日付	26
3.7. シフトコード	26
3.8. カウンタ	27
3.9. ロット・ボックスカウンタ	27
3.10. バーコード	28
3.11. 文字列	31
<b>4. 各種設定</b>	<b>32</b>
4.1. その他設定	32
4.1.1. 使用単位	32
4.1.2. 画面バックライト節電	32
4.1.3. サマータイム制	32
4.2. アラーム設定	32
4.2.1. アラームキット	32
4.2.2. カウンタアラーム使用	32
4.2.3. プッシュ音使用	32
4.2.4. 印刷時ビープ音	32

# MessagePRO ユーザマニュアル

---

4.3. 編集設定 .....	32
4.3.1. その他 .....	33
4.3.2. ゼロサプレス .....	33
4.3.3. シフトコード .....	33
4.3.4. 日付・時刻書式 .....	33
4.4. 印刷設定 .....	36
4.4.1. プリントヘッド .....	36
4.4.2. プレページ .....	36
4.4.3. センサ .....	36
4.4.4. エンコーダ・ライン速度 .....	37
4.4.5. 繰返し印刷 .....	37
4.4.6. 印刷画面モード .....	37
4.5. システム情報 .....	38
4.5.1. MessagePRO .....	38
4.5.2. SD カード .....	38

## **5. PC ツール .....** **39**

5.1. ユーザアカウント .....	39
5.1.1. ログイン設定 .....	39
5.1.2. ユーザ管理 .....	40
5.1.3. ログアウト .....	44
5.2. システムバックアップ・リストア .....	44
5.2.1. バックアップ .....	45
5.2.2. リストア .....	46
5.3. その他 .....	48
5.3.1. ロゴ .....	48
5.3.2. 登録 .....	51

## **6. トラブルシューティング .....** **52**

## 1. はじめに

### 1.1. MessagePRO 必要システム

MessagePRO を動作させるためには、以下のようなシステムが必要です。

- ① : **OS**…Microsoft Windows 2000、Windows XP、Windows 7 (32bit 版)
- ② : **コンピュータ本体**…上記 OS が正常に動作するコンピュータ。
- ③ : **メモリ**…512MB 以上推奨。
- ④ : **ハードディスク**…30MB 以上の空き容量。
- ⑤ : **ディスプレイ**…1024×768 以上の高解像度ディスプレイアダプタを推奨。
- ⑥ : **ポート**…USB ポート (カードリーダー接続に必要。)
- ⑦ : **その他**…キーボード、マウス

### 1.2. MessagePRO のインストール・アンインストール

#### 1.2.1. インストール

MessagePRO のインストール用プログラムは、U2 内蔵の SD カード内に保存されています。以下の手順に従ってインストールを行ってください。なお、以下の手順は Windows XP でのものです。他の OS では、画面表示などが異なります。

- ① **SD カードの用意**…U2 コントローラの電源が落ちていることを確認した後、コントローラ上部から SD カードを抜いてください。この際、一旦下に押し込むと、上へ飛び出してきます。



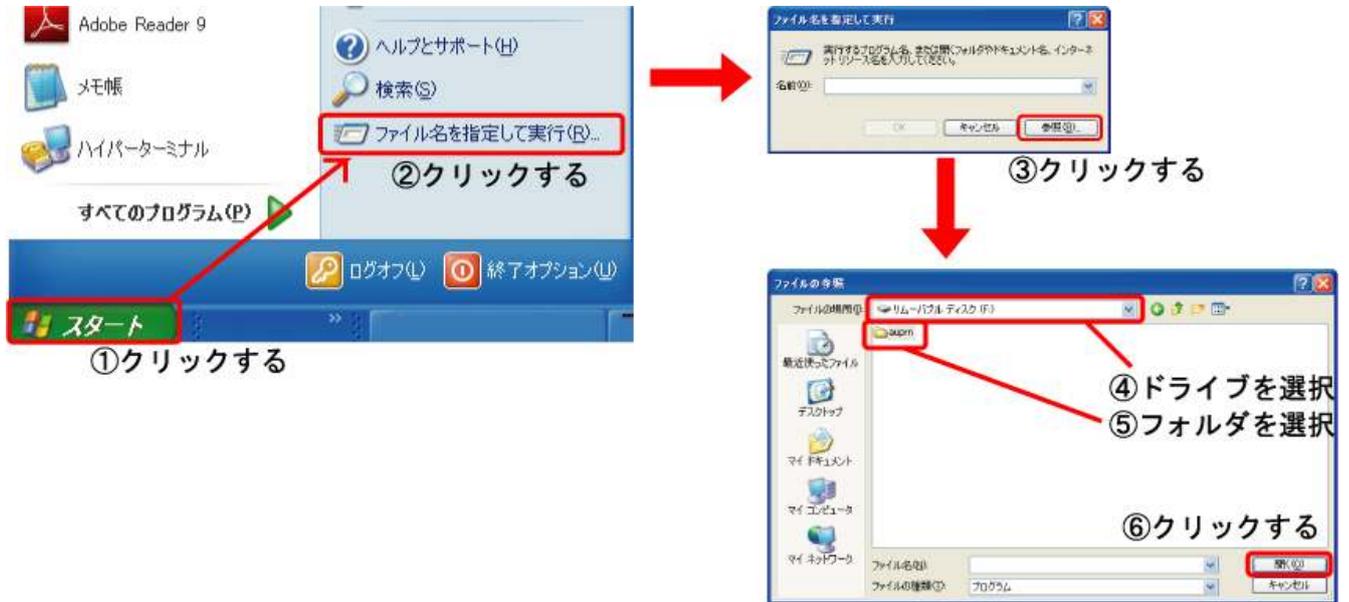
一旦押し下げてから、引き抜く。

- ② **PC への接続**…付属のカードリーダーを PC に挿し込み、そのカードリーダーに SD カードを挿し込んでください。(カードリーダー内蔵の PC の場合は、そちらを利用しても構いません。)



# MessagePRO ユーザマニュアル

- ③ **インストーラの呼び出し**…Windows のスタートボタン→ファイル名を指定して実行をクリックします。ファイル名を指定して実行画面が表示されますので、参照ボタン  をクリックして、参照画面を表示させ、ファイルの場所で今挿し込んだSDカードのドライブ名を選択し、さらにその中にあるauprn フォルダを選択し、さらに U2 Program フォルダを選択して、開くボタン  をクリックします。



- ④ **インストーラの呼び出し 2**…ファイル一覧にある U2\_MessagePRO \*. \*. \*\*\*\*. \*\*\*. exe (\*. \*. \*\*\*\*. \*\*\*はバージョン番号) を選択し、開くボタン  をクリックします。ファイル名を指定して実行画面に戻ったら OK ボタン  をクリックします。



- ⑤ **MessagePRO インストーラの起動**…以下のような画面が表示されますので、OK ボタン  をクリックします。



# MessagePRO ユーザマニュアル

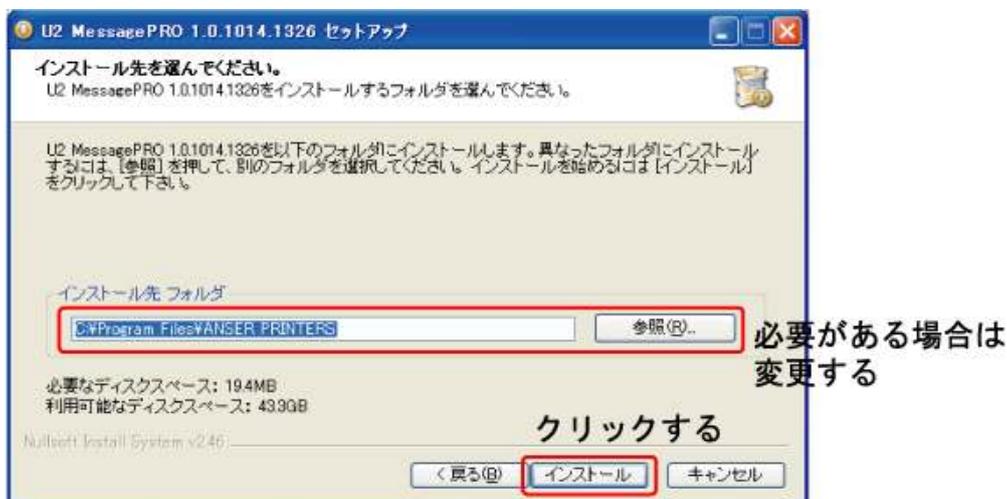
- ⑥ **使用言語の選択**…以下のような**使用言語選択画面**が表示されますので、**Japanese**が選択されていることを確認し、**OK ボタン**  をクリックします。



- ⑦ **インストールの実行**…以下のような画面が表示されますので、**次へボタン**  をクリックします。



- ⑧ **インストール先の指定**…以下のような、MessagePRO のインストール先フォルダを指定する画面が表示されます。通常は値を変更せずに、**インストールボタン**  をクリックし、インストールを実行してください。もし、インストール先フォルダを変更する場合は、**参照ボタン**  をクリックし、インストール先を指定します。

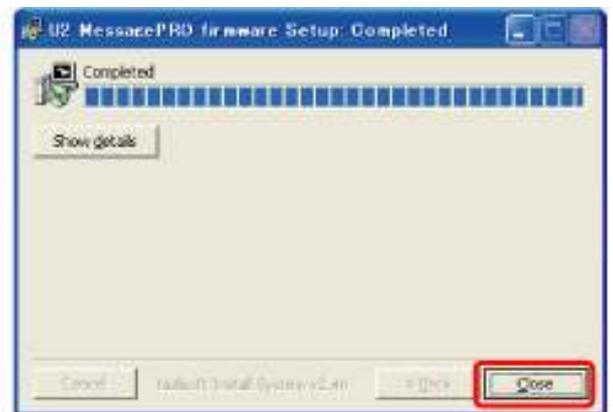


# MessagePRO ユーザマニュアル

- ⑨ **インストールの完了**…プログラム終了後は、**閉じるボタン**  をクリックし、インストールを終了してください。インストール終了後、デスクトップ上に以下のようなショートカットアイコンが表示されます。MessagePRO を使用する場合は、こちらのアイコンをダブルクリックしてください。



- ⑩ **ファームウェア用データの更新**…U2 Program フォルダに U2 FW\_\*.\*.exe (\*.\*.exe はバージョン番号) が存在している場合は、先ほどのインストーラ同様に実行します。実行しますと次の左のような画面が表示されますので **Install ボタン**  をクリックしてください。インストール終了後、**Close ボタン**  をクリックしてください。



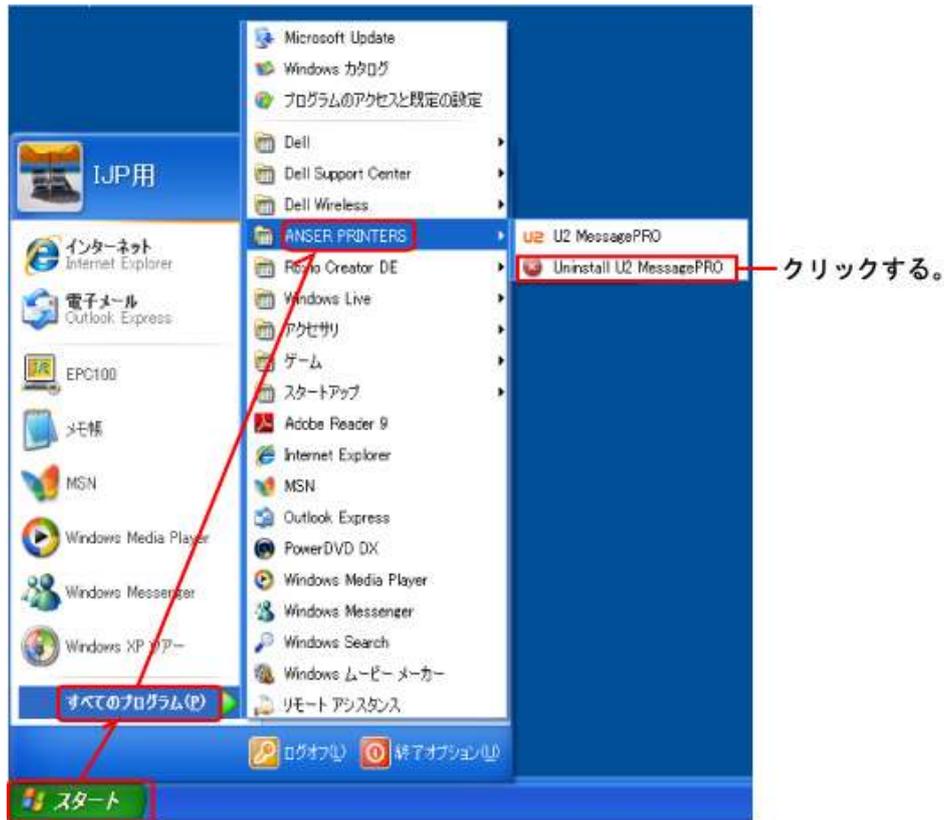
- ⑪ **SD カードを戻す**…インストール完了後、SD カードは、U2 コントローラの SD カードスロットへ戻してください。

**※ご注意**：インストール作業を行う際は、システム変更権限をもつユーザでログオンしてください。

## 1.2.2. アンインストール

MessagePRO をアンインストールする場合は、以下の手順に従って行ってください。

- ① **アンインストールプログラムの起動**…Windows の **スタートボタン**→**すべてのプログラム**→**ANSER PRODUCT**→**U2 MessagePRO** のグループを選択した後、**Uninstall U2 MessagePRO** をクリックし、アンインストールプログラムを実行してください。

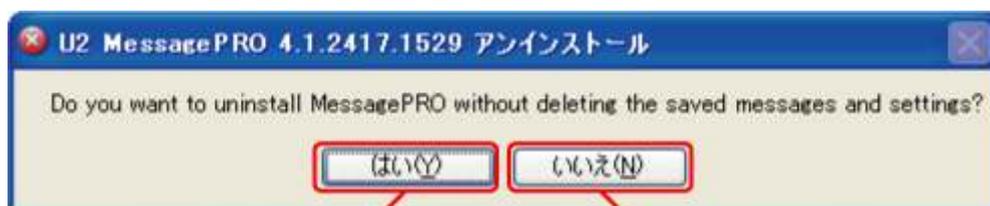


- ② **アンインストールプログラム実行の確認**…以下のような確認画面が表示されますので、アンインストールを実行する場合は、**はいボタン**  をクリックします。



クリックする

- ③ **データ削除の確認**…アンインストール実行中、以下のような、作成したデータや設定などの削除を行うかどうかの確認画面が表示されますので、作成したデータや設定などを削除しない場合は、**はいボタン**  を、削除する場合は、**いいえボタン**  をクリックします。



データを削除しない  
場合クリックする

データを削除する  
場合クリックする

# MessagePRO ユーザマニュアル

- ④ **アンインストールプログラムの終了**…プログラム終了後は、**閉じるボタン**  をクリックし、アンインストールを終了してください。



- ⑤ **アンインストールプログラム終了の確認**…以下のような画面が表示されますので、**OK ボタン**  をクリックします。



## 1.3. MessagePRO について

MessagePRO は、U2 で実際に印刷を行う前に、印刷したい画像をパソコン上で編集したり、設定を変更したりするためのソフトウェアです。Windows 2000、XP、7 (32bit 版) 上で動作確認しています。このソフトウェアでは画像、テキスト、カウンタ、時刻、賞味期限などの配置、設定をすることができます。また、MessagePRO では Windows の TrueType フォントの全てを使用することができます。

【MessagePRO で編集したイメージ例】



# MessagePRO ユーザマニュアル

なお、MessagePRO では、SD カード内のデータを直接編集、設定します。ご使用の際は、U2 コントローラに挿入されている SD カードを抜き、付属のカードリーダーを挿した PC に挿し込んでから MessagePRO を起動してください。（カードリーダー内蔵の PC の場合は、そちらを利用しても構いません。）



**MessagePRO 起動前に SD カードをセット**

## 1.4. MessagePRO の画面構成

MessagePRO の基本画面は、メッセージ画面、各種設定画面、PC ツール画面の 3 画面あり、それぞれ以下のように構成されています。画面左側のアイコンをクリックし、それぞれの画面を呼び出します。



また、画面右下には、SD カードの状態がアイコンで表示されています。状態の詳細は以下の通りです。



…SD カードが使用できる状態です。



…SD カードが初期化されていません。SD カードを一旦 U2 コントローラに挿し、初期化してください。



…SD カードがありません。メッセージの編集は可能です。

## 1.4.1. メッセージ画面

編集や設定を行いたいメッセージを選択する画面です。



**各機能アイコン** : MessagePRO のメッセージを操作する上で必要な機能をアイコンにしたものです。操作したいメッセージを**メッセージ一覧**からクリックして選択した後、各アイコンをクリックします。各アイコンの詳細は、以下の通りです。



**新規アイコン**…新規にメッセージを作成する場合、クリックします。作成方法の詳細については [2.2.1 章](#) をご覧ください。



**編集アイコン**…既存のメッセージを編集する場合、クリックします。編集方法の詳細については [2.2.2 章](#) をご覧ください。



**印刷開始位置アイコン**…メッセージの印刷開始位置を設定する場合、クリックします。クリック後、**印刷開始位置画面**が表示されますので、数値を入力し、**OK ボタン**  をクリックしてください。

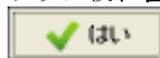


**検索アイコン**…選択したいメッセージをメッセージ名で検索する場合、クリックします。クリック後、**検索画面**が表示されますので、検索したいメッ

ッセージ名を入力し、**方向**を選択してから、**次を検索ボタン**  をクリックしてください。なお、このアイコンは、メッセージ名を表示する設定になっている場合だけ使用できます。



**削除アイコン**…既存のメッセージを削除する場合、クリックします。クリック後、**警告画面**が表示されますので、削除する場合は、**はいボタン**



をクリックしてください。

**プレビューズーム** : プレビュー画面のズーム状態を表示しています。ズームの倍率を変更するには、**ズームアイコン** 、 をクリックするか、プルダウンメニューから縮尺のパーセントを選択してください。

**印刷プレビュー** : 選択されているメッセージをプレビュー表示しています。

# MessagePRO ユーザマニュアル

**メッセージ一覧**：編集等を行いたいメッセージを選択するための一覧です。選択したいメッセージを左クリックしてください。また、右クリックしますと、以下のようなサブメニューが表示されます。サブメニューの詳細は、以下の通りです。



**コピー**…既存のメッセージをコピーし、新規メッセージを作成する場合、クリックします。クリック後、**コピー画面**が表示されますので、コピー先の**メッセージ番号**を選択し、またメッセージ名を表示する設定になっている場合は、**メッセージ名**も入力して、**OK ボタン**  をクリックしてください。

**名前変更**…既存のメッセージの名前を変更する場合、クリックします。クリック後、**新規メッセージ名画面**が表示されますので、**メッセージ名**を入力し、**OK ボタン**  をクリックしてください。

**インク情報**…選択されたメッセージの印刷回数を知りたい場合、クリックします。クリック後、**インク情報画面**に、42ccのインクカートリッジで何回印刷可能かが表示されます。確認後、**OK ボタン**  をクリックしてください。

**選択**…メッセージ番号の前にあるアイコンが変化します。

**メッセージ詳細**：選択されているメッセージの番号、名前、ラインモードを表示します。

## 1.4.2. 各種設定画面

印刷に関する各種設定を行う画面です。



# MessagePRO ユーザマニュアル

**各設定アイコン**： MessagePRO の設定内容をアイコンにしたものです。設定したい内容の各アイコンをクリックしますと、**設定内容**の部分に入力項目が表示されます。各アイコンの詳細は、以下の通りです。



**その他設定アイコン**…使用単位、画面バックライト節電、サマータイム制の設定を行う場合、クリックします。設定の詳細については [4.1 章](#)をご覧ください。



**アラーム設定アイコン**…カウンタアラーム、プッシュ音の設定を行う場合、クリックします。設定の詳細については [4.2 章](#)をご覧ください。



**編集設定アイコン**…年（暦）設定、ロールオーバー、メッセージ名、カウンタ自動リセット、ゼロサプレス、シフトコード、日付・時刻書式の設定を行う場合、クリックします。設定の詳細については [4.3 章](#)をご覧ください。



**印刷設定アイコン**…印刷方向、使用ノズル、プレページ、センサ、エンコーダ・ライン速度の設定を行う場合、クリックします。設定の詳細については [4.4 章](#)をご覧ください。



**システム情報アイコン**…MessagePRO のバージョン情報、SD カードの情報を確認する場合、クリックします。情報の詳細については [4.5 章](#)をご覧ください。

**各設定タブ**： 選択された設定内容により表示されるタブです。設定したい内容の各タブをクリックします。

**設定内容**： 選択された設定の詳細内容が表示されます。内容は選択されている設定によって異なります。

## 1.4.3. PC ツール画面

ユーザアカウント、システムバックアップ・リストア、その他（ロゴ、登録）の各機能を呼び出す画面です。各アイコンをクリックしますと、各機能が呼び出されます。各機能の詳細については [5 章](#)をご覧ください。



### 1.5. お断り

お使いいただいている MessagePRO のバージョンによっては、本マニュアルの記述内容と若干異なる場合があります。予めご了承ください。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国、及びその他の国における商標、または登録商標です。

HP はヒューレット・パッカード社の商標、または登録商標です。

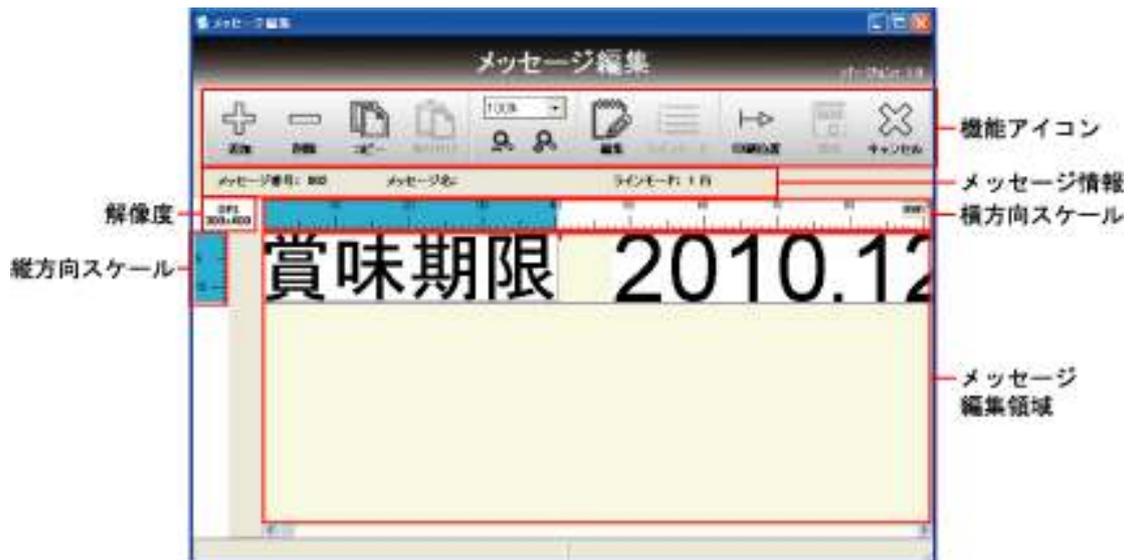
なお、本文中では™、®マークは明記していません。

## 2. メッセージ作成・編集・印刷の流れ

MessagePROでのデータ作成・編集、および印刷までの概要、および流れについて説明いたします。

### 2.1. メッセージ編集画面の基本

印刷に使用するメッセージの作成、編集画面で、下図のように構成されています。



**機能アイコン**：メッセージの編集を行うための機能をアイコンにしたものです。使用したい機能の各アイコンをクリックします。各アイコンの詳細は、以下の通りです。



**追加アイコン**…オブジェクトを追加配置するためのアイコンです。設定の詳細については [3.1.1 章](#) をご覧ください。



**削除アイコン**…編集領域上のオブジェクトを削除するためのアイコンです。設定の詳細については [3.1.3 章](#) をご覧ください。



**コピーアイコン**…オブジェクトをコピーするためのアイコンです。設定の詳細については [3.1.5 章](#) をご覧ください。



**貼り付けアイコン**…コピーしたオブジェクトを貼り付けるためのアイコンです。設定の詳細については [3.1.6 章](#) をご覧ください。



**ズームアイコン**…メッセージ編集領域のズームをするためのアイコンです。倍率を変更するには、**ズームアイコン** 、 をクリックするか、プルダウンメニューから縮尺のパーセントを選択してください。



**編集アイコン**…既存のオブジェクトを編集するためのアイコンです。



**ラインモードアイコン**…新規作成時、メッセージの行数を指定するためのアイコンです。クリックしますと **行数画面** が表示されます。**ラインモード** は、行数を指定するか、しないかの選択します。**行数** を選択した場合、その下の項目から何行使用するかを選択してください。**行数指定なし** を選択した場合、

# MessagePRO ユーザマニュアル

オブジェクトをフリーで配置することが可能なメッセージを作成できますが、そのメッセージはU2 コントローラ上からは編集できません。また、ラインモードで**行数**を選択した場合、**文字高さ**で、使用する文字の高さをプルダウンメニューから選択します。使用できる文字の高さは、選択した行数により異なります。1メッセージで使用できる文字高さは1種類だけですので、異なる文字高さのオブジェクトを配置したい場合は、ラインモードで**行数指定なし**を選択してください。設定後、**OK ボタン**  をクリックしてください。

 **印刷位置アイコン**…メッセージの印刷開始位置を指定するためのアイコンです。クリックすると**印刷開始位置画面**が表示されます。数値を入力し、**OK ボタン**  をクリックしてください。

 **保存アイコン**…作成・編集したメッセージを保存するためのアイコンです。

 **キャンセルアイコン**…編集した内容をキャンセルするためのアイコンです。

**メッセージ情報**：選択されているメッセージの番号、名前、ラインモードを表示します。

**横方向スケール**：横方向の長さの目盛りを、使用単位で選択されている長さの単位で表示します。

**メッセージ編集領域**：各種オブジェクトを配置して、実際に印刷したいイメージ（原稿）を作成するための領域です。

**解像度**：選択されているメッセージの解像度を表示しています。通常は、300x400DPIです。

**縦方向スケール**：縦方向の長さの目盛りを、使用単位で選択されている長さの単位で表示します。

## 2.2. メッセージ作成・編集手順

MessagePRO を使用してメッセージを新規作成する場合、または既存のメッセージを編集する場合の手順を説明します。

### 2.2.1. メッセージの新規作成手順

- ① **SDカードの用意**…U2 コントローラの電源が落ちていることを確認した後、コントローラ上部から SD カードを抜いてください。この際、一旦下に押し込むと、上へ飛び出してきます。



一旦押し下げてから、引き抜く。

## MessagePRO ユーザマニュアル

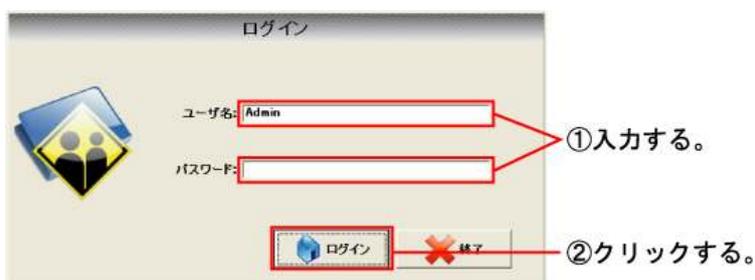
- ② **PCへの接続**…付属のカードリーダーをPCのUSBコネクタに挿し込み、そのカードリーダーにSDカードを挿し込んでください。(カードリーダー内蔵のPCの場合は、そちらを利用しても構いません。)



- ③ **MessagePROの起動**…次のショートカットアイコンをダブルクリックして、MessagePROを起動してください。



- ④ **ログイン**…ログイン機能を使用している場合は、**ログイン画面**が表示されます。**ユーザ名**を入力、または選択、**パスワード**を入力し、**ログインボタン**  をクリックしてください。



- ⑤ **メッセージ編集画面の呼出**…メッセージ画面左上にある**新規アイコン**  をクリックしてください。



## MessagePRO ユーザマニュアル

- ⑥ **メッセージの設定**…新規メッセージの設定を入力する画面が表示されますので、それぞれの項目の設定を行ってください。項目の詳細については、以下の通りです。



### 新規メッセージ設定の詳細

**メッセージ番号**：プルダウンメニューにメッセージが登録されていないメッセージ番号が表示されます。任意の番号を選択してください。

**Message Name**：メッセージ名を使用する設定の場合、表示されます。任意のメッセージ名を入力します。使用できる文字は、アルファベット大文字と数字、記号です。

**ラインモード**：行数を指定するか、しないか、選択します。**行数**を選択した場合、その下の項目から何行を使用するかを選択してください。**行数指定なし**を選択した場合、オブジェクトをフリーで配置することが可能なメッセージを作成できますが、そのメッセージはU2 コントローラ上からは編集できません。

**フォント**：変更できません。

**文字高さ**：ラインモードで**行数**を選択した場合、使用する文字の高さをプルダウンメニューから選択します。使用できる文字の高さは、選択した行数により異なります。1メッセージで使用できる文字高さは1種類だけですので、異なる文字高さのオブジェクトを配置したい場合は、ラインモードで**行数指定なし**を選択してください。

- ⑦ **メッセージのデザイン**…**メッセージ編集画面**が表示されます。**3章**をご覧ください、様々なオブジェクトを配置、設定して、メッセージをデザインしてください。



- ⑧ **メッセージの保存**…デザインが終わりましたら、メッセージを保存します。**保存アイコン**  をクリックしてください。保存しない場合は、**キャンセルアイコン**  をクリックしてください。



- ⑨ **SDカードを戻す**…編集完了後、SDカードは、U2 コントローラの SD カードスロットへ戻してください。

## 2.2.2. 既存メッセージの編集手順

- ① **SDカードの用意**…U2 コントローラの電源が落ちていることを確認した後、コントローラ上部から SD カードを抜いてください。この際、一旦下に押し込むと、上へ飛び出てきます。



一旦押し下げてから、引き抜く。

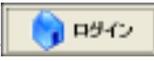
- ② **PCへの接続**…付属のカードリーダーを PC に挿し込み、そのカードリーダーに SD カードを挿し込んでください。（カードリーダー内蔵の PC の場合は、そちらを利用しても構いません。）



# MessagePRO ユーザマニュアル

- ③ **MessagePROの起動**…次のショートカットアイコンをダブルクリックして、MessagePROを起動してください。



- ④ **ログイン**…ログイン機能を使用している場合は、**ログイン画面**が表示されます。**ユーザ名**を入力、または選択、**パスワード**を入力し、**ログインボタン**  をクリックしてください。

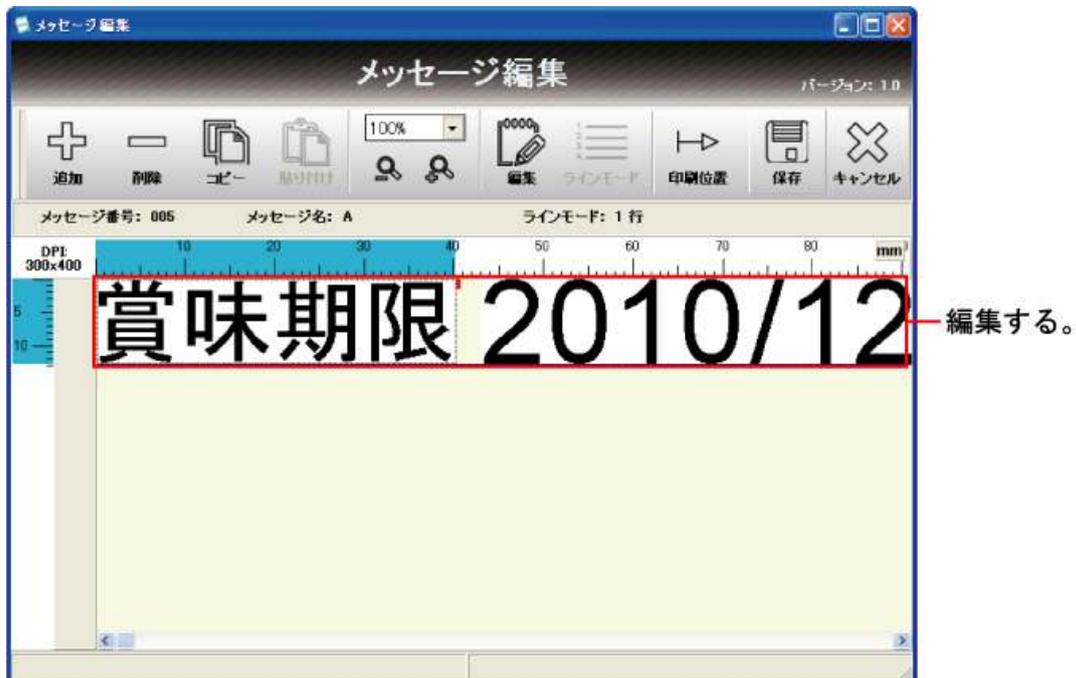


- ⑤ **メッセージ編集画面の呼出**…画面下部に表示されている**メッセージ一覧**から編集したいメッセージ番号をクリックし、メッセージ画面上部にある**編集アイコン**  をクリックしてください。

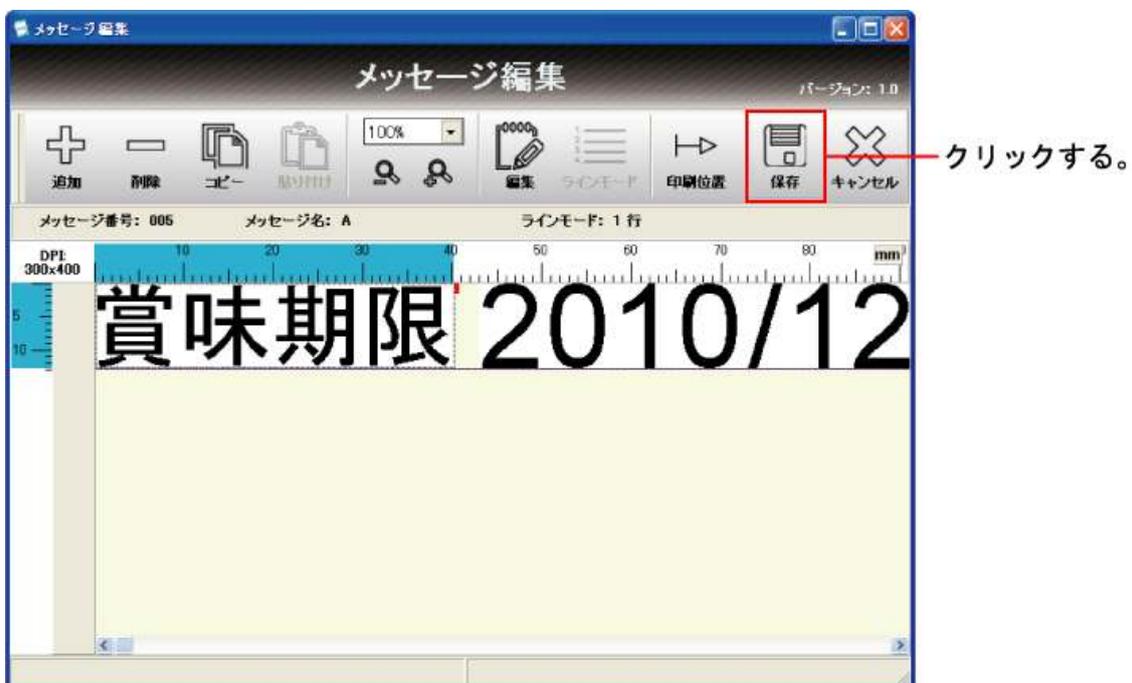


## MessagePRO ユーザマニュアル

- ⑥ **メッセージの編集**…3章をご覧になり、オブジェクトの追加や削除、再配置、再設定して、メッセージを編集してください。



- ⑦ **メッセージの保存**…編集が完了しましたら、メッセージを保存します。**保存アイコン**  をクリックしてください。保存しない場合は、**キャンセルアイコン**  をクリックしてください。



- ⑧ **SDカードを戻す**…編集完了後、SDカードは、U2コントローラのSDカードスロットへ戻してください。

## 3. オブジェクト

MessagePRO では、様々なオブジェクトを自由に貼り付けることにより、好みのデザインの印刷が可能です。これらのオブジェクトは、オブジェクト貼付けアイコンによりメッセージ編集領域に貼り付き、賞味期限やバーコード、画像など印刷することが可能です。オブジェクトの種類は、左上から、**テキスト**、**Windows フォント**、**ロゴ**、**現在日付**、**未来日付**、**シフトコード**、**カウンタ**、**ロット・ボックスカウンタ**、**バーコード**、**文字列**となっています。



### 3.1. オブジェクトについて

印刷のためにオブジェクト貼付けアイコンによって作成され、メッセージ編集領域に配置されるテキストやバーコード、画像のことを総称して**オブジェクト**と呼びます。

【オブジェクト配置例】



## 3.1.1. オブジェクトの新規追加

メッセージ編集画面で追加アイコン  をクリックし、オブジェクト追加画面を表示させます。作成したいオブジェクトのアイコンをクリックし、OK ボタン  をクリックしてください。すると自動的にそのオブジェクトが編集領域に貼り付きます。オブジェクト詳細設定画面も表示されますので、任意の値を入力し、終了したら画面右上の  ボタンをクリックします。貼り付いたオブジェクトをドラッグして、任意の場所で移動してください。

## 3.1.2. オブジェクトの移動

移動したいオブジェクトにカーソルを合わせ、ドラッグすると、任意の場所へ移動できます。また、オブジェクト詳細設定画面の X 軸位置、Y 軸位置（行数指定なし選択時）の値を変更することでも移動できます。行数指定時、縦方向の位置は、ドラッグのみでしか移動できず、決められた場所にしか配置できません。

## 3.1.3. オブジェクトの削除

削除アイコン  をクリックするか、キーボードの Delete キー  を押下することにより削除されます。削除したいオブジェクトをクリックした後、削除アイコン  をクリックするか、Delete キー  を押下します。削除の確認画面が表示されますので、削除する場合は、はいボタン  をクリックしてください。

## 3.1.4. オブジェクトの各種情報変更

オブジェクトはそれぞれ、サイズや位置、書式などの各種情報を持っています。これらの情報は、オブジェクト詳細設定画面で値を入力することにより変更することができます。情報を変更したいオブジェクトをクリックした後、編集アイコン  をクリックしてオブジェクト詳細設定画面表示させてから、値を入力してください。

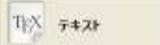
## 3.1.5. オブジェクトのコピー

MessagePRO では、他の Windows アプリケーション同様、コピーや貼り付けをすることが可能です。コピーをしたい場合は、コピーするオブジェクトをクリックした後、コピーアイコン  をクリックするか、キーボードの Ctrl キー  + C キー  を押下します。

## 3.1.6. オブジェクトの貼り付け

コピーしたオブジェクトは、貼り付けることが可能です。貼り付ける場合は、貼り付けアイコン  をクリックするか、キーボードの Ctrl キー  + V キー  を押下します。貼り付け後、自動的にオブジェクト詳細設定画面も表示されますので、任意の値を入力し、終了したら画面右上の  ボタンをクリックします。貼り付いたオブジェクトをドラッグして、任意の場所で移動してください。

## 3.2. テキスト

U2 コントローラ上からも編集できるテキストを印刷できます。ただし、こちらに入力できる文字は、アルファベット大文字、数字、記号のみです。また、フォントは ARIAL しかありません。オブジェクト追加画面のテキストアイコン  をクリックし、OK ボタン  をクリックすると、編集領域にテキ

# MessagePRO ユーザマニュアル

ストオブジェクトが貼り付きます。また、編集時は、該当オブジェクトをクリックします。詳細設定については下記の通りです。

## テキスト詳細設定

**内容—内容：** テキストの内容を入力します。こちらに入力できる文字は、アルファベット大文字、数字、記号のみです。

**フォント—サイズ：** **行数指定なし**選択時、フォントの高さをプルダウンメニューより選択します。

**位置—回転：** **行数指定なし**選択時、オブジェクトの角度をプルダウンメニューより選択します。

**位置—X 軸：** オブジェクトの X 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

**位置—Y 軸：** **行数指定なし**選択時、オブジェクトの Y 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

## 3.3. Windows フォント

内容の変わらないテキストを印刷できます。MessagePRO がインストールされているパソコン内のフォントが自由に選択できるため、アルファベット大文字、数字以外でも、アルファベット小文字、ひらがな、カタカナ、漢字など印刷できます。またサイズも自由です。ただし、U2 コントローラ上からは内容を編集できません。

**オブジェクト追加画面の Windows フォントアイコン**  をクリックし、**OK ボタン**



をクリックすると、編集領域に Windows フォントオブジェクトが貼り付きます。また、編集時は、該当オブジェクトをクリックします。詳細設定については下記の通りです。

## Windows フォント詳細設定

**内容—内容：** テキストの内容を入力します。

**フォント—フォント名：** 使用したいフォントをプルダウンメニューより選択します。なお、**内容**に漢字やひらがな等の 2 バイト文字を入力した場合、日本語に対応したフォントを選択しないと文字化けします。

**フォント—サイズ：** フォントのサイズをプルダウンメニューより選択します。

**フォント—スタイル：** 文字飾りを行いたい場合、その項目にチェックを入れます。

**位置—回転：** **行数指定なし**選択時、オブジェクトの角度をプルダウンメニューより選択します。

**位置—X 軸：** オブジェクトの X 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

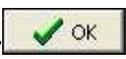
**位置—Y 軸：** **行数指定なし**選択時、オブジェクトの Y 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

**太字—ズーム 幅：** テキストの幅を入力します。

**太字—ズーム 高さ：** テキストの幅を入力します。

## 3.4. ロゴ

会社のロゴやケアマークなど、予め作成、登録してあるロゴファイルを印刷できます。**オブジェクト追加画面**

**面のロゴアイコン**  をクリックし、**OK ボタン**  をすると、また、編集時は、該当オブジェクトをクリックしますと、次のような画像ファイル選択画面呼び出すための画面が表示されます。さらに**開くボタン**をクリックすると、**ロゴを開く画面**が表示されます。



画面左側のロゴファイル一覧から貼り付けたいロゴファイルをクリックします。画面右下の **OK ボタン**  をクリックすると、編集領域にロゴオブジェクトが貼り付きます。詳細設定については下記の通りです。

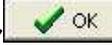


## ロゴ詳細設定

- 内容：** **開くボタン**をクリックして、**ロゴを開く画面**から、配置したいロゴを選択します。
- 位置—回転：** **行数指定なし**選択時、オブジェクトの角度をプルダウンメニューより選択します。
- 位置—X 軸：** オブジェクトの X 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。
- 位置—Y 軸：** **行数指定なし**選択時、オブジェクトの Y 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

## 3.5. 現在日付

システム日付や時刻を印刷できます。フォントは ARIAL しかありません。**オブジェクト追加画面**の上図現

**在日付アイコン**  をクリックし、**OK ボタン**  をクリックすると、編集領域に現在日付オブジェクトが貼り付きます。また、編集時は、該当オブジェクトをクリックします。詳細設定については下記の通りです。

## 現在日付詳細設定

- 内容—**  **パラメータ** : このボタンをクリックすると、日付時刻書式を選択する画面が表示されます。使用したい日付時刻書式をプルダウンメニューより選択してください。選択肢に使用したい書式がない場合は、左下の**書式編集ボタン**  をクリックし、**日付時刻書式編集画面**を表示させた後、**新規**

**ボタン**  をクリックして書式を追加します。書式の追加方法の詳細につきましては、[4.3.4.1章](#)をご覧ください。

**フォントサイズ**： **行数指定なし** 選択時、フォントの高さをプルダウンメニューより選択します。

**位置一回転**： **行数指定なし** 選択時、オブジェクトの角度をプルダウンメニューより選択します。

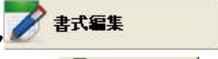
**位置-X軸**： オブジェクトの X 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

**位置-Y軸**： **行数指定なし** 選択時、オブジェクトの Y 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

## 3.6. 未来日付

賞味期限や消費期限など、システム日付から何日後というような未来の日付を自動的に印刷できます。フォントは ARIAL しかありません。**オブジェクト追加画面の未来日付アイコン**  をクリックし、**OK ボタン**  をクリックすると、編集領域に未来日付オブジェクトが貼り付きます。また、編集時は、該当オブジェクトをクリックします。詳細設定については下記の通りです。

### 未来日付詳細設定

**内容**  **パラメータ**： このボタンをクリックすると、日付時刻書式の選択と、何日後の日付かを入力する画面が表示されます。使用したい日付時刻書式をプルダウンメニューより選択し、何日後の日付かを入力してください。選択肢に使用したい書式がない場合は、左下の**書式編集ボタン**  をクリックし、**日付時刻書式編集画面**を表示させた後、**新規ボタン**  をクリックして書式を追加します。書式の追加方法の詳細につきましては、[4.3.4.1章](#)をご覧ください。

**フォントサイズ**： **行数指定なし** 選択時、フォントの高さをプルダウンメニューより選択します。

**位置一回転**： **行数指定なし** 選択時、オブジェクトの角度をプルダウンメニューより選択します。

**位置-X軸**： オブジェクトの X 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

**位置-Y軸**： **行数指定なし** 選択時、オブジェクトの Y 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

## 3.7. シフトコード

印刷する時刻によって内容が変わる、シフトコードを印刷できます。ただし、こちらに入力できる文字は、アルファベット大文字、数字、記号です。また、フォントは ARIAL しかありません。**オブジェクト追加画面**

**面のシフトコードアイコン**  をクリックし、**OK ボタン**  をクリックすると、編集領域にシフトコードオブジェクトが貼り付きます。また、編集時は、該当オブジェクトをクリックします。詳細設定については下記の通りです。

## シフトコード詳細設定

**内容**  **パラメータ** : このボタンをクリックすると、シフトコードを設定する画面が表示されます。何時にどのシフトコードを印刷するかの設定を行います。設定できるシフトは5つまでです。また、シフトコードは最大3文字です。**シフト名**に印刷したいシフトコードを入力し、**開始時刻**にそのシフトコードの印刷を開始する時刻を入力してください。入力後、**OK ボタン**  をクリックしてください。

**フォントサイズ** : **行数指定なし**選択時、フォントの高さをプルダウンメニューより選択します。

**位置-回転** : **行数指定なし**選択時、オブジェクトの角度をプルダウンメニューより選択します。

**位置-X軸** : オブジェクトの X 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

**位置-Y軸** : **行数指定なし**選択時、オブジェクトの Y 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

## 3.8. カウンタ

印刷する度に数値が上がるカウンタを印刷できます。フォントは ARIAL しかありません。**オブジェクト追加画面のカウンタアイコン**  をクリックし、**OK ボタン**  をクリックすると、編集領域にカウンタオブジェクトが貼り付きます。また、編集時は、該当オブジェクトをクリックします。詳細設定については下記の通りです。

### カウンタ詳細設定

**内容**  **パラメータ** : このボタンをクリックすると、カウンタを設定する画面が表示されます。**開始値**、**終了値**、**ステップ値** (1回で加算・減算される数) を入力してください。入力後、**OK ボタン**  をクリックしてください。

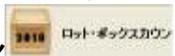
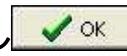
**フォントサイズ** : **行数指定なし**選択時、フォントの高さをプルダウンメニューより選択します。

**位置-回転** : **行数指定なし**選択時、オブジェクトの角度をプルダウンメニューより選択します。

**位置-X軸** : オブジェクトの X 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

**位置-Y軸** : **行数指定なし**選択時、オブジェクトの Y 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

## 3.9. ロット・ボックスカウンタ

通常カウンタと設定の異なるカウンタを印刷できます。フォントは ARIAL しかありません。**オブジェクト追加画面のロット・ボックスカウンタアイコン**  をクリックし、**OK ボタン**  をクリックすると、編集領域にロット・ボックスカウンタオブジェクトが貼り付きます。また、編集時は、該当オブジェクトをクリックします。詳細設定については下記の通りです。

### カウンタ詳細設定

# MessagePRO ユーザマニュアル

**内容-フィールド名**：使用したいカウンタをプルダウンメニューより選択します。**ボックスカウンタ**、**ロットカウンタ**から選択してください。

**内容-パラメータ** ：このボタンをクリックすると、ロットカウンタ、ボックスカウンタを設定する画面が表示されます。それぞれの**開始値**、**終了値**、**ステップ値**（1回で加算・減算される数）を入力してください。入力後、**OK ボタン**  をクリックしてください。

**フォント-サイズ**：**行数指定なし**選択時、フォントの高さをプルダウンメニューより選択します。

**位置-回転**：**行数指定なし**選択時、オブジェクトの角度をプルダウンメニューより選択します。

**位置-X軸**：オブジェクトの X 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

**位置-Y軸**：**行数指定なし**選択時、オブジェクトの Y 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

## **補足**：通常カウンタとの違い

ロットとボックスは、共通のパラメータを持つため、それぞれのカウンタを配置した場合、連動したカウントを行います。また、ロットは、ボックスの設定に基づいてカウントを行います。具体的には、ボックスの値が最大値、または最小値に達した時、ロットのカウントが加算、または減算されます。

### **例 1**：

#### **ボックスの値**

最大値：2

最小値：1

ステップ：1

現在値：1

#### **ロットの値**

最大値：999

最小値：1

ステップ：1

現在値：1

印刷されるロットカウンタ： 001、001、002、002、003、003、004…

印刷されるボックスカウンタ： 1、 2、 1、 2、 1、 2、 1…

### **例 2**：

#### **ボックスの値**

最大値：3

最小値：1

ステップ：1

現在値：1

#### **ロットの値**

最大値：999

最小値：1

ステップ：5

現在値：10

印刷されるロットカウンタ： 010、010、010、015、015、015、020…

印刷されるボックスカウンタ： 1、 2、 3、 1、 2、 3、 1…

## 3.10. バーコード

各種バーコードを印刷できます。**オブジェクト追加画面のバーコードアイコン**  をクリックし、**OK ボタン**  をクリックすると、編集領域にバーコードオブジェクトが貼り付きます。また、編集時は、該当オブジェクトをクリックします。詳細設定については下記の通りです。

### バーコード詳細設定

# MessagePRO ユーザマニュアル

**内容-バーコード種類**：バーコードの書式をプルダウンメニューより選択します。選択できる書式は、**CODE-128**、**CODE-39**、**CODEBAR**、**DUN14**、**EAN-128**、**EAN-13**、**EAN-8**、**INTER25 (ITF)**、**SCC-14**、**SSCC18**、**UPCA**、**UPCE** です。

**内容-幅レベル**：バーコードの幅をプルダウンメニューより選択します。**1~10** から選択してください。

**内容-テキスト**：バーコード下部にヒューマンリーダブルを表示するかどうかをプルダウンメニューより選択します。**表示**、**非表示**から選択してください。

**内容-内容**：バーコードの内容を入力します。

**内容- 高度な設定**：このボタンをクリックすると、バーコード内の文字列に関する設定を行う画面が表示され、可変データを含むバーコードを作成することができます。設定の詳細については、後述の説明をご覧ください。

**位置-回転**：**行数指定なし**選択時、オブジェクトの角度をプルダウンメニューより選択します。

**位置-X 軸**：オブジェクトの X 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

**位置-Y 軸**：**行数指定なし**選択時、オブジェクトの Y 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

## 高度な設定について

日付やカウンタ等の可変データを含んだバーコードを作成する機能です。以下の手順で設定してください。

- ① **データ種類の選択**…バーコードに取り込みたいデータの種類のプルダウンメニューより選択します。

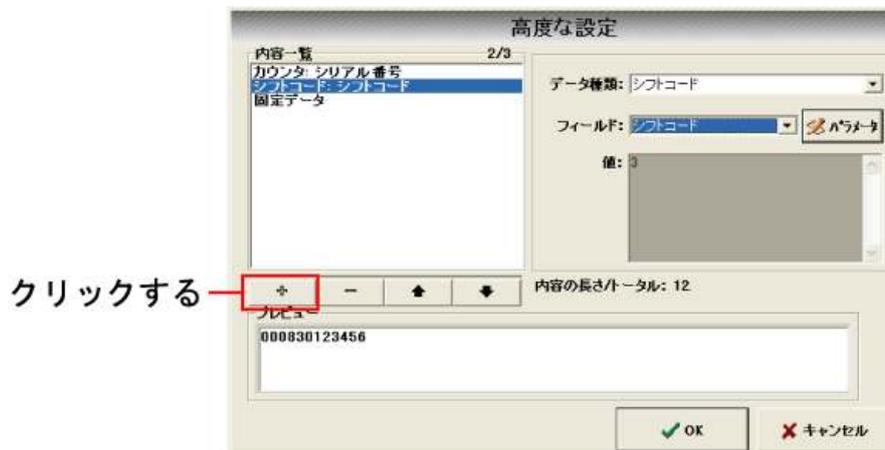


- ② **データ詳細の設定**…データの詳細を設定します。固定データの場合は、**値項目**に直接、値を入力します。その他のデータは、**フィールド**を選択後、**パラメータボタン**をクリックし、各パラメータの設定を行ってください。パラメータは、各オブジェクトのパラメータと同様です。



# MessagePRO ユーザマニュアル

- ③ **データ種類の追加**…データ種類を追加したい場合は、画面左中ほどの**+ボタン**  をクリックします。



- ④ **データ種類の削除**……データ種類を削除したい場合は、**内容一覧**から削除したいデータ種類をクリックし、画面左中ほどの**-ボタン**  をクリックします。



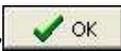
- ⑤ **データ種類の入れ替え**…データ種類の順番を入れ替えたい場合は、**内容一覧**から入れ替えたいデータ種類をクリックし、画面中ほどの**↑ボタン** 、**↓ボタン**  を使用し、入れ替えます。



- ⑥ **設定終了**…設定が終了したら、**OK ボタン**  をクリックし、画面を閉じます。



## 3.11. 文字列

文字列とは、同じ番号の文字列が配置されていれば、同時に内容が変更できるテキストです。この文字列を印刷できます。ただし、こちらに入力できる文字は、アルファベット大文字、数字、記号のみです。また、フォントは ARIAL しかありません。**オブジェクト追加画面の文字列アイコン**  をクリックし、**OK ボタン**  をクリックすると、編集領域に文字列オブジェクトが貼り付きます。詳細設定については下記の通りです。

### 文字列詳細設定

**内容—フィールド名**：使用したいフィールド名（文字列）をプルダウンメニューより選択します。**String1（文字列1）～String5（文字列5）** から選択してください。

**内容—**  **パラメータ**：このボタンをクリックすると、文字列を設定する画面が表示されます。**文字列1～文字列5** をそれぞれ入力してください。入力後、**OK ボタン**  をクリックしてください。

**フォント—サイズ**：**行数指定なし**選択時、フォントの高さをプルダウンメニューより選択します。

**位置—回転**：**行数指定なし**選択時、オブジェクトの角度をプルダウンメニューより選択します。

**位置—X 軸**：オブジェクトの X 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

**位置—Y 軸**：**行数指定なし**選択時、オブジェクトの Y 座標を入力します。座標は左上が 0 になります。単位はポイントです。

## 4. 各種設定

U2 を使用していく上で必要な、操作の基本の設定を行います。以下のような各種設定が行えます。お客様の使用する環境に合わせて、また使用しやすいように設定を行ってください。

### 4.1. その他設定

使用単位、画面バックライト節電、サマータイム制についての設定を行います。

#### 4.1.1. 使用単位

U2 で使用する長さの単位を選択します。**メートル**、**インチ**から選択してください。

#### 4.1.2. 画面バックライト節電

操作していない時に画面のバックライトをオフにする機能です。**使用する**、**使用しない**から選択してください。また、**使用する**を選択した場合、操作を止めてから何分後にライトをオフにするか設定します。消灯までの時間をプルダウンメニューから選択してください。

#### 4.1.3. サマータイム制

サマータイム制を導入している地域で使用する場合で、サマータイム期間になると自動的にシステム時刻を変更する機能です。**使用しない**、**アメリカ**、**ヨーロッパ**から選択してください。

### 4.2. アラーム設定

アラームに関連する項目についての設定を行います。

#### 4.2.1. アラームキット

この項目は、まだ使用できません。

#### 4.2.2. カウンタアラーム使用

カウンタが設定された最大値に達した場合、印刷を終了してメッセージを表示する設定を行います。この機能を使用する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。

#### 4.2.3. プッシュ音使用

キーを押下した時、“ピッ”というプッシュ音を出すか、出さないかの設定を行います。この機能を使用する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。

#### 4.2.4. 印刷時ビープ音

印刷した時、“ピッ”というビープ音を出すか、出さないかの設定を行います。この機能を使用する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。

### 4.3. 編集設定

編集作業に関連する項目についての設定を行います。以下の項目のタブをクリックし、設定画面を開いてください。

## 4.3.1. その他

### 4.3.1.1. 年(暦)設定

西暦以外の年（和暦等）を使用して印刷したい場合、こちらで設定を行います。現在の年（和暦等）を入力してください。

### 4.3.1.2. ロールオーバー時刻

日付は通常 0 : 00 で切り替わりますが、この日付の切り替わるタイミングを任意の時刻に設定できる機能が、ロールオーバー時刻です。ロールオーバーしたい時刻を入力してください。

### 4.3.1.3. メッセージ名

メッセージ欄に、メッセージ番号だけでなく、メッセージ名も表示させる設定です。**使用する、使用しない**から選択してください。

### 4.3.1.4. カウンタ自動リセット

印刷開始時、カウンタのリセットを行うかどうかの確認画面を表示させる設定です。カウントアップのカウンタの場合、最小値、カウントダウンのカウンタの場合、最大値へリセットされます。**使用する、使用しない**から選択してください。

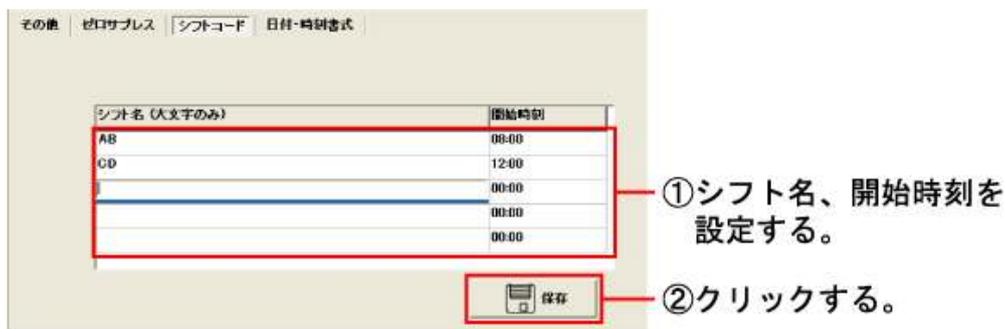
## 4.3.2. ゼロサプレス

時刻、日付、カウンタにおいて、ゼロサプレスを行うかどうかの設定をします。時刻、日付、カウンタについてそれぞれ設定できるようになっています。**ゼロを表示**（例、001）、**ゼロを表示せず右寄せで空白にする**（例、\_1）、**ゼロを表示せず左寄せで空白にする**（例、1\_）、**ゼロを表示せず左詰めにする**（例、1）の中から選択してください。なお、**ゼロを表示せず左詰めにする**設定は、カウンタには適用できません。

## 4.3.3. シフトコード

印刷する時刻によって印刷の内容を変えたい場合に使用する、シフトコードの設定を行います。**シフト名**に印刷したいシフトコードを入力し、**開始時刻**にそのシフトコードの印刷を開始する時刻を入力してください。

入力後、**保存ボタン**  **保存** をクリックしてください。なお、シフトは最大で5つまで、シフト名は最大3文字まで登録できます。また、使用できる文字はアルファベット大文字、数字、記号です。



## 4.3.4. 日付・時刻書式

U2には、予めいくつかの日付書式が登録されていますが、この書式以外で印刷を行いたい場合、新規で書式を登録できます。また、削除もできます。以下の手順で追加、削除を行ってください。

## 4.3.4.1. 書式の追加

- ① **日付時刻書式画面の表示**…新規ボタン  をクリックして、**日付時刻書式画面**を表示させます。



- ② **必要書式を選択**…書式ボタンの内、必要な桁（例えば年の下2桁であれば、YYYYの3つ目、4つ目）のボタンをクリックして行ってください。不要な桁を入力してしまった場合は、キーボードの **Delete** キー  を使用して、不要な桁を削除してください。



- ③ **記号の入力**…間にコロン (:) やスラッシュ (/)、ハイフン (-) が必要な場合は、**日付時刻書式欄**の任意の位置にカーソルを合わせ、キーボードから直接入力してください。

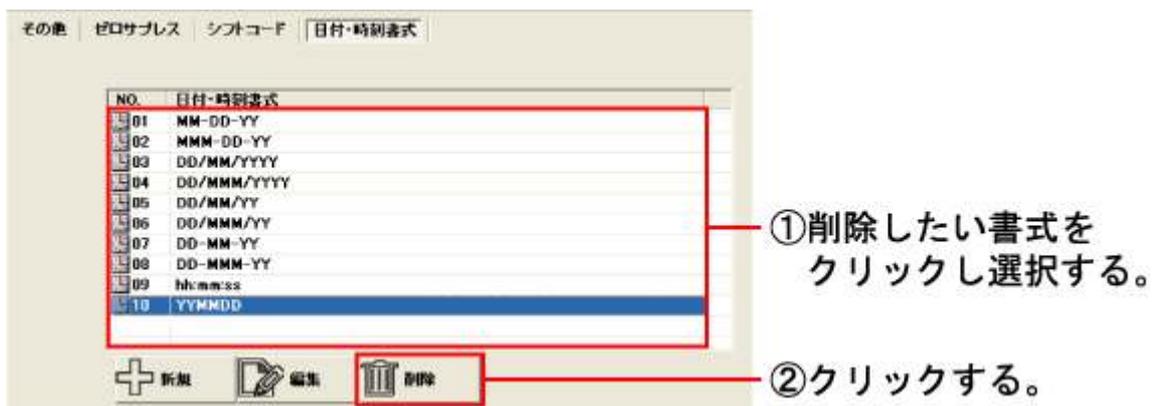


- ④ **設定の終了**…書式プレビューで実際に印刷される日付・時刻を確認しましたら、OK ボタン  をクリックしてください。



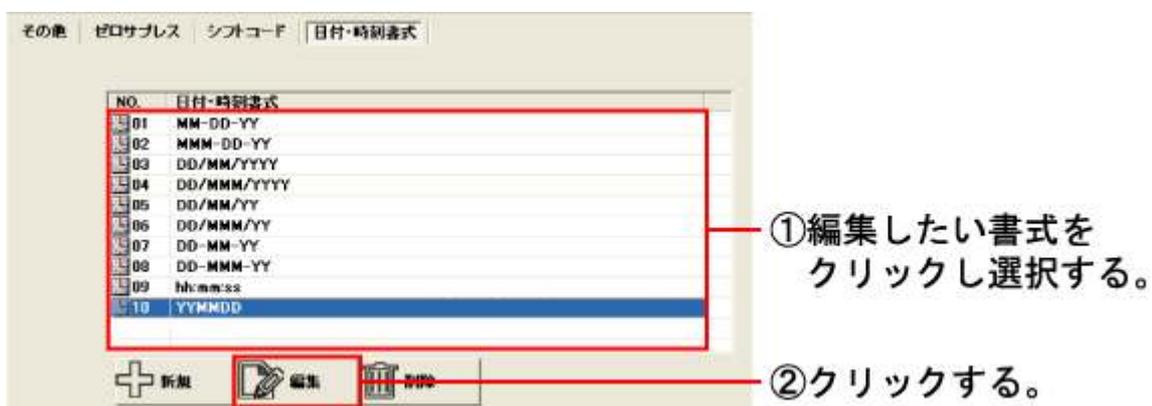
### 4.3.4.2. 書式の削除

削除したい書式を選択して、削除ボタン  をクリックしてください。



### 4.3.4.3. 書式の編集

編集したい書式を選択して、編集ボタン  をクリックし、日付時刻書式画面を表示させてください。日付時刻書式画面表示後は、4.3.4.1章と同様の手順で書式を編集してください。



## **補足**: 書式のジュリアン、週について

ジュリアンとは、その日が、年の何日目なのかを表した数字です。週の書式については、大文字 WW がその年の何週目なのか（週初めが月曜日のカレンダー基準）、小文字 w がその週の何日目なのか（月曜日が 1～日曜日が 7）を表した数字です。



## 4.4. 印刷設定

印刷に関連する項目についての設定を行います。以下の項目のタブをクリックし、設定画面を開いてください。

### 4.4.1. プリントヘッド

プリントヘッドに関する設定を行います。

#### 4.4.1.1. チャンネル

HP のインクカートリッジにはノズルが 2 つあります。このノズルの内、片方だけ使用するか、両方を使用するかをプルダウンメニューから選択します。**片方**、**両方**から選択してください。

#### 4.4.1.2. 印刷方向

印刷する方向を選択します。選択肢の中から、上下方向、左右方向の合った印刷方向を選択してください。

#### 4.4.1.3. 使用ノズル

**チャンネル**で**片方**を選択した場合だけ表示される項目で、どちらのノズルを使用するか選択します。**左ノズル**、**右ノズル**から選択してください。

### 4.4.2. プレページ

印刷の擦れを防ぐために、ごく少量のインクを定期的に噴射させる機能の設定を行います。この機能を使用する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。また、ご使用環境の乾燥度合いを 5 段階の中から選択してください。

### 4.4.3. センサ

使用するセンサ、およびモードの選択を行います。

#### 4.4.3.1. ソース

プルダウンメニューより**内蔵センサ**、**外付けセンサ**から選択してください。

#### 4.4.3.2. モード

**モード**で**外付けセンサ**を選択した場合だけ表示される項目で、センサのモードを選択します。**通常**は、センサが覆われた時、**逆**はセンサの覆いが外れた時に印刷を開始します。プルダウンメニューより**通常**、**逆**から選択してください。

## 4.4.4. エンコーダ・ライン速度

ライン速度を検出するエンコーダを使用するか、使用しない場合は、ライン速度をいくつにするかの設定を行います。

### 4.4.4.1. エンコーダを使用しない場合

**エンコーダ**のプルダウンメニューより**使用しない**を選択します。**ライン速度**には、実際のコンベアのライン速度を入力します。範囲は1.0～57.1m/分です。**DPI**はプルダウンメニューより任意の解像度を選択します。標準の解像度は400です。

### 4.4.4.2. エンコーダを使用する場合

**エンコーダ**のプルダウンメニューより**使用する**を選択します。U2 オプションの標準エンコーダをご使用の場合、他の項目は変更しないでください。

## 4.4.5. 繰返し印刷

同じ内容を繰返し印刷させる機能の設定を行います。

### 4.4.5.1. 状態

繰返し印刷を使用するか、しないかをプルダウンメニューから選択します。**使用する**、**使用しない**から選択してください。

### 4.4.5.2. トリガーモード

トリガーモードを使用するか、しないかをプルダウンメニューから選択します。トリガーモードを使用する場合、センサが覆われている状態の時、印刷が行われます。また、使用しない場合、印刷可能状態の間、印刷が行われます。**使用する**、**使用しない**から選択してください。

### 4.4.5.3. 設定

トリガーモードを使用する場合、繰返し印刷の設定をプルダウンメニューから選択します。**通常印刷**の場合、**繰返し回数**で指定した回数だけ繰返し印刷を行います。**繰返し印刷**の場合、センサが覆われている状態の間、繰返し印刷を行います。**通常印刷**、**繰返し印刷**から選択してください。

### 4.4.5.4. 初期間隔

トリガーモードを使用する場合、設定します。センサが覆われてから1つめの印刷がされるまでの距離を入力します。範囲は0～4161mmです。

### 4.4.5.5. 繰返し間隔

印刷の間隔を入力します。範囲は10～4161mmです。印刷の幅より広い間隔を指定しなければなりません。

### 4.4.5.6. 繰返し回数

トリガーモードを使用する場合で、**通常印刷**が選択されている場合、設定します。印刷を繰返す回数を入力します。範囲は1～65535回です。

## 4.4.6. 印刷画面モード

印刷中に表示させる画面の選択を行います。プルダウンメニューより**印刷情報**、**印刷プレビュー**から選択してください。

## **4.5. システム情報**

システムに関する情報を表示します。

### **4.5.1. MessagePRO**

MessagePRO のバージョン情報と注意書きが表示されます。

### **4.5.2. SD カード**

SD カードの各種情報が表示されます。

## 5. PC ツール

U2 では、その他にも便利で安全にご使用いただけるよう、各種の機能を用意しています。

### 5.1. ユーザアカウント

U2 では、セキュリティを考慮し、ユーザアカウントを作成して、ログインユーザとパスワードを設定することが可能です。また、作成したユーザにはそれぞれ、どの権限を付与するか指定が可能です。

#### 5.1.1. ログイン設定

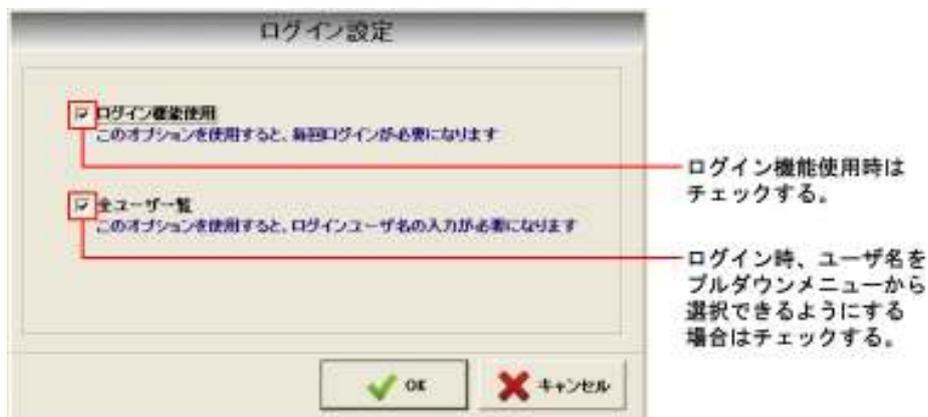


ログイン機能を使用するか、しないかの設定を行います。以下の手順で作業してください。

- ① **ログイン設定の開始**…ログイン設定アイコンをクリックして、ログイン設定画面を表示させます。



- ② **ログインの設定**…ログイン機能を使用する場合は、**ログイン機能使用**にチェックを入れてください。また、その下の**全ユーザー一覧**にチェックを入れますと、ログイン時、ユーザ名をプルダウンメニューから選択できるようになります。



## 5.1.2. ユーザ管理



ログイン機能を使用する設定にした場合、表示されるアイコンで、ユーザの管理を行います。ユーザの追加、削除、コピー、変更が行えます。上図**ユーザ管理アイコン**をクリックしますと、**ユーザ管理画面**が表示されます。表示後、以下の手順でそれぞれの作業を行ってください。



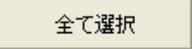
### 5.1.2.1. ユーザの追加

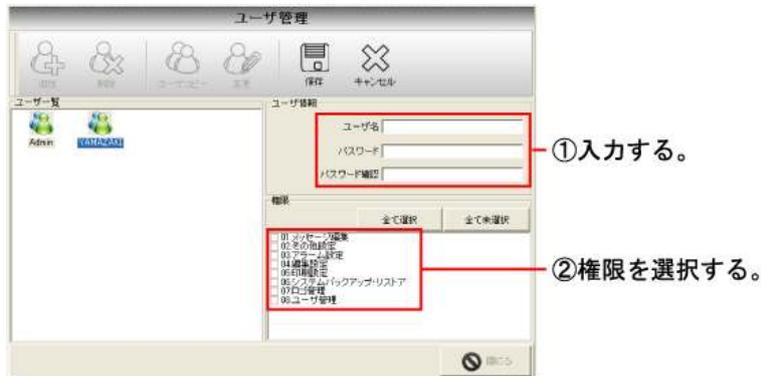
ユーザの新規追加方法です。以下の手順で設定してください。

- ① **追加アイコンのクリック**…追加アイコンをクリックし、ユーザ追加可能状態にします。



# MessagePRO ユーザマニュアル

- ② **ユーザ情報、権限の設定**…ユーザ名には作成したいユーザ名を、パスワードには設定したいパスワードを、パスワード確認にはパスワードで設定したパスワードをそれぞれ入力します。また、権限欄からは、そのユーザに持たせてもよい権限にチェックを入れます。全ての権限を持たせる場合は、権限1つずつ、全部にチェックを入れていく方法の他、**全て選択ボタン**  をクリックしても全権限にチェックが入ります。



- ③ **設定の終了**…設定が終わりましたら、**保存ボタン**  をクリックして、ユーザ情報を登録してください。



## 5.1.2.2. ユーザの削除

ユーザの削除方法です。以下の手順で設定してください。

- ① **削除したいユーザの選択**…**ユーザー一覧**から削除したいユーザ名をクリックします。



## MessagePRO ユーザマニュアル

- ② **削除の実行**…削除アイコンをクリックしますと、確認画面が表示されますので、削除する場合は、はいボタンをクリックしてください。



### 5.1.2.3. ユーザコピー

ユーザのコピー方法です。ユーザ名以外の全ての情報が同じユーザが作成されます。以下の手順で設定してください。

- ① **削除したいユーザの選択**…ユーザ一覧からコピーしたいユーザ名をクリックします。



- ② **コピーの実行**…ユーザコピーアイコンをクリックしますと、コピーされたユーザが追加されます。なお、コピーされたユーザのユーザ名は、元のユーザ名の後に (1) が付与されたものです。必要があれば、5.1.2.4 章をご覧ください。



# MessagePRO ユーザマニュアル

## 5.1.2.4. ユーザの変更

ユーザ情報の変更方法です。以下の手順で設定してください。

- ① **変更したいユーザの選択**…ユーザ一覧から情報を変更したいユーザ名をクリックします。



- ② **変更アイコンのクリック**…**変更アイコン**  をクリックし、ユーザ情報変更可能状態にします。



- ③ **ユーザ情報、権限の設定**…ユーザ名、パスワード、権限の内、変更したい情報について再設定を行ってください。パスワードを変更した場合は、パスワード確認にも同じパスワードを再入力してください。



# MessagePRO ユーザマニュアル

- ④ **設定の終了**…設定が終わりましたら、**保存ボタン**  をクリックして、ユーザ情報を再登録してください。



## 5.1.3. ログアウト



ログイン機能を使用する設定にした場合、画面左下に表示されるアイコンで、現在ログインしているユーザから抜けることが可能です。上図**ログアウトアイコン**をクリックしますと、**ログアウト画面**が表示されます。

別ユーザでログインし直す場合は**ユーザ変更アイコン** 、MessagePROを終了する場合は**終了アイコン** 、ログアウトしない場合は**キャンセルボタン**  をクリックしてください。



## 5.2. システムバックアップ・リストア

U2の各種データは、お客様お手持ちのPCに保存しておくことが可能です。不測の事態が起こり、万が一コントローラ内部のデータが消えてしまっても、データを外部のPCに保存しておけば安心です。

## 5.2.1. バックアップ



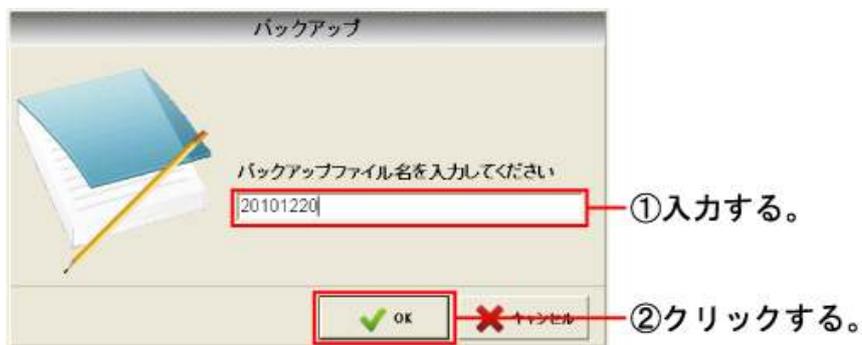
バックアップ

SD カードに保存されている U2 コントローラのデータを、お手持ちの PC に保存する機能です。以下の手順で作業してください。

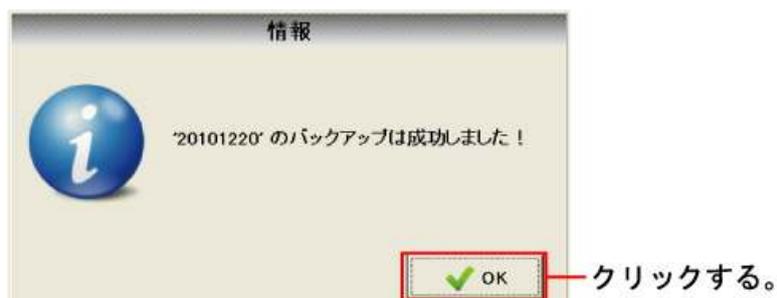
- ① **バックアップの開始**…バックアップアイコンをクリックして、バックアップ画面を表示させます。



- ② **ファイル名の入力**…任意のバックアップファイル名を入力し、OK ボタンをクリックしてください。



- ③ **バックアップ後の確認**…バックアップ終了後、情報画面が表示されますので、OK ボタンをクリックしてください。



## 5.2.2. リストア



バックアップ機能を使用して、PCに保存したデータを、SDカードに戻す機能です。

### 5.2.2.1. リストアの実行

リストアを行う場合は、以下の手順で作業してください。

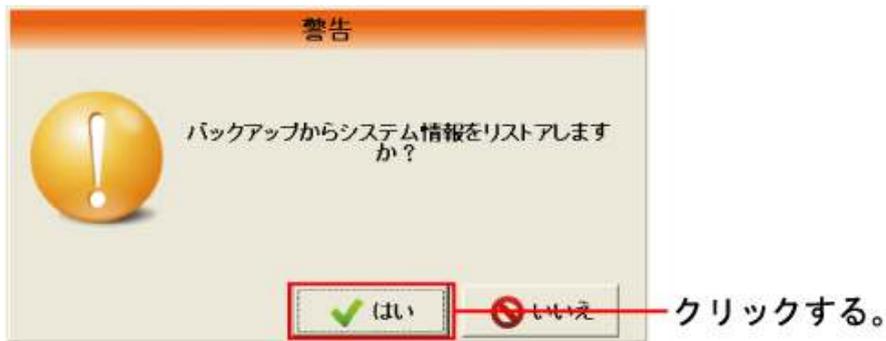
- ① **リストアの開始**…リストアアイコンをクリックして、**リストア画面**を表示させます。



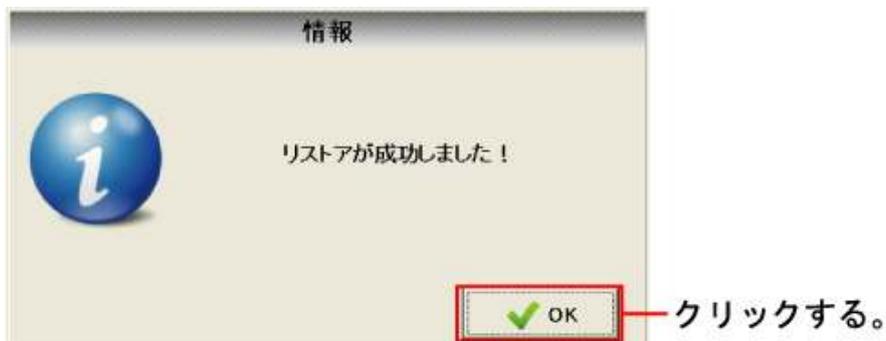
- ② **ファイルの選択**…リストアしたいポイントのバックアップファイル名を選択し、**OK ボタン**をクリックしてください。



- ③ **リストアの確認**…警告画面が表示されますので、リストアする場合は、**はいボタン**  をクリックしてください。



- ④ **リストア後の確認**…リストア終了後、**情報画面**が表示されますので、**OK ボタン**  をクリックしてください。



## 5.2.2.2. リストアポイントの削除

不要なリストアポイント（バックアップファイル）は、削除することが可能です。削除する場合は、以下の手順で作業してください。

- ① **リストア画面の表示**…リストアアイコン  をクリックして、**リストア画面**を表示させます。

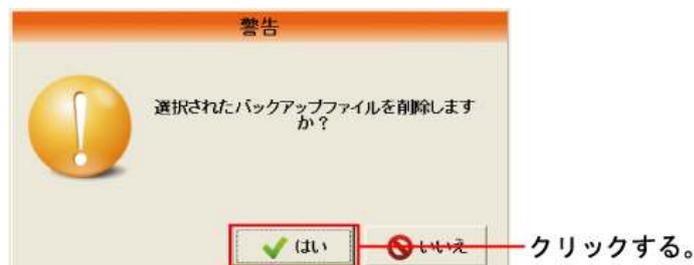


# MessagePRO ユーザマニュアル

- ② **リストアポイントの選択**…削除したいリストアポイント（バックアップファイル）を選択し、**削除ボタン**  をクリックしてください。



- ③ **削除の確認**…警告画面が表示されますので、削除する場合は、**はいボタン**  をクリックしてください。



## 5.3. その他

### 5.3.1. ロゴ



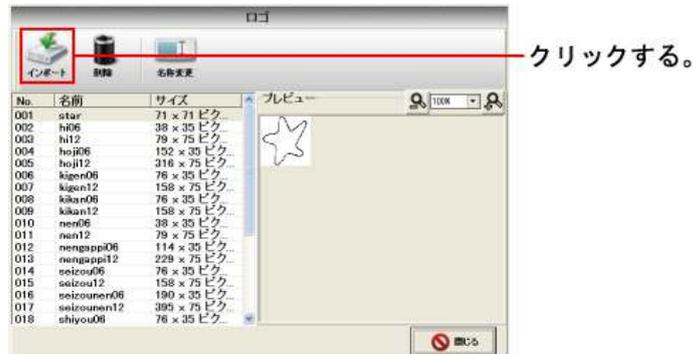
U2 で画像を印刷できるよう、画像データを取り込み印刷させる機能です。ロゴの追加、削除、名称変更が行えます。上図**ロゴアイコン**をクリックしますと、**ロゴ画面**が表示されます。表示後、以下の手順でそれぞれの作業を行ってください。



## 5.3.1.1. ロゴの登録 (インポート)

パソコン上で予め作成した画像 (ビットマップ) を、こちらの機能にて U2 コントローラに登録し、使用できるようにします。以下の手順で作業してください。

- ① **インポートの開始**…インポートアイコンをクリックして、**ファイルを開く画面**を表示させます。



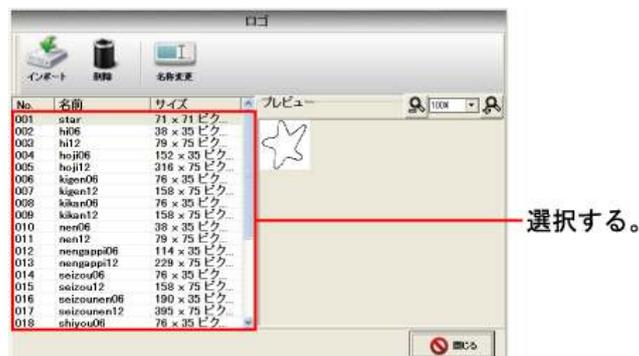
- ② **ファイルの選択**…まず、登録したいビットマップファイルが保存されているフォルダを指定し、登録したいビットマップファイルを選択して、**開くボタン**をクリックします。



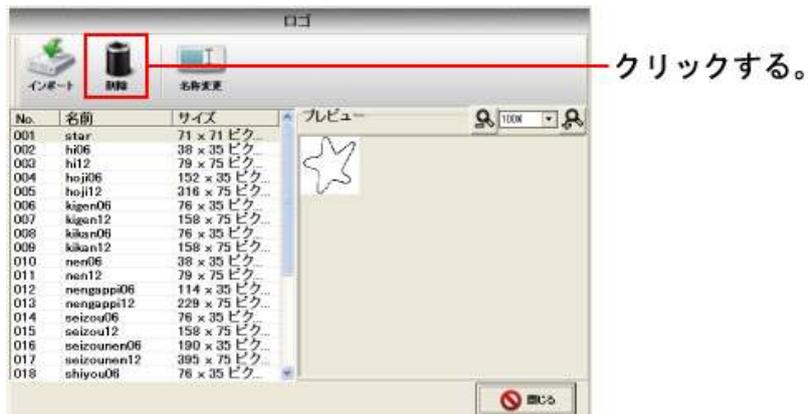
## 5.3.1.2. ロゴの削除

既に登録されているロゴの削除を行います。以下の手順で作業してください。なお、予め登録されている漢字ロゴ (賞味期限、製造年月日等) を削除しますと、再登録するにはビットマップファイル作成から行わなければならないとなりますので、ご注意ください。

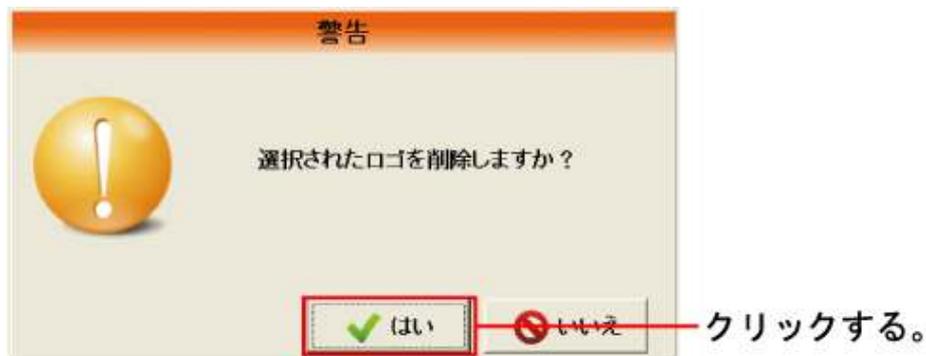
- ① **削除したいロゴの選択**…ロゴの一覧より削除したいロゴを選択します。



- ② **ロゴの削除**…削除アイコンをクリックします。



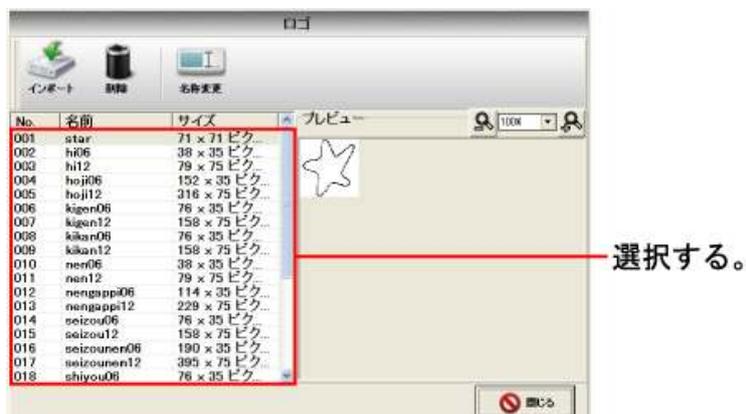
- ③ **削除の確認**…警告画面が表示されますので、削除する場合は、はいボタンをクリックしてください。



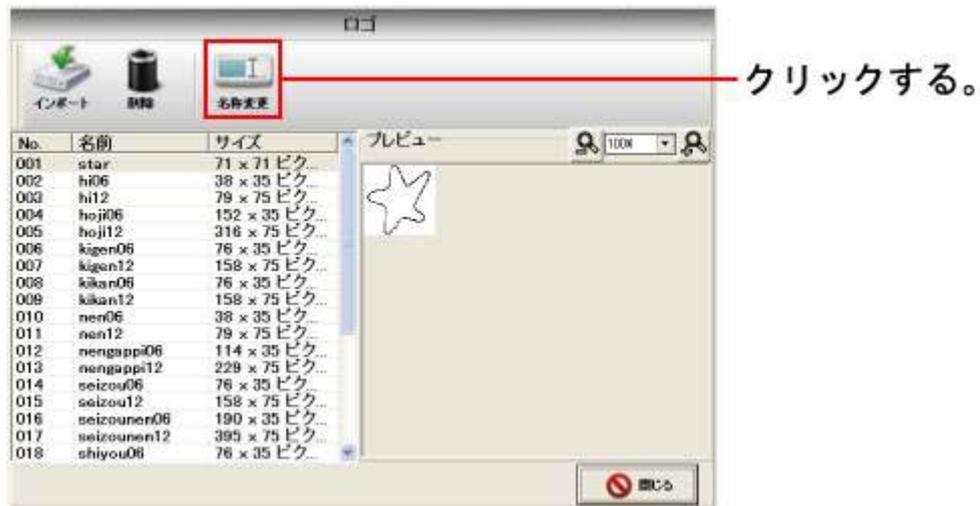
### 5.3.1.3. ロゴの名称変更

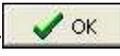
ロゴの名称を変更できます。使用できる文字は、アルファベットと数字です。以下の手順で作業してください。

- ① **名称変更したいロゴの選択**…ロゴの一覧より名称変更したいロゴを選択します。



- ② **ロゴの名称変更**…名称変更アイコンをクリックして、名称変更画面を表示させます。



- ③ **ファイル名の入力**…任意のロゴ名を入力し、OK ボタンをクリックしてください。



#### 5.3.1.4. ロゴの元データに使用するビットマップについて

ロゴの元データを作成する際、ビットマップは以下の高さを上限にしてください。

- 12.7mm (1行) 用…75 ピクセル
- 5.5mm (2行) 用…35 ピクセル
- 3.6mm (3行) 用…24 ピクセル
- 2.7mm (4行) 用…17 ピクセル

#### 5.3.2. 登録

この機能は、弊社からの指示がある場合を除き、使用しません。

## 6. トラブルシューティング

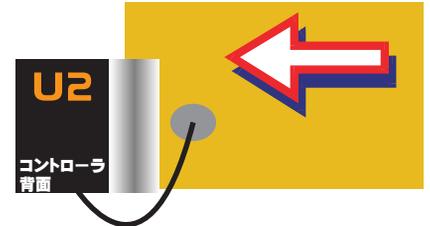
- **文字高さの異なるオブジェクトが配置できない。**⇒行数指定しているメッセージでは、異なる文字高さのオブジェクトは配置できません。異なる文字高さのオブジェクトを配置したい場合は、**ラインモード**で**行数指定なし**を選択してください。
- **オブジェクトを任意の場所に配置できない。**⇒行数指定しているメッセージでは、縦方向の位置は、決められた場所にしか配置できません。任意の場所にオブジェクトを配置したい場合は、**ラインモード**で**行数指定なし**を選択してください。
- **ラインモードの変更ができない。**⇒オブジェクトが1つでも配置されているメッセージは、ラインモードの変更はできません。メッセージ上のオブジェクトを全て削除してからラインモードを指定し直すか、新規でメッセージを作成してください。
- **Windows フォントの内容が文字化けする。**⇒Windows フォントオブジェクトを貼り付けた際、文字化けしてしまう場合は、まず文字化けしているオブジェクトをダブルクリックして、設定画面を表示させます。**フォントタブ**をクリックして、フォントの設定画面を表示させ、**フォント名**から日本語用フォント（MS 明朝、MS ゴシック等）を選択してください。
- **アルファベットの小文字が指定できない。**⇒Windows フォントオブジェクト以外のオブジェクトには、アルファベットの小文字は使用できません。
- **特定の作業ができない。**⇒メッセージ編集ができない、印刷設定ができない等、特定の作業に関するアイコンをクリックできず、その作業が行えない場合、その作業をする権限のないユーザでログインしている可能性があります。権限のあるユーザでログインし直してください。

U2の印刷の開始位置設定について、通常は、印刷開始位置キー  を押して、開始位置の値を入力し、設定しますが、現在この機能は改善中のため、0mmと設定しなければなりません。したがって、印刷の開始位置はデザイン上に空白を挿入して設定していただく必要があります。データ作成時、以下の方法で設定を行ってください。

また、外付けセンサを使用していただく必要もあります。外付けセンサの取り付け、設定方法は、ユーザマニュアルをご参照ください

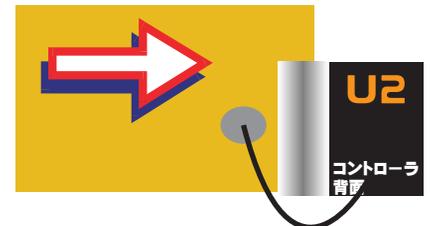
## ①ワークの流れ方向が右から左の場合

- ① 印刷したいメッセージを作成します。
- ② 全てのオブジェクトを配置し終わったら、カーソルを先頭に移動します。
- ③ スペースキー  を押してスペースを挿入していきます。ラインの速度とU2コントローラのライン速度設定が合っている場合、スペースを11~12個ほど挿入しますと、ファイルの内容がワークの左端に印刷されます。  
スペース1つで6~7mmほどの幅がありますので、さらにスペースを追加して、印刷開始位置に合わせてください。
- ④ おおよその位置が決まりましたら、編集作業を一旦終え、テスト印刷を行ってください。印刷位置を確認し、ずれているようであれば、再度編集画面にしてから、スペースの追加、または削除を行ってください。



## ②ワークの流れ方向が左から右の場合

- ① 印刷したいメッセージを作成します。
- ② 全てのオブジェクトを配置し終わったら、カーソルを一番後ろに移動します。
- ③ ログキー  を押してロゴ入力状態にした後、5キー  、7キー  を押して「dummy\_sp」というロゴを呼び出し、エンターキー  を押して空白のロゴを貼り付けます。（印刷データの開始点となります。）
- ④ 左キー  を1回押して一番後ろのオブジェクトと今挿入した空白ロゴの間にカーソルを移動します。
- ⑤ スペースキー  を押してスペースを挿入していきます。ラインの速度とU2コントローラのライン速度設定が合っている場合、スペースを15個ほど挿入しますと、ファイルの内容がワークの右端に印刷されます。  
スペース1つで6~7mmほどの幅がありますので、さらにスペースを追加して、印刷開始位置に合わせてください。
- ⑥ おおよその位置が決まりましたら、編集作業を一旦終え、テスト印刷を行ってください。印刷位置を確認し、ずれているようであれば、再度編集画面にし、一番後ろのオブジェクトの右端にカーソルを移動してから、スペースの追加、または削除を行ってください。

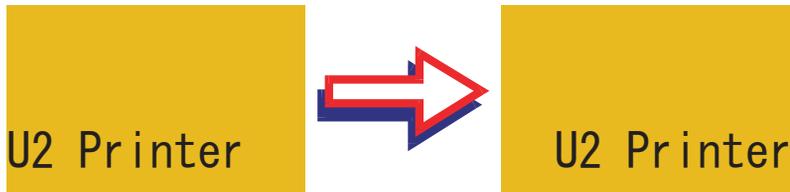


※1：データ編集方法、印刷開始位置以外の諸設定の詳細については、ユーザマニュアルを参照してください。  
※2：上記説明のスペースの挿入個数や、スペースの幅は、ライン速度の設定と実際のコンベア速度が合っている場合で、片ノズル使用、解像度300×400の時のものです。設定が変わるとこの値も変わります。目安としてお考えください。

内蔵センサが使用でき、印刷開始位置の設定が使用できるコントローラは現在準備中です。お客様のご要望があれば、リリースされ次第、コントローラの交換を行います。



## Q1. 印刷の位置を変えたい！

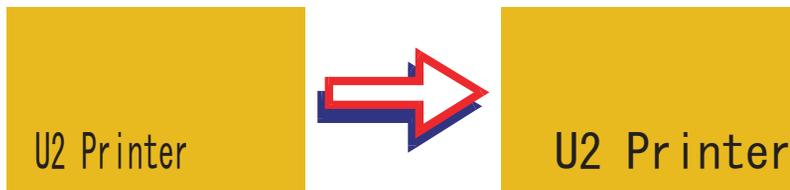


### A1. 以下の手順で印刷位置を調整してください。

- ① 矢印キーを使用して、印刷開始位置設定を行いたいメッセージ番号へカーソルを移動します。
- ② 印刷開始位置キー  を押して、印刷開始位置画面を表示させます。
- ③ 数字キーを使用して、印刷開始位置の値を変更します。（範囲は0～2500mm）
- ④ エスケープキー  を押して、初期画面に戻ります。



## Q2. 印刷文字の幅を変えたい！（エンコーダ未使用時）

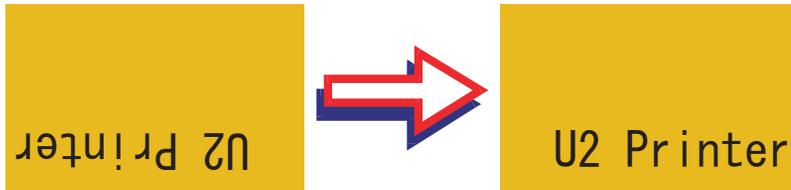


### A2. 以下の手順で印刷文字幅を調整してください。

- ① 各種設定キー  を押して、各種設定画面を表示させます。
- ② カーソルを印刷設定に合わせてエンターキー  を押し、印刷設定画面を表示させます。
- ③ カーソルをエンコーダ・ライン速度に合わせてエンターキー  を押し、エンコーダ・ライン速度画面を表示させます。
- ④ 下矢印キー  を使用して、ライン速度へカーソルを移動します。
- ⑤ 数字キーを使用して、ライン速度の値を変更します。（範囲は1.0～76.2m/分）
- ⑥ エスケープキー  を3回押して、初期画面に戻ります。



### Q3. 印刷の上下や方向を変えたい！

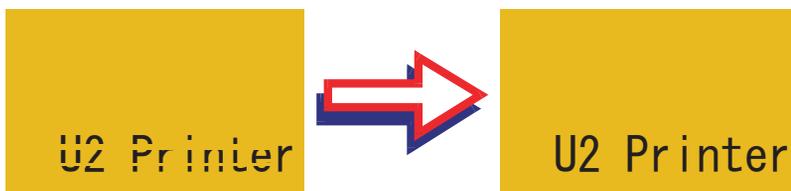


### A3. 以下の手順で印刷方向を調整してください。

- ① 各種設定キー  を押して、各種設定画面を表示させます。
- ② カーソルを印刷設定に合わせてエンターキー  を押し、印刷設定画面を表示させます。
- ③ カーソルをプリンヘッドに合わせてエンターキー  を押し、プリントヘッド速度画面を表示させます。
- ④ カーソルが印刷方向にあることを確認します。
- ⑤ 左右矢印キー   を使用して、印刷方向を変更します。
- ⑥ エスケープキー  を3回押して、初期画面に戻ります。

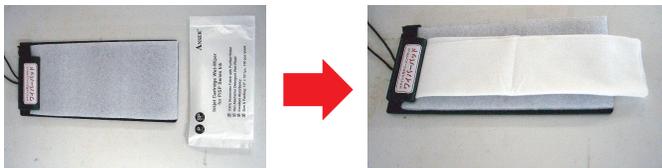


### Q4. 印刷が擦れる、出ない！

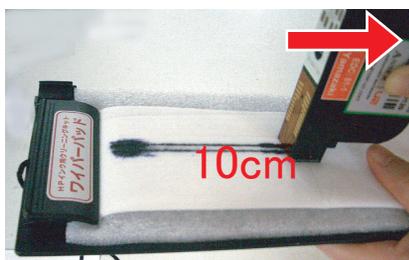


### A4. 以下の方法をお試しください。

#### ① ヘッドを拭く。



専用のワイパーパッド、ワイパーを用意し、ワイパーをワイパーパッドに乗せます。



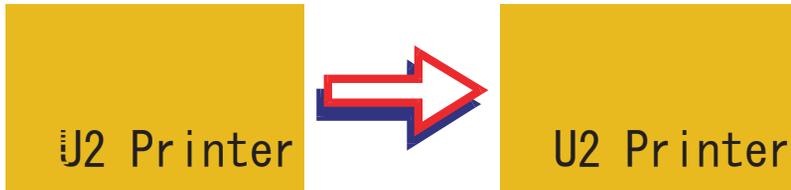
カートリッジのノズル部分をワイパーに軽く当て、10cmほどゆっくりとカートリッジを引いてください。この時、ノズルに対して水平になる向きで引いてください。

#### ② 以下の手順で使用ノズルを変更する。

- ① 各種設定キー  を押して、各種設定画面を表示させます。
- ② カーソルを印刷設定に合わせてエンターキー  を押し、印刷設定画面を表示させます。
- ③ カーソルをプリンヘッドに合わせてエンターキー  を押し、プリントヘッド速度画面を表示させます。
- ④ 下矢印キー  を使用して、使用ノズルへカーソルを移動します。
- ⑤ 左右矢印キー   を使用して、ノズルを変更します。
- ⑥ エスケープキー  を3回押して、初期画面に戻ります。



## Q5. 印刷の間隔が空いた後、初めが擦れる！

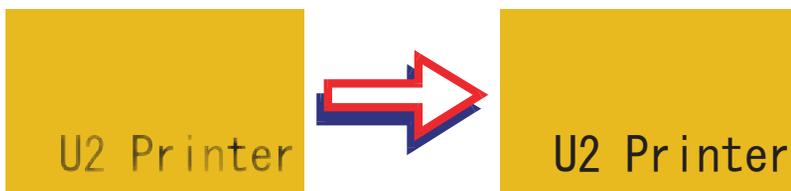


### A5. インクが乾きやすい環境にあると思われます。 以下の手順でプレパージの設定をしてください。

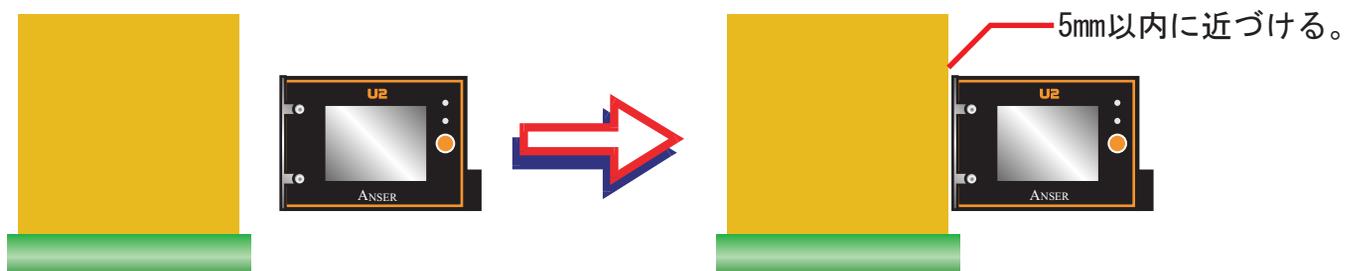
- ① 各種設定キー  を押して、各種設定画面を表示させます。
  - ② カーソルを印刷設定に合わせてエンターキー  を押し、印刷設定画面を表示させます。
  - ③ カーソルをプレパージに合わせてエンターキー  を押し、プレパージ画面を表示させます。
  - ④ カーソルが状態にあることを確認します。
  - ⑤ 左右矢印キー   を使用して、状態をオンに変更します。
  - ⑥ カーソルをレベルに合わせて3キー  を押し、レベルを3にします。
  - ⑦ エスケープキー  を3回押して、初期画面に戻ります。
  - ⑧ しばらく様子を見ていただき、まだ擦れる場合は、レベルを上げてください。また、擦れは収まったが周りの汚れが気になる場合は、レベルを下げてください。
- ※プレパージの注意点…プレパージは、乾きを防ぐため、微量のインクを噴射し続ける機能です。したがって周りの環境が汚れたり、インクの減りが速くなります。



## Q6. 印刷がぼやける！



### A6. ワークとプリントヘッドの距離が離れています。 ワークとプリントヘッドを5mm以内に近づけてください。



# U2 ユーザマニュアル Ver.4.8.41.59

Last revision: 2014/03/10



<b>1. はじめに（必ずご一読ください）</b>	<b>5</b>
1.1. 使用上の注意	5
1.2. 本体各部について	6
1.2.1. コントローラ（通常タイプ）	6
1.2.2. コントローラ（モバイルタイプ）	7
1.2.3. リモコンキーパッド	8
1.2.4. ディスプレイ表示の説明	9
1.2.5. SD カードについて	10
1.3. メニュー構成	11
1.4. インクについて	12
1.4.1. 42cc インクカートリッジ	12
1.4.2. 370cc バルクインクシステム	12
1.4.3. インクカートリッジ取り扱いに関する基本注意事項	13
1.5. お断り	14
<b>2. U2（通常タイプ）の設置</b>	<b>15</b>
2.1. 設置の前に	15
2.2. U2 設置例	15
2.3. 標準の設置手順	15
2.3.1. ガイドの取り付け	15
2.3.2. ブラケットの設置	16
2.3.3. 電源ケーブルの接続	19
2.3.4. アースの接地	20
2.3.5. インクカートリッジ（ペン）の挿入	20
2.3.6. リモコンキーパッドの準備	21
2.4. 370cc バルクインク	21
2.4.1. 側面印刷の場合	21
2.4.2. 天面印刷の場合	23
<b>3. 印刷について</b>	<b>27</b>
3.1. 基本操作（通常タイプ）	27
3.2. 基本操作（モバイルタイプ）	29
3.3. メッセージについて	31
3.3.1. メッセージ作成の概要	31
3.3.2. メッセージの新規作成	35
3.3.3. メッセージの編集	36
3.3.4. メッセージのコピー	36
3.3.5. メッセージの削除	36
3.4. オブジェクトについて	37
3.4.1. オブジェクトの編集方法	37
3.4.2. オブジェクトの種類	38
<b>4. ツール</b>	<b>42</b>
4.1. ログアウト	42
4.2. 印刷内容画面	42
4.3. ロゴプレビュー	42
4.4. 新規メッセージ作成	43

4.5.	メッセージコピー .....	43
4.6.	インク情報 .....	43
4.7.	製品カウンタ .....	43

<b>5.</b>	<b>各種設定 .....</b>	<b>44</b>
-----------	-------------------	-----------

5.1.	印刷開始位置 .....	44
5.2.	システム設定 .....	44
5.2.1.	シャットダウン .....	44
5.2.2.	使用言語 .....	45
5.2.3.	使用単位 .....	45
5.2.4.	システム日付 .....	45
5.2.5.	画面バックライト節電 .....	45
5.2.6.	サマータイム制 .....	46
5.2.7.	初期値へリセット .....	46
5.2.8.	時間補正 .....	46
5.3.	アラーム設定 .....	47
5.3.1.	カウンタアラーム .....	47
5.3.2.	プッシュ音 .....	47
5.3.3.	印刷時ビーブ音 .....	47
5.4.	編集設定 .....	47
5.4.1.	メッセージ名 .....	48
5.4.2.	年(暦)設定 .....	48
5.4.3.	日付・時刻書式 .....	48
5.4.4.	シフト .....	49
5.4.5.	ロールオーバー .....	49
5.4.6.	カウンタリセット .....	50
5.4.7.	ゼロサプレス .....	50
5.4.8.	印字開始位置共通設定 .....	50
5.5.	システム診断 .....	50
5.5.1.	システムテスト .....	50
5.5.2.	ログレポート .....	51
5.6.	印刷設定 .....	52
5.6.1.	プリントヘッド .....	52
5.6.2.	プレページ .....	53
5.6.3.	センサ (通常タイプのみ) .....	53
5.6.4.	エンコーダ・ライン速度 (通常タイプのみ) .....	53
5.6.5.	エンコーダ (モバイルタイプのみ) .....	54
5.6.6.	ライン速度テスト (通常タイプのみ) .....	54
5.6.7.	繰返し印刷 .....	54
5.6.8.	ヘッドクリーニング .....	55
5.6.9.	印刷画面モード .....	55
5.6.10.	リフレッシュ時間 .....	55
5.7.	セキュリティ設定 .....	56
5.7.1.	ユーザの追加 .....	56
5.7.2.	ユーザの削除 .....	56
5.7.3.	ユーザの変更 .....	57
5.8.	U2 について .....	57
5.8.1.	プリンタ情報 .....	57
5.8.2.	インク情報 .....	58
5.9.	登録 .....	58

<b>6. メンテナンス</b> .....	<b>59</b>
6.1. 印刷開始時のクリーニング作業.....	59
6.1.1. 浸透性物質用インク (SP4、バルクインク) の場合 .....	59
6.1.2. 非浸透性物質用インク (NP4) の場合 .....	60
6.2. 印字中断後のメンテナンス方法.....	61
6.2.1. 浸透性物質用インク (SP4、バルクインク) の場合 .....	61
6.2.2. 非浸透性物質用インク (NP4) の場合 .....	62
6.3. 定期的な時刻調整 .....	62
6.4. モバイルタイプのバッテリーについて.....	63
6.4.1. バッテリーの着脱 .....	63
6.4.2. バッテリーの充電 .....	63
6.5. U2 モバイルの保管 .....	64
<b>7. オプション機能</b> .....	<b>65</b>
7.1. 外付けセンサ .....	65
7.1.1. 外付けセンサ設置手順.....	65
7.1.2. コントローラ側の設定.....	67
7.1.3. 外付けセンサのピンアサイン.....	67
7.2. エンコーダ .....	67
7.2.1. エンコーダ設置手順.....	68
7.2.2. コントローラ側の設定.....	69
7.3. アラームキット .....	69
7.3.1. 信号の内容 .....	69
7.3.2. アラームキット接続手順.....	69
7.4. エクспанションキット .....	70
<b>8. トラブルシューティング</b> .....	<b>71</b>
8.1. 印刷の状態が悪い時は .....	71
8.1.1. 設定による問題 .....	71
8.1.2. プリントヘッドの問題.....	72
8.1.3. 印刷距離の問題 .....	72
8.2. 印刷が出ない場合 .....	72
8.3. Alarm ランプが点灯している.....	74
8.4. リモコンキーパッドで動作しない.....	74
8.5. その他 .....	75
<b>9. お問い合わせ</b> .....	<b>76</b>

# 1. はじめに (必ずご一読ください)

## 1.1. 使用上の注意



本機を安全にご使用いただくため、以下の注意事項をお守りください。なお、お守りいただいていない場合の本機の故障、印刷の障害等につきましては、当社は一切その責任を負いません。

- ① 日本国内の使用に限ります。
- ② 電源ケーブルは傷つけないでください。
- ③ 熱の発生源の近く、直射日光の当たるところ、腐蝕性ガスのある環境、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しないでください。
- ④ 内部に水や異物を入れないでください。
- ⑤ むやみに内部を開けないでください。
- ⑥ 本体からこげるような臭いがする場合や、煙が出ている場合、異様な音がするような場合には直ちに電源プラグを抜いてください。
- ⑦ 不安定な場所、振動や衝撃の加わる場所には設置しないでください。また、重いものを載せないでください。
- ⑧ コントローラ、特に U2 モバイルは落下させないようにしてください。
- ⑨ コネクタ類は確実に接続してください。
- ⑩ 電源は 100V～240V (50/60Hz) であることを確認の上ご使用ください。
- ⑪ アース線は必ず接地してください。(D種接地)
- ⑫ 電源ケーブルは、他機器とのチェーンでの接続、タコ足での接続をお止めください。
- ⑬ 雷が近づいて来た場合には速やかに電源を落とし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ⑭ 本機を移動させる場合や、お手入れをする場合、各ケーブルを抜き差しする場合には必ず電源プラグを抜いてから行ってください。また、振動や衝撃を与えないようにしてください。
- ⑮ 本体内に保存された、お客様が作成されたデータに関しましては、不測の事態などで消去、破損等された場合、当社は一切その責任を負いません。
- ⑯ コントローラ内蔵のシステム時計は、正確ではない場合があります。したがって、定期的にシステム時計の調整を行うことをお勧めします。特に、賞味期限などの日付や、時刻を印刷されているお客様は、週に1度必ずシステム時計の調整を行ってください。なお、時刻の調整方法につきましては、5.2章→5.2.4章をご覧ください。

### ★ 無料修理規定 ★

- 1、取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内（納入日より1年間に故障した場合には、弊社にて無料で修理いたします。ただし、出張修理の場合は、出張に要する実費をいただきます。
- 2、保証期間内でありましても、次の場合は有料修理となります。
  - A) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障、損傷。
  - B) お買い上げ後の取付け位置移動、または落とされた場合などによる故障、損傷。
  - C) 火災、公害、異常電圧、および地震・落雷・風水害、その他天災など、外部に原因がある故障、損傷。
  - D) 衝突、事故などによる故障、損傷。
  - E) 消耗品が損耗し、取替えを要する場合。
  - F) 電池の液漏れなどによる故障、損傷。
- 3、無料修理は、日本国内においてのみ有効です。

- 4、当社製品の停止による生産物の完成遅延、および設備停止による損害等の二次的な損害につきましては、弊社では責任を負いかねます。

### 1.2. 本体各部について

U2 の各部名称と機能は以下の通りです。

#### 1.2.1. コントローラ (通常タイプ)

画面、プリントヘッド、センサが一体となった、コンパクトなコントローラです。



- ① **SD カードスロット**…データ等の保存された SD カードを挿入するスロット。  
② **プリントヘッド**…インクカートリッジ先端にある、インクの噴射口。  
③ **内蔵センサ**…ワークを検出するためのセンサ。



- ④ **インクカートリッジ**…インクが入っているカートリッジ。  
⑤ **警告ランプ**…カートリッジにエラーがある場合、カートリッジがない場合、インクが空の場合に点灯するランプ。  
⑥ **インクローランプ**…インク残量がわずかになった時に点灯するランプ。  
⑦ **ディスプレイ**…メニューや各種メッセージを表示する、2.8 インチカラー液晶画面。  
⑧ **印刷ランプ**…印刷可能モード時、点灯するランプ。  
⑨ **電源ランプ**…電源がオンの時、点滅するランプ。  
⑩ **カートリッジストッパ**…インクカートリッジを固定するストッパ。  
⑪ **赤外線受光部**…リモコンキーパッドからの赤外線信号を受光する部分。  
⑫ **外部機器接続ポート**…アラームキット等の外部機器を接続するポート。

## U2 ユーザマニュアル

- ⑬ **赤外線受光ランプ**…赤外線が受光可能な場合に点灯するランプ。
- ⑭ **電源・リモコンオン・オフボタン**…電源オフ時、電源を入れるためのボタン。電源オン時、リモコンの赤外線信号受信のオン・オフを切り替えるためのボタン。また、5秒以上押下し続けるとシャットダウンを行うボタン。
- ⑮ **電源ポート・ケーブル**…ACアダプタ、およびコンセントプラグのついた電源ケーブルを接続するケーブルとそのポート。

### 1.2.2. コントローラ (モバイルタイプ)

画面、プリントヘッド、エンコーダが一体となった、コンパクトなハンディタイプのコントローラです。



- ① **インクカートリッジ**…インクが入っているカートリッジ。
- ② **警告ランプ**…カートリッジにエラーがある場合、カートリッジがない場合、インクが空の場合に点灯するランプ。
- ③ **インクローランプ**…インク残量がわずかになった時に点灯するランプ。
- ④ **電源ランプ**…電源がオンの時、点滅するランプ。
- ⑤ **印刷ランプ**…印刷可能モード時、点灯するランプ。
- ⑥ **SD カードスロット**…データ等の保存された SD カードを挿入するスロット。
- ⑦ **主電源スイッチ**…U2 モバイルの主電源。こちらの電源がオンになっていないと、電源・リモコンオン・オフボタンを押下しても U2 は起動しません。
- ⑧ **赤外線受光部**…リモコンキーボードからの赤外線信号を受光する部分。
- ⑨ **印刷トリガ**…印刷開始時に押すボタン。
- ⑩ **赤外線受光ランプ**…赤外線が受光可能な場合に点灯するランプ。
- ⑪ **電源・リモコンオン・オフボタン**…電源オフ時、電源を入れるためのボタン。電源オン時、リモコンの赤外線信号受信のオン・オフを切り替えるためのボタン。また、5秒以上押下し続けるとシャットダウンを行うボタン。
- ⑫ **ディスプレイ**…メニューや各種メッセージを表示する、2.8 インチカラー液晶画面。
- ⑬ **グリップ**…U2 モバイルを使用する際、握るグリップ。



- ⑭エンコーダベルト
  - ⑮プリントヘッド
  - ⑯ローラ
  - ⑰エンコーダ
  - ⑱バッテリーベイ
  - ⑲バッテリー
- ⑭ **エンコーダベルト**…ローラの回転をエンコーダに伝えるベルト。  
 ⑮ **プリントヘッド**…インクカートリッジ先端にある、インクの噴射口。  
 ⑯ **ローラ**…U2 モバイルの移動、印刷を安定させるためのローラ。  
 ⑰ **エンコーダ**…コントローラの移動速度を計測する機器。  
 ⑱ **バッテリーベイ**…バッテリーを格納するベイ。  
 ⑲ **バッテリー**…U2 モバイルを駆動するためのバッテリー。

### 1.2.3. リモコンキーパッド

U2 へコマンド入力するための、標準付属の赤外線リモコンキーパッドです。



- ①印刷オンキー
- ②オブジェクト配置キー
- ③カーソル移動キー
- ④ファンクションキー
- ⑤左矢印キー
- ⑥エンターキー
- ⑦エスケープキー
- ⑧文字入力キー
- ⑨印刷オフキー
- ⑩上矢印キー
- ⑪ツールキー
- ⑫右矢印キー
- ⑬印刷開始位置キー
- ⑭下矢印キー

- ① **印刷オンキー**…印刷可能モードを開始するためのキー。
- ② **オブジェクト配置キー**…編集モード時、メッセージ上にオブジェクトを配置するためのキー。
- ③ **カーソル移動キー**…編集モード時、カーソルを移動させるためのキー。
- ④ **ファンクションキー**…各種設定を行うためのメニュー画面を表示させるキー。
- ⑤ **左矢印キー**…カーソルを左へ移動させるため、または「いいえ」を選択するためのキー。
- ⑥ **エンターキー**…入力や選択したものを確定させるためのキー。
- ⑦ **エスケープキー**…入力したものを取り消しさせるため、または前の画面に戻るためのキー。
- ⑧ **文字入力キー**…文字を入力するためのキー。
- ⑨ **印刷オフキー**…印刷可能モードを終了するためのキー。
- ⑩ **上矢印キー**…カーソルを上へ移動させるためのキー。
- ⑪ **ツールキー**…メッセージを編集するためのツールメニューを表示させるキー。
- ⑫ **右矢印キー**…カーソルを右へ移動させるため、または「はい」を選択するためのキー。
- ⑬ **印刷開始位置キー**…印刷開始位置を入力するための画面を表示させるキー。
- ⑭ **下矢印キー**…カーソルを下へ移動させるためのキー。

### ● リモコンキーパッドの電池

リモコンキーパッドにはコイン型リチウム電池が用いられています。電池切れの際は交換が必要です。交換用の電池は、電器店、カメラ店などでゲーム用、電卓用などとして市販されている電池（型番：CR2025）をご購入ください。

リモコン裏面、下側にある電池ホルダを引き出します。つまみを引き、ホルダを手前に引き出してください。新品の電池と交換し、ホルダを戻します。この時+、-を間違えないようにしてください。

### 1.2.4. ディスプレイ表示の説明

メッセージブラウザ画面（基本画面）についての説明です。



- ① **メッセージプレビュー**…カーソルが合っているメッセージ番号のメッセージ内容がプレビュー表示されます。
- ② **印刷メッセージ状態**…印刷するメッセージの状態が表示されます。
- ③ **メッセージ番号**…メッセージ番号が表示されます。メッセージ番号の横にアスタリスク（\*）が表示されているものは、メッセージの内容が登録されているものです。また、メッセージ名表示機能を使用している場合は、メッセージ番号の右側にメッセージ名も表示されます。
- ④ **コントローラ状態アイコン**…コントローラの状態を表すアイコンが表示されます。アイコンの意味は、以下の通りです。

	エンコーダモードです。
	外付けセンサモード、またはモバイルタイプのトリガモードです。
	インクカートリッジがありません。
	インクが空です。
	インク残量がわずかです。
	SD カードが挿入されていません。
	SD カードが挿入されています。
	バッテリーの残量表示です。(モバイルタイプのみ)
	警告があります。
	地域コードか販売コードにエラーがあります。代理店にご連絡ください。
	文字入力モードです

### 1.2.5. SD カードについて

U2 コントローラには SD カードが内蔵されており、各種データが保存されています。この SD カードの内容は、付属の専用ソフトウェア MessagePRO がインストールされ、付属のカードリーダーが接続された PC から編集が可能です。コントローラから SD カードを抜き、カードリーダーに挿し込んでから、MessagePRO を起動し、編集してください。編集の詳細につきましては、MessagePRO ユーザマニュアルをご覧ください。

#### ● **SD カードを紛失した場合や、破損した場合**

市販の SD カードを購入して使用することも可能です。この際、2GB、または 4GB のものをご用意ください。新品の SD カードは、初期化のため、1 度 U2 コントローラに挿入する必要があります。SD カードをコントローラに挿入し、電源を入れると、自動的に初期化が行われ、コントローラと同じシリアル番号が付与されます。なお、初期化が行われた SD カードを使用しないと、MessagePRO では編集できません。

#### ● **コントローラと SD カードの関係について**

コントローラに挿入されている SD カードには、コントローラのシリアル番号と同じ番号のデータが付与され、1 対 1 の関係となっています。したがって、SD カードは、基本的にシリアル番号の異なる別のコントローラでは使用できません。SD カードをコントローラに挿入する際は、SD カードに貼られたシリアル番号シールとコントローラのシリアル番号が同じであることを確認してください。

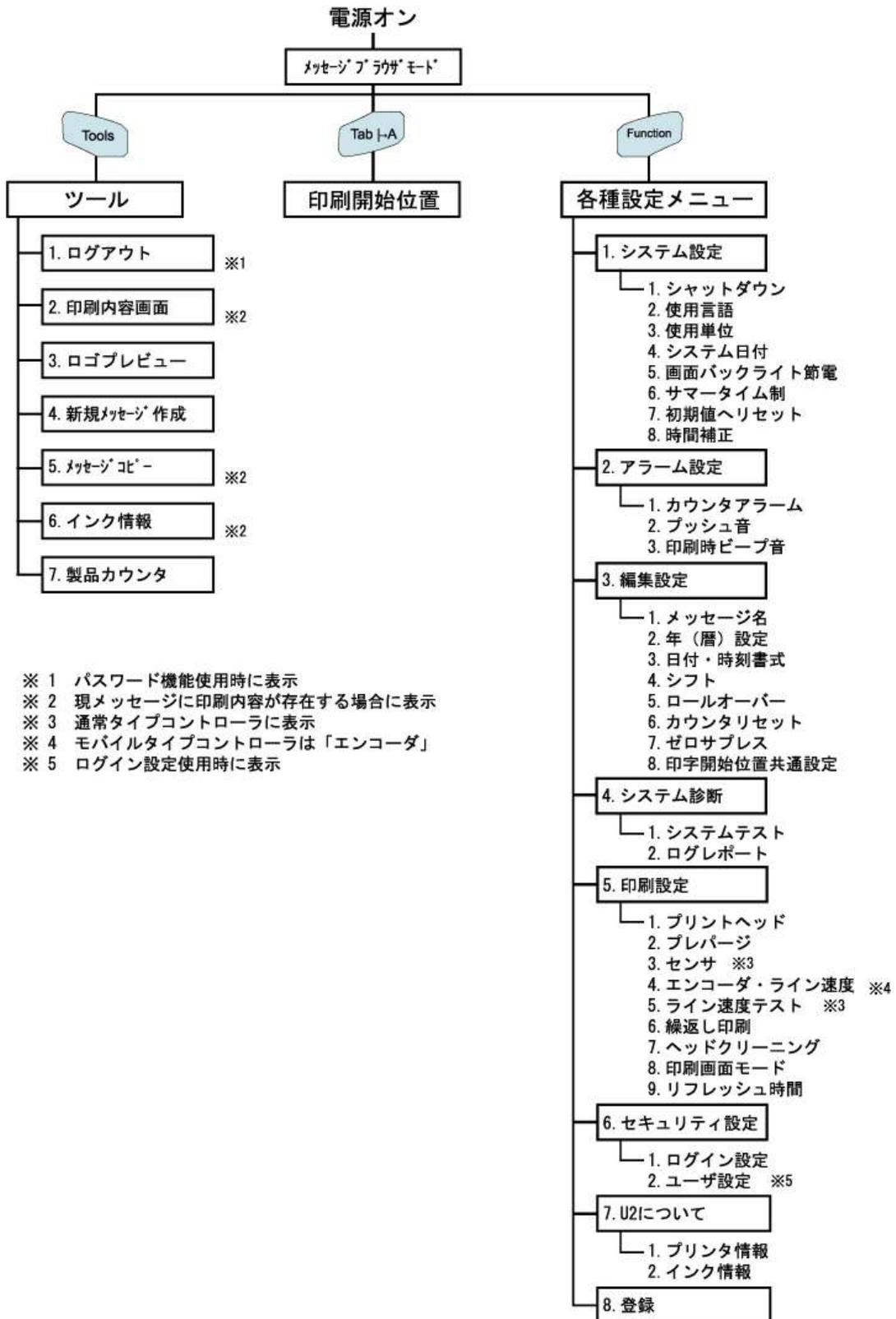
もし、他のコントローラで SD カードを使用する場合、起動時に「無効な SD カード」と表示されますので、SD カードへシリアル番号の同期を行う必要があります。この場合、**初期値へリセット**を行ってください。

**初期値へリセット**の詳細は 5.2 章→5.2.7 章をご覧ください。

なお、「無効な SD カード」が表示された際、**エスケープキー**  を押下して「初期値へリセット」をキャンセルすることはできますが、その後の動作保証はできません。

1.3. メニュー構成

U2 の画面メニューは、以下のように構成されています。



## 1.4. インクについて

### 1.4.1. 42cc インクカートリッジ

U2 で使用されるインクカートリッジは、ヒューレット・パカード®社製。コンパクトで交換も容易、手も汚しません。浸透性物質用インク一般用 SP4、化粧箱用 SP1 と非浸透性物質用インク NP4 があります。



### 1.4.2. 370cc バルクインクシステム

インク交換の回数を減らす、大容量のインクです。インクカートリッジに似た形のノズル部分をペンと呼びます。



370cc バルクインク使用の際は、下図のようなホルダを取り付けます。取り付け手順の詳細は、[2.4 章](#)をご覧ください。



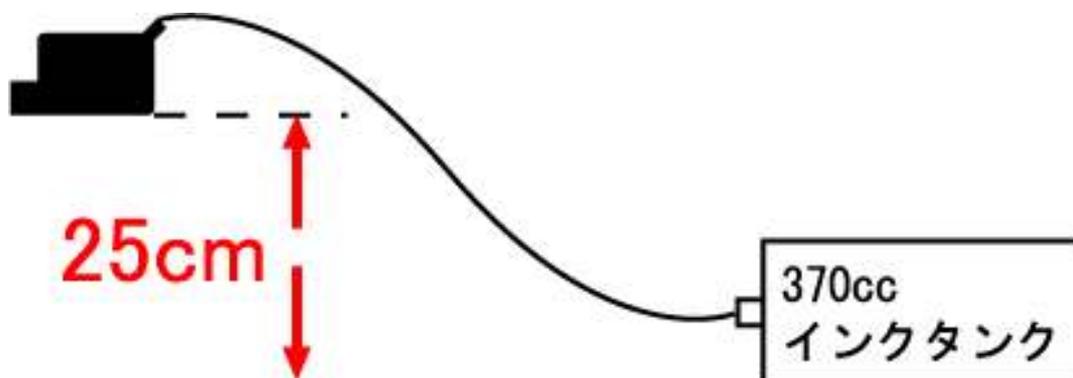
### 1.4.3. インクカートリッジ取り扱いに関する基本注意事項

HP 社製ヘッドを使用する上で、以下の点は必ずお守りください。

- 1、カートリッジやインクタンクを硬い面にぶつかけたり、強く押ししたりすると、ヘッドからインクが漏れ出します。また、振ったり、落としたりするとノズル近くに気泡ができてしまい、印字に筋が入ります。このようなことは行わないようにしてください。また、370cc インクタンクは開封後、振ったり、加圧したりしないでください。



- 2、プリントヘッドのクリーニングが必要な場合は必ず、**専用ワイブ**をご使用ください。また以下のようなものは絶対に使用しないでください。
  - 研磨製のあるもの（産業用ペーパータオル等）
  - 乾いたもの
  - ノズルに残留するおそれがある、細かい繊維でできたもの（スポンジ等）
  - 不織ではないもの（トイレトペーパー等）
  - アルコールや、その他溶剤で湿らされているもの（ウェットティッシュ等）
- 3、バルクインクの保管を行う際、インク漏れを防ぐため、ペン（カートリッジ）とインクタンクの高差 25cm 以内を保ったままストールから外してください。保管方法の詳細は、[6.2 章](#)をご覧ください。
- 4、バルクインクをシステムごと移動したり、クリーニングのためにカートリッジのみ移動する場合は、インクタンク底部とペン（カートリッジ）底部の高さ位置を 25cm の範囲に収めてください。ペン位置がこれより上にありますと、エアが混入し、これより下にありますと、インク垂れが起こります。



## U2 ユーザマニュアル

---

- 5、バルクインクのペンとインクタンクは1度接続すると取り外せないため、これらが寿命に達した場合は、全体を破棄する必要があります。



- 6、バルクインクのペンは、370ccのインクを噴射すると寿命になります。通常、インクタンクは370ccのため、これを使い切ればペンも寿命となります。したがって、ペンとインクタンクは、同時に交換する必要があります。

### 1.5. お断り

Windowsは米国 Microsoft Corporationの米国、及びその他の国における商標、または登録商標です。  
HPはヒューレット・パカード社の商標、または登録商標です。

なお、本文中では™、®マークは明記していません。

## 2. U2 (通常タイプ) の設置

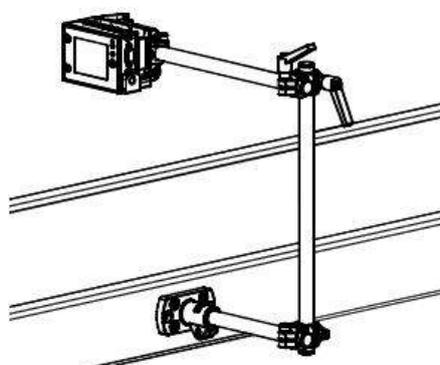
### 2.1. 設置の前に

U2 を設置するにあたり、プリンタの損傷等を防ぐために、以下に記述されたことを必ずご一読のうえ、お守りください。

**※ご注意**：ユーザマニュアルの記述に従わず、そのためプリンタに何らかの損傷が発生した場合、**保証は無効となります**のでご注意ください。

### 2.2. U2 設置例

コンベアライン上に、下図のように設置されることになります。



### 2.3. 標準の設置手順

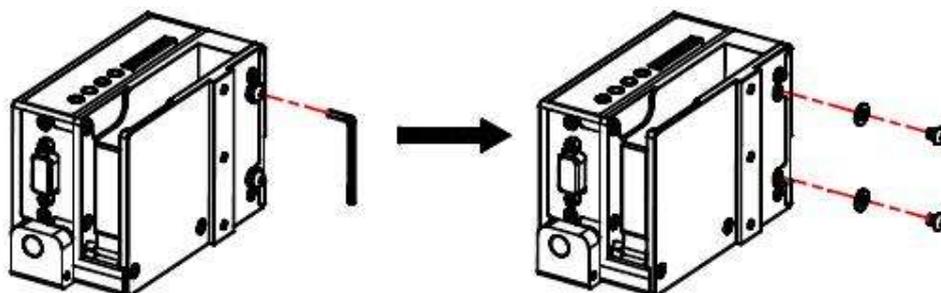
U2 の設置については、以下の手順で行ってください。

#### 2.3.1. ガイドの取り付け

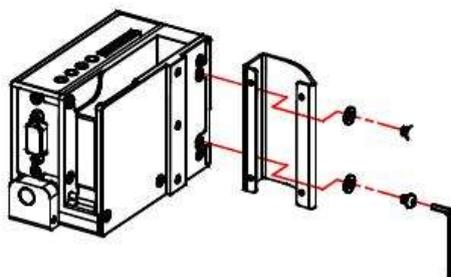
ガイドの取り付け手順です。

**※ご注意**…下図は、コントローラ側から見て、ワークが右から左へ流れる場合のものです。流れ方向が反対の場合は、ガイドの取り付けも反対側に行ってください。

① **ネジの取り外し**…図の位置にある M4×L5 のネジと、M4 のワッシャを取り外してください。



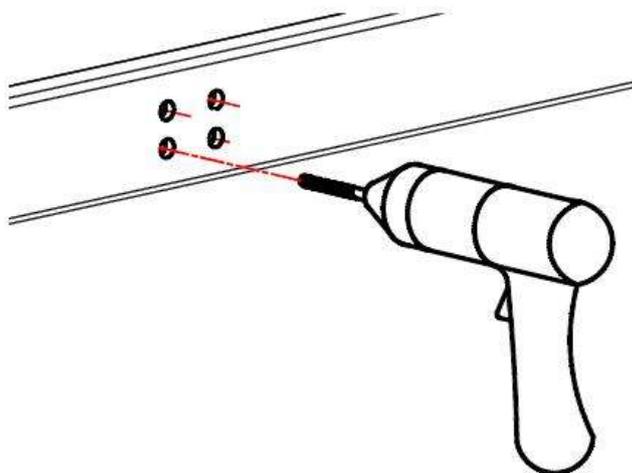
- ② **ガイドの取り付け**…取り外したネジとワッシャを使用し、付属のガイドを取り付けてください。



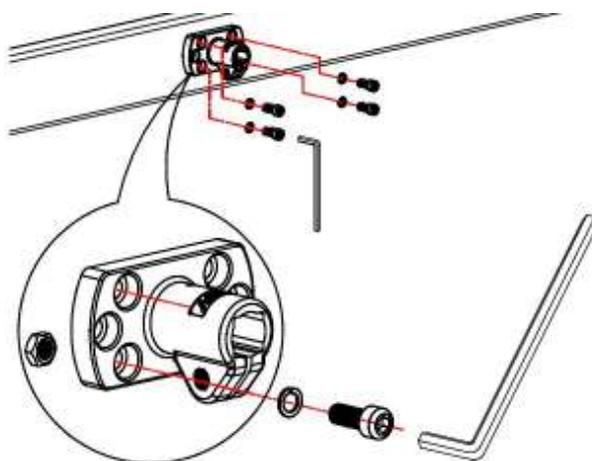
### 2.3.2. ブラケットの設置

通常の場合の、ブラケットの取り付け手順を説明します。

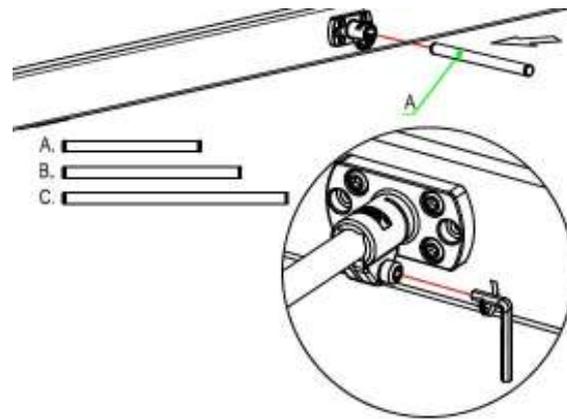
- ① **取り付け穴を開ける**…ブラケットホルダの穴を元に、取り付け箇所にドリルでM8の穴を4ヵ所開けてください。



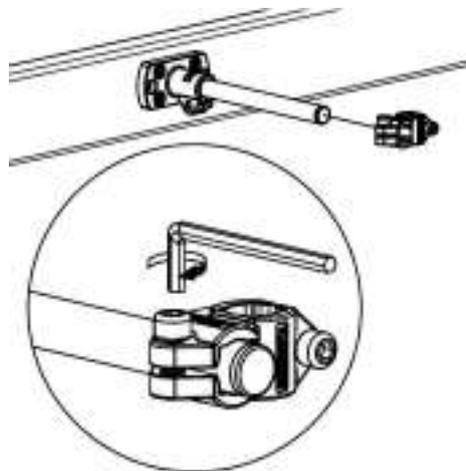
- ② **ライン固定用ブラケットホルダの固定**…M8×L20のネジ、M8のワッシャとナットを4つずつ使用して、ライン固定用ブラケットホルダを、図のように取り付け箇所に固定してください。



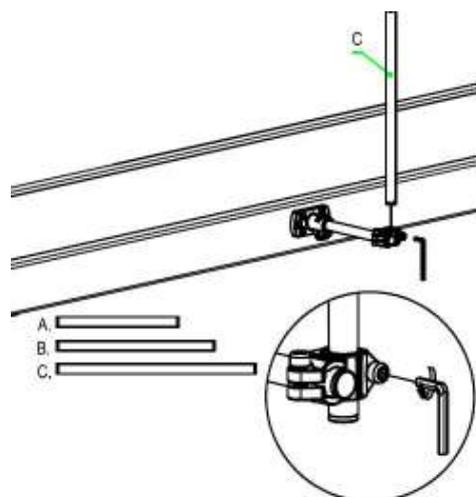
- ③ **バーの固定(1)**…ライン固定用ブラケットホルダに1番短いバーを挿して、しっかりと固定してください。



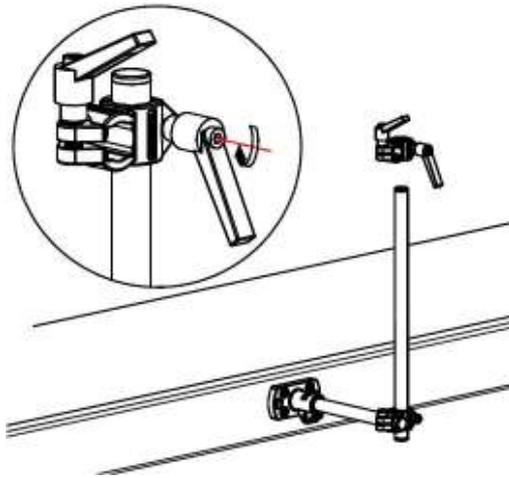
- ④ **垂直方向バー固定用ブラケットホルダの固定**…垂直方向バー固定用ブラケットホルダを手順③で取り付けたバーに図のように挿し、しっかりと固定してください。



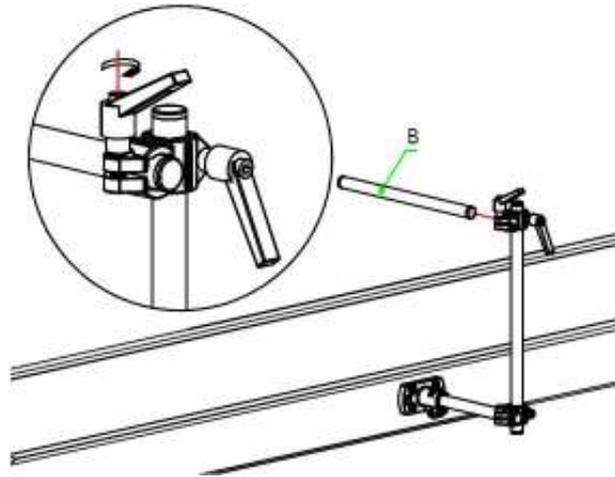
- ⑤ **バーの固定(2)**…垂直方向バー固定用ブラケットホルダに1番長いバー（垂直方向バー）を挿して、しっかりと固定してください。



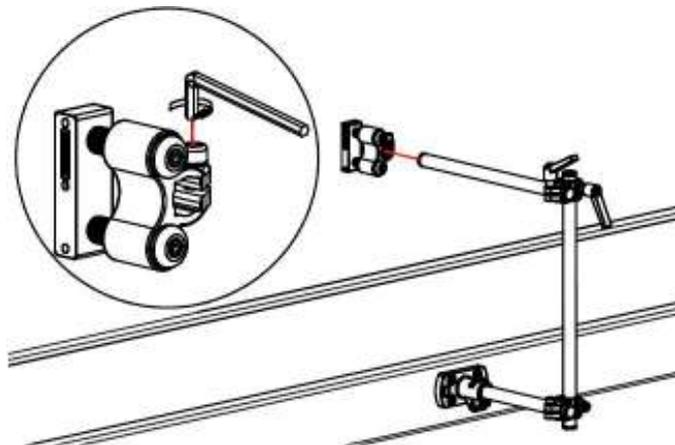
- ⑥ **プリントヘッド取り付けバー固定用ブラケットホルダの固定**…プリントヘッド取り付けバー固定用ブラケットホルダを手順⑤で取り付けたバーに図のように挿し、しっかりと固定してください。



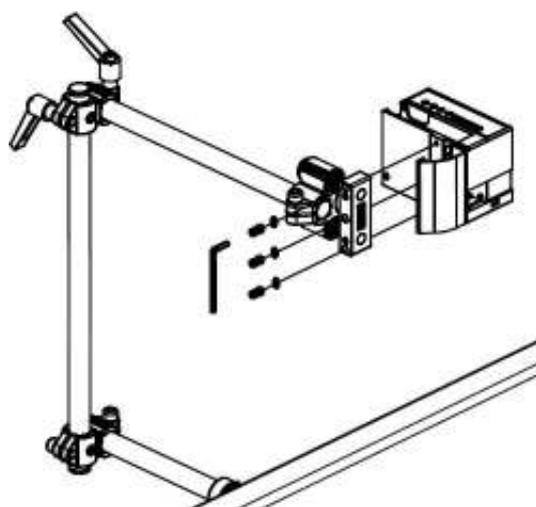
- ⑦ **バーの固定(3)**…プリントヘッド取り付けバー固定用ブラケットホルダに残ったバー（プリントヘッド取り付けバー）を挿して、しっかりと固定してください。



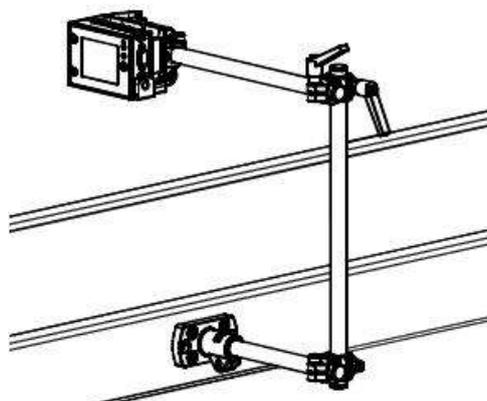
- ⑧ **アンチショックメカニズムの固定**…アンチショックメカニズムを手順⑦で取り付けしたバーに図のように挿し、しっかりと固定してください。



- ⑨ **コントローラの取り付け**…M4×L16のネジと、M4のワッシャを3つずつ使用して、コントローラを図のようにアンチショックメカニズムに取り付けてください。

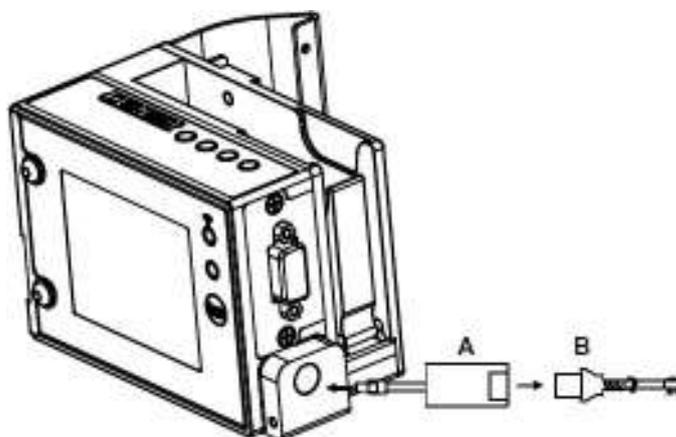


⑩ **取り付け完了**…取り付け完了状態です。

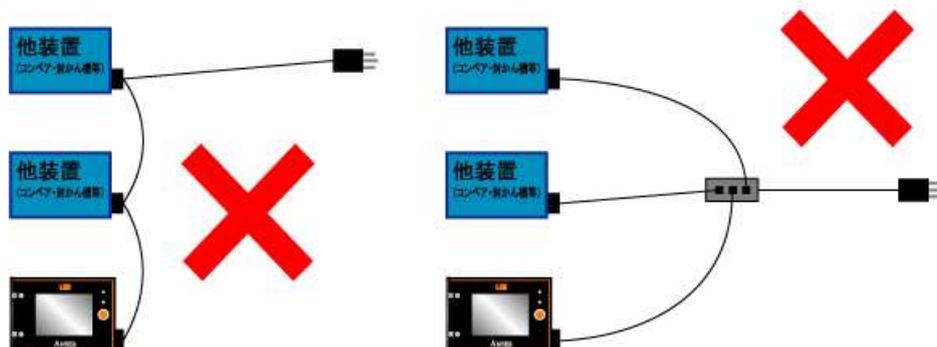


### 2.3.3. 電源ケーブルの接続

コントローラの電源ポートに ACアダプタのコード (A) を接続し、ACアダプタに電源ケーブル (B) を接続します。



**※ご注意**…電源ケーブルを接続する際は、下図のようなチェーンでの配線や、タコ足での配線を行わないようにしてください。



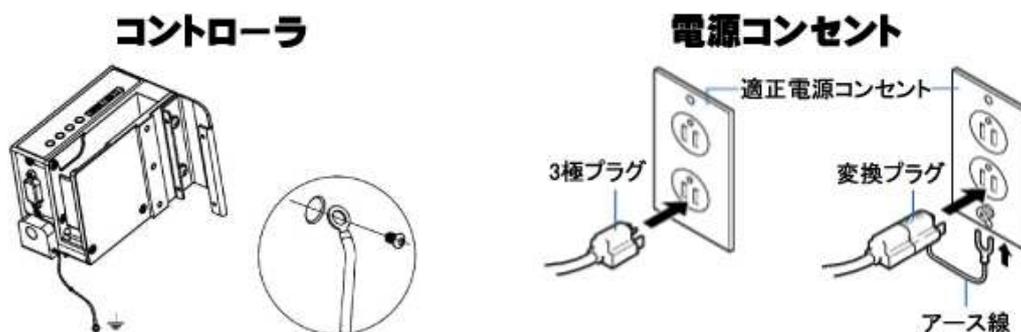
やむを得ず電源タップ等をご使用になる場合は、タップとコントローラの上に UPS（無停電電源装置）を設置することを強く推奨します。

## 2.3.4. アースの接地

U2 は精密機器であるため、アースを**必ず**接地する必要があります。（D 種接地）アースは、コントローラと電源コンセントの 2 カ所で行う必要があります。

コントローラ側は、図の位置にある M3×6 のネジを外し、付属のアース線の小さい圧着端子側を、外したネジで留めます。大きい圧着端子側をアースポイントに接地してください。

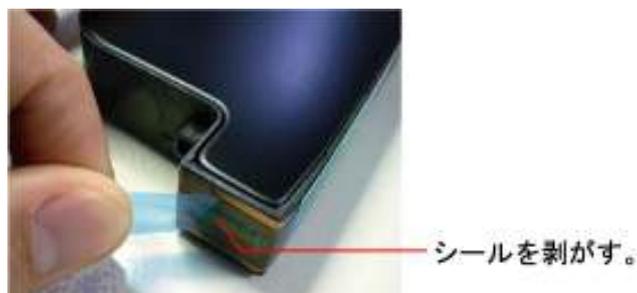
電源プラグ側は、アースのある電源コンセントに接続してください。

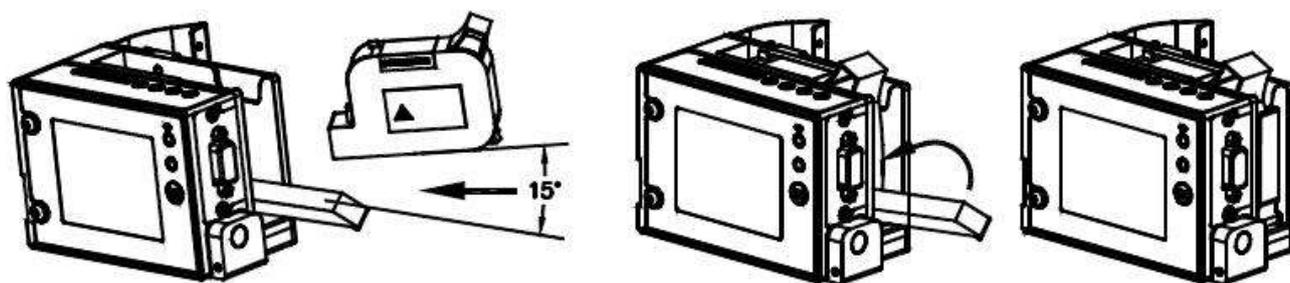


**※ご注意**…アースを接地していない場合、故障や印刷不良が発生する可能性が高くなります。

## 2.3.5. インクカートリッジ (ペン) の挿入

インクカートリッジの保護用シールを剥がし、インクカートリッジホルダにインクカートリッジを挿入します。この時、15° の角度で挿入してください。挿入後は、カートリッジストップを上げて、インクカートリッジを固定してください。





## 2.3.6. リモコンキーパッドの準備

リモコンキーパッドにはコイン型リチウム電池が用いられています。開梱時には電池ホルダに保護フィルムが挟まれていますので、抜いてからご使用ください。



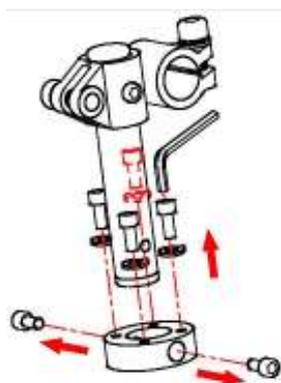
## 2.4. 370cc バルクインク

370cc バルクインク使用時は、側面印刷と天面印刷で設置手順が異なります。

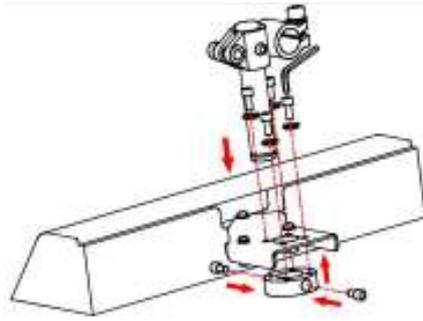
### 2.4.1. 側面印刷の場合

標準の設置手順を行った後、以下の手順で取り付けを行ってください。

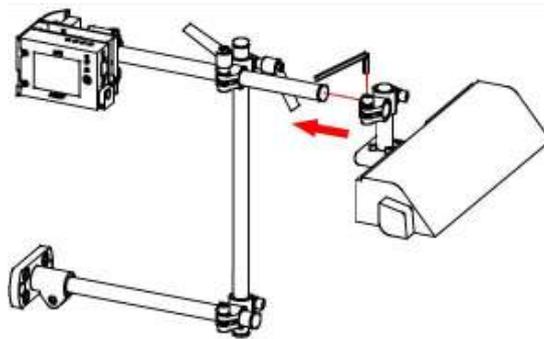
- ① **ブラケットの分解**…バルクインクシステムセットに付属しているブラケットを、M5×L16 キャップネジ、M5 ワッシャそれぞれ4つと、M5×L10 キャップネジ2本を図のように外し、分解します。



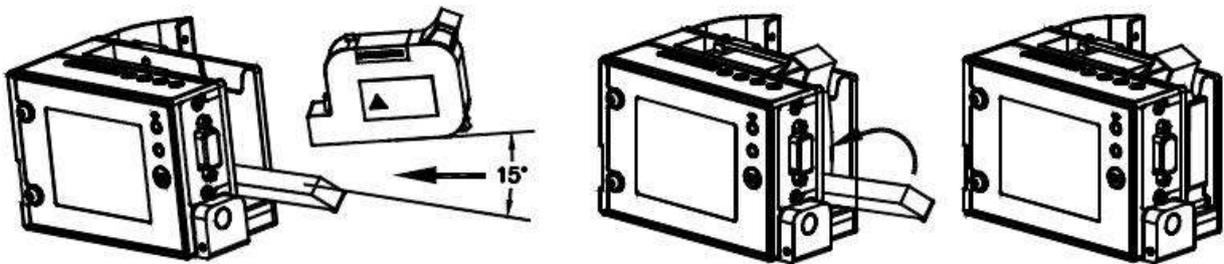
- ② **ホルダへのブラケット取り付け**…分解したブラケットを図のようにインクホルダへ取り付けます。



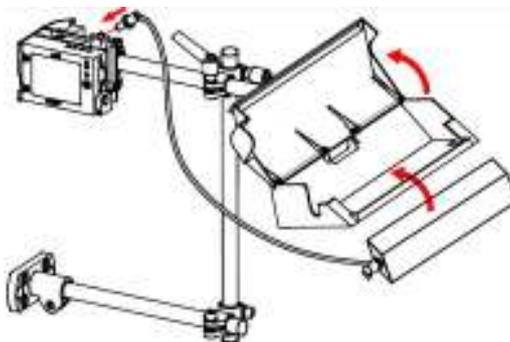
- ③ **ホルダの取り付け**…組み立てたインクホルダを、図のようにプリントヘッド取り付けバーに挿し込み、クランプを締めます。



- ④ **ペンの挿入**…インクカートリッジホルダにペンを挿入します。この時、15° の角度で挿入してください。挿入後は、カートリッジストップを上げて、ペンを固定してください。



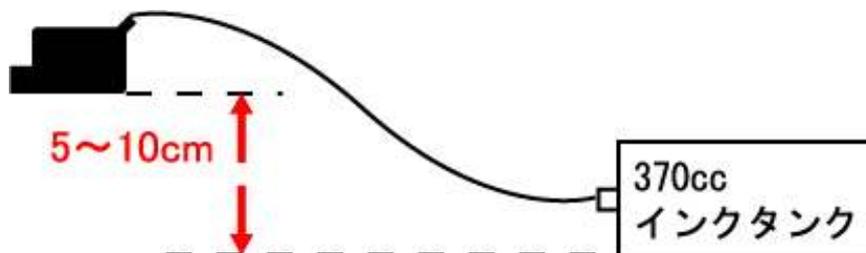
- ⑤ **バルクインクの取り付け**…図のようにインクホルダにインクタンクを載せ、ふたを閉めます。インクタンクから出ているインクチューブをペンに、カチッと音がするまでしっかりと挿入してください。



## U2 ユーザマニュアル

以上の手順完了後、[2.3.3章](#)（電源ケーブルの接続）、[2.3.4章](#)（アースの接地）、[2.3.6章](#)（リモコンキーパッドの準備）を行ってください。

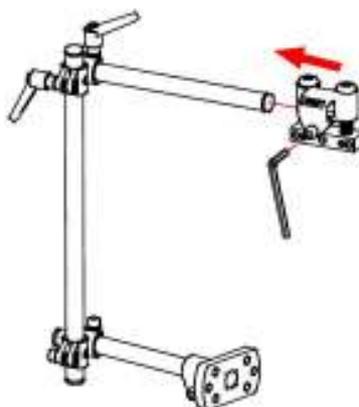
**※ご注意**…バルクインク設置に際して、インクタンク底部とカートリッジ底部の高さ位置を5～10cmの範囲に収めてください。



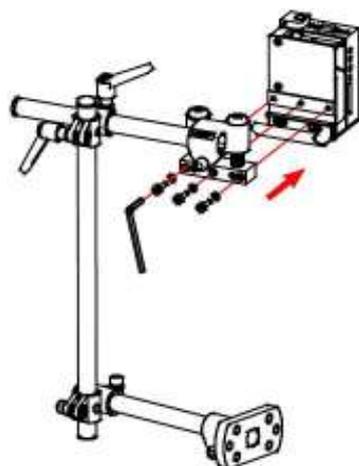
### 2.4.2. 天面印刷の場合

標準の設置手順の[手順⑦](#)まで行った後、以下の手順で取り付けを行ってください。

- ① **アンチショックメカニズムの固定**…天面印刷用バルクインクシステムセットに付属しているアンチショックメカニズムをプリントヘッド取り付けバーに図のように挿し、しっかりと固定してください。

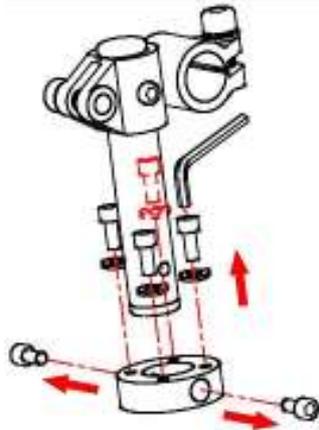


- ② **コントローラの取り付け**…M4×L16のネジと、M4のワッシャを3つずつ使用して、コントローラを図のようにアンチショックメカニズムに取り付けてください。

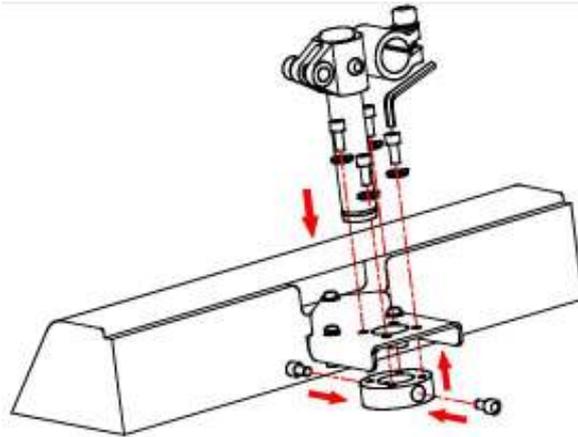


## U2 ユーザマニュアル

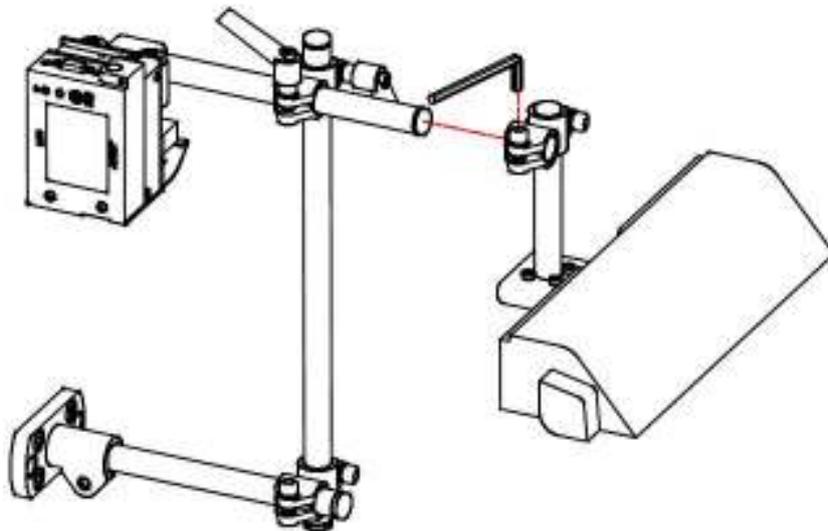
- ③ **ブラケットの分解**…天面印刷用バルクインクシステムセットに付属しているブラケットを、M5×L16 キャップネジ、M5 ワッシャそれぞれ4つと、M5×L10 キャップネジ2本を図のように外し、分解します。



- ④ **ホルダへのブラケット取り付け**…分解したブラケットを図のようにインクホルダへ取り付けます。

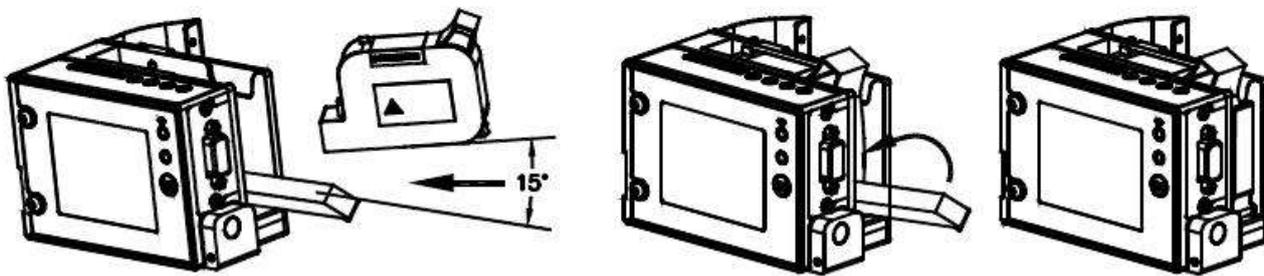


- ⑤ **ホルダの取り付け**…組み立てたインクホルダを、図のようにプリントヘッド取り付けバーに挿し込み、クランプを締めます。

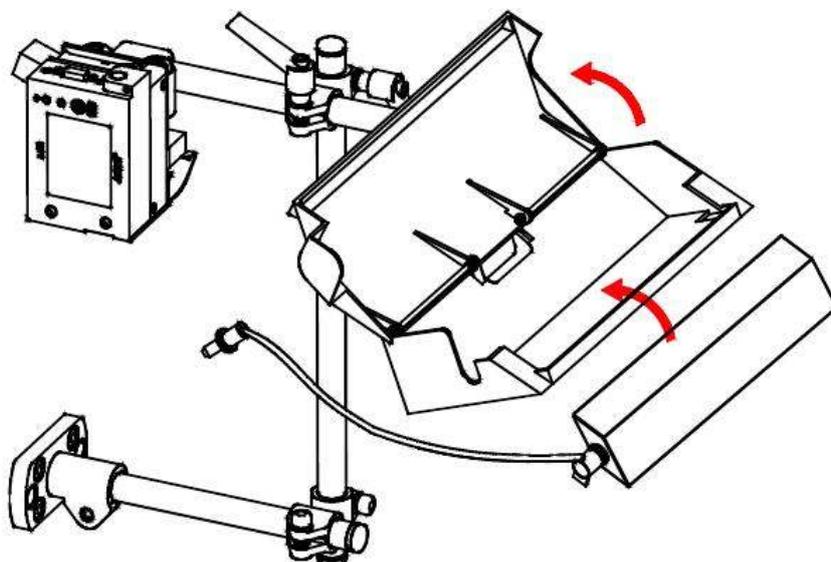


## U2 ユーザマニュアル

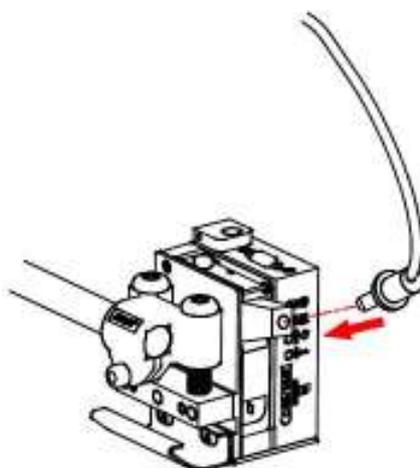
- ⑥ **ペンの挿入**…インクカートリッジホルダにペンを挿入します。この時、15° の角度で挿入してください。挿入後は、カートリッジストップを上げて、ペンを固定してください。



- ⑦ **バルクインクの取り付け**…図のようにインクホルダにインクタンクを載せ、ふたを閉めます。



- ⑧ **インクチューブの取り付け**…インクタンクから出ているインクチューブをペンに、カチッと音がするまでしっかりと挿入してください。

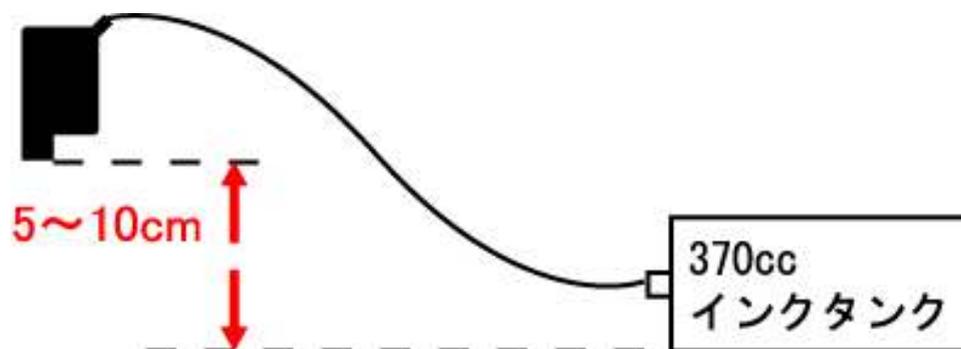


以上の手順完了後、[2.3.3章](#)（電源ケーブルの接続）、[2.3.4章](#)（アースの接地）、[2.3.6章](#)（リモコンキーパッドの準備）を行ってください。

## U2 ユーザマニュアル

---

**※ご注意**…バルクインク設置に際して、インクタンク底部とカートリッジのノズル部の高さ位置を 5～10cm の範囲に収めてください。



## 3. 印刷について

U2 での印刷に関する各情報です。

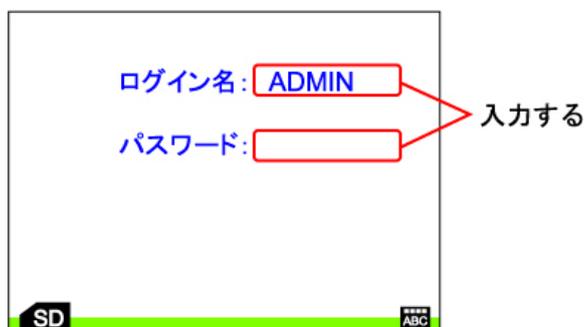
### 3.1. 基本操作 (通常タイプ)

電源を入れてから印刷を行い、電源を落とすまでの基本手順は以下の通りです。電源オン・オフの操作以外は、リモコンキーパッドを使用してください。

- ① **電源投入**…電源ボタンを押して電源を入れます。



- ② **ログイン**…ログインを使用する設定にしている場合、ログイン画面が表示されます。**ログイン名とパスワード**を入力してください。入力が確定したら**エンターキー**  を押下してください。ログイン機能を使用していない場合は、手順③へ進んでください。



- ③ **印刷データの選択**…印刷するデータを選択します。**上下左右矢印キー**を使用して印刷したいメッセージ番号にカーソルを移動してください。



## U2 ユーザマニュアル

- ④ **印刷の開始**…印刷オンキー **Print On** を押下すると印刷できる状態になります。



- ⑤ **印刷中**…印刷中の画面表示は、下図（左：印刷情報モード、右：印刷プレビューモード）のようになり、コントローラ上部の Print LED が緑色に点灯します。

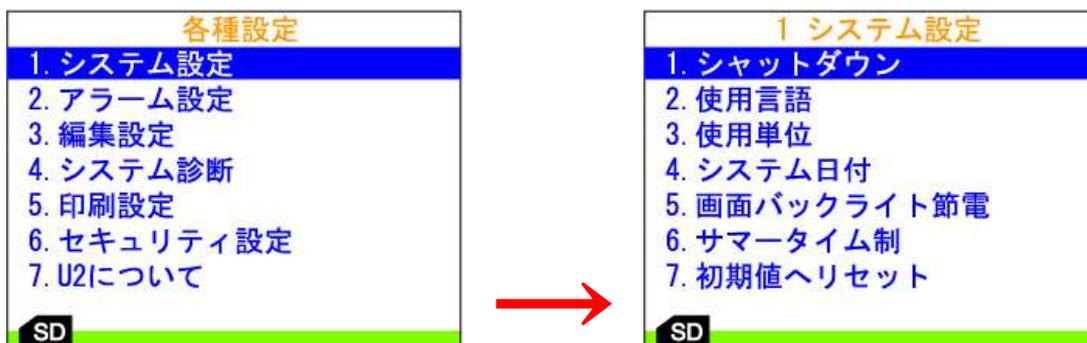


- ⑥ **印刷の終了**…印刷が終了したら、印刷オフキー **Print Off** を押下してください。



- ⑦ **別メッセージの印刷**…別のメッセージを印刷したい場合は、手順③～⑥を繰り返してください。

- ⑧ **シャットダウン**…全ての印刷作業が終了したら、シャットダウンを行います。ファンクションキー **Function** を押下して各種設定画面を表示させたら、システム設定にカーソルを合わせ、エンターキー **ENTER** を押下してください。シャットダウンにカーソルを合わせ、エンターキー **ENTER** を押下すると確認画面が表示されますので、右矢印キー **+ YES** を押下してください。



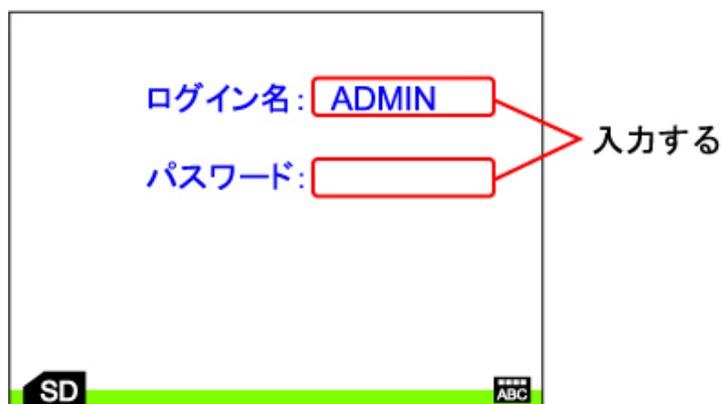
## 3.2. 基本操作 (モバイルタイプ)

電源を入れてから印刷を行い、電源を落とすまでの基本手順は以下の通りです。電源オン・オフの操作、印刷開始のトリガ以外は、リモコンキーパッドを使用してください。

- ① **電源投入**…主電源スイッチを押して電源を入れます。主電源スイッチがオンになっていて起動していない場合は、電源ボタンを押して電源を入れます。



- ② **ログイン**…ログインを使用する設定にしている場合、ログイン画面が表示されます。**ログイン名**と**パスワード**を入力してください。入力が確定したら**エンターキー**  を押下してください。ログイン機能を使用していない場合は、手順③へ進んでください。



## U2 ユーザマニュアル

- ③ **印刷データの選択**…印刷するデータを選択します。上下左右矢印キーを使用して印刷したいメッセージ番号にカーソルを移動してください。



- ④ **印刷の開始**…印刷オンキー **Print On** を押下すると印刷できる状態になります。



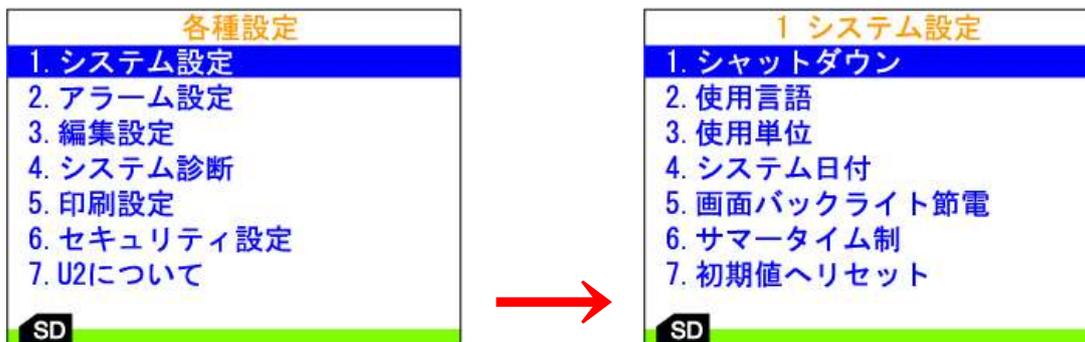
- ⑤ **印刷中**…印刷中の画面表示は、下図（左：印刷情報モード、右：印刷プレビューモード）のようになり、コントローラ上部の Print LED が緑色に点灯します。印刷トリガボタンを押した後、ワーク上で U2 モバイルを移動させると、内容が印刷されます。この時、ローラがワークと接触し、回転するようにしてください。



- ⑥ **印刷の終了**…印刷が終了したら、印刷オフキー **Print Off** を押下してください。



- ⑦ **シャットダウン**…全ての印刷作業が終了したら、シャットダウンを行います。ファンクションキー  を押下して **各種設定画面** を表示させたら、**システム設定** にカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下してください。 **シャットダウン** にカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下すると **確認画面** が表示されますので、**右矢印キー**  を押下してください。



- ⑧ **主電源を切る**…シャットダウンが完了し、画面が暗くなりましたら、主電源スイッチをオフにしてください。

### 3.3. メッセージについて

メッセージ（印刷内容）について説明をします。

#### 3.3.1. メッセージ作成の概要

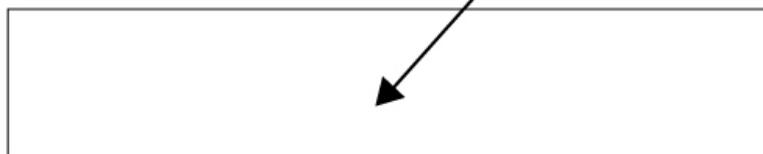
メッセージ（印刷する画）の作り方の概念を説明します。U2 では画を構成する要素が複数あり、それらをオブジェクトと呼びます。U2 コントローラの LCD ディスプレイに表示される編集画面に各オブジェクトを貼り付ける形で印刷する画像を作成していきます。

##### 3.3.1.1. 文字高さで行数について

まず初めに、文字の高さで行数について説明します。文字のフォントは変えられませんが、高さは6段階に変えられます。また、その高さによって1~4行の印刷まで可能です。画面の上部に表示されるキャンバスを何行に分割するかによって、その行に合った文字高さのオブジェクトを配置していくこととなります。分割に関する設定を **ラインモード** と呼び、文字高さの設定とともにオブジェクトの配置されていないメッセージで行うことが可能です。すでにオブジェクトの配置されている既存メッセージでは、ラインモードや文字高さの変更はできません。

設定手順の詳細については、[3.3.2 章](#)をご覧ください。

キャンバスを何分割にするか (1~4段階)



ラインモード 1

賞味期限 13.

ラインモード 2

賞味期限 13.08.25  
製造年月日 13.07.26

ラインモード 3

2013.07.26  
2013.08.25  
LOT NO. 001235

ラインモード 4

2013.07.26  
2013.08.25  
LOT NO. 001235  
TECHNOMARK

### 3.3.1.2. オブジェクトの種類について

行数、および文字高さを設定し終わったら、オブジェクトを配置していきますが、オブジェクトには種類があります。こちらでは、通常よく使用される「テキスト」、「ロゴ」、「日付・時刻」、「カウンタ」について説明します。

**テキスト**・・・テキストとは、U2 本体（コントローラ）から作成できる文字列のことです。実際には、コントローラは、1 書体の文字ファイルをもっており、この文字ファイルから複数個の文字を選び、その文字の組み合わせで、テキストオブジェクトを作成できます。例としては「LOT.」とロットカウンタの前に置くことや、シングルカウンタやボックスカウンタの前に「NO.」と置くこと、「LINE1」、「LINE2」など、どここの製造ラインで作られたのか、などを特定することに使うことがあります。コントローラ上で作成可能です。実際には英数字、記号が使えます（大文字だけとなります）。

**ロゴ**・・・ロゴとは、会社のロゴマークやブランドマークなどの図形を表すオブジェクトです。コントローラ上ではこのような複雑な絵の作成はできません。そこで PC 上の画像作成ソフト（ペイント等）で画像（ビットマップ）を作成し、付属のソフトウェア MessagePRO を使い、SD カードを介してコントローラに渡すことにより印字できます。また漢字や、色々な書体の文字列もコントローラ上では作成できないため、これらの文字列も PC 上で作成し、ロゴとしてコントローラに渡すことで、印字が可能になります。これらの文字列の内、使用頻度が高い“賞味期限”、“製造年月日”などは標準として SD カードに登録されているものがありますので、これを利用することもできます。詳細は [3.4.2.6 章](#)を参照してください。



**日付・時刻**・・・コントローラはシステムカレンダー機能を持っており、刻々と変わる時刻や日付の更新情報を反映したオブジェクトを作成できます。日付・時刻とは、当日の日付を表すものです。主に「製造年月日」などと組み合わせて使用されます。自動日付設定をすると、自動で更新して印刷できます。毎日日付を設定し直す必要がありませんので便利です。

**製造年月日**

2013.08.25

上図にその応用例を示します。図で左側のボックスは、前記したロゴでの固定情報です。右側が日付・時刻機能を使ったオブジェクトで2013年8月25日を意味します。このオブジェクトの数字は、システムカレンダーの情報により自動的に更新されます。2つのオブジェクトの組み合わせで自動更新される製造年月日の表現ができます。

**賞味期限**

2013.09.05

また、例えば上図のように、今日より10日先の未来日付の設定も可能です。同じく左側のボックスのように、ロゴと組み合わせて使用すると、賞味期限などの標記が可能です。もちろん日付は設定された10日先の日付で自動更新されます。また、現在の日にちに何日加算するかの設定も可能です。この日付・時刻オブジェクトは、いくつかの書式を選択でき、例えば2023/3/4といった表現も可能です。詳細は3.4.2.2章、3.4.2.3章を参照してください。

**カウンタ**・・・コントローラには、印字毎に数値を増やしたり、減らしたりするカウンタ機能があります。このカウンタ機能を使って、印字毎に数値が自動的に更新される可変のオブジェクトを作成することができます。下図はシングルカウンタの例であり、1回の印字毎に1カウント数値が上昇します。この例は、ロゴとシングルカウンタを組み合わせて作成したものです。

**製造番号**

001235

### 3.3.1.3. オブジェクトの配置について

それぞれのオブジェクトをメッセージ編集画面で配置します。先に設定したライン数に応じて、配置できる行数や文字高さが決まります。配置方法詳細は、[3.4.1 章](#)をご覧ください。下図は各種オブジェクトの配置例です。



### 3.3.1.4. 作成したメッセージと実際の印刷

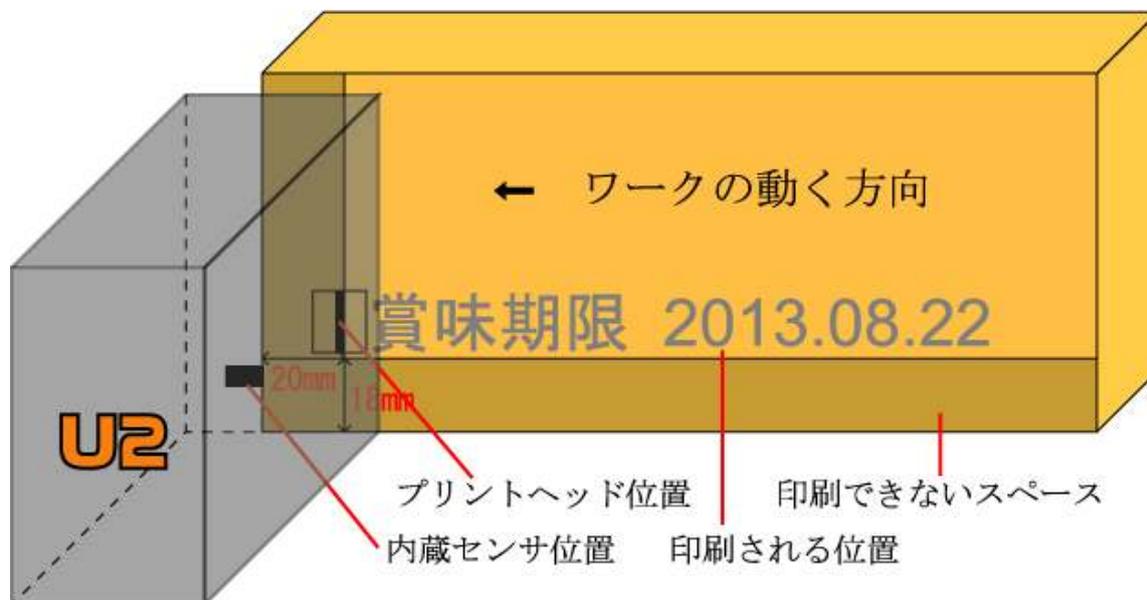
下図に、作成したメッセージが実際の印字対象物のどの位置に印刷されるかを示します。例として、段ボール箱の側面に印刷する場合です。

ダンボール側面の左から 20mm、下面から 18mm の所に印刷エリアの原点があります。原点から右上方向にメッセージを印刷することが可能です。実際の印字位置を決定するには、縦位置はプリントヘッド（コントロール）の高さを移動し変更、横位置は印字開始位置（TAB 設定）の値を変更することで、様々な位置に印字をすることが可能です。



## 3.3.1.5. 印字できないスペースについて

下図のように、印字対象物最下部から高さ約 18mm の部分には印刷できません。これは、コントローラに対するプリントヘッドの位置を起因とするものです。また、内蔵センサ使用、かつ印字対象物が右から左へ移動する場合、左端から約 20mm の部分には印刷できません。これは、内蔵センサとプリントヘッドの位置関係を起因とするものです。



## 3.3.2. メッセージの新規作成

実際に印刷するための内容の作成方法です。アルファベット、数字の他、画像や日付、カウンタ等も印刷できます。以下の手順で作成してください。

なお、メッセージ番号 001 には予めテストパターンが登録されています。これは編集できません。また、メッセージブラウザモード画面に表示されているメッセージ番号の横にアスタリスク (\*) が表示されているものは、すでにメッセージの内容が登録されているものです。

- ① **編集画面の表示**…メッセージブラウザモード画面の時、ツールキー  を押下し、ツール画面を表示させ、カーソルを新規メッセージ作成に合わせて、エンターキー  を押下するか、または、矢印キーを使用してアスタリスク (\*) の付いていないメッセージ番号 (空き番号) にカーソルを合わせ、エンターキー  を押下してメッセージ編集画面を呼び出します。
- ② **ラインモードの選択**…F1 キー  を押下し、行数設定画面を表示させ、ラインモードにカーソルを合わせます。左右矢印キー   を押下すると、ラインモードが 1、2、3、4 と切り替わります。使用したいラインモード (行数) を選択してください。
- ③ **フォント高さの選択**…上下矢印キー   を使用して、フォント高さにカーソルを合わせます。左右矢印キー   を押下すると、フォント高さが切り替わります。使用したいフォント高さを選択し、エスケープキー  と押下して、メッセージ編集画面に戻ってください。
- ④ **オブジェクトの配置**…必要なオブジェクトを配置していきます。オブジェクトの詳細については 3.4 章をご覧ください。

- ⑤ **作成の終了**…作成が終了しましたら、**ESC キー**  を押下します。保存確認メッセージが表示されますので、編集内容を保存する場合は、**保存して終了**を、保存しない場合は**保存しないで終了**にカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下してください。すると**メッセージブラウザモード画面**に戻ります。

### 3.3.3. メッセージの編集

既存メッセージを編集する方法です。以下の手順で編集してください。

- ① **メッセージの選択**…メッセージブラウザモード画面の時、**矢印キー**を使用して編集したいメッセージ番号にカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下してください。
- ② **内容の編集**…空いている場所にメッセージを追加するか、矢印キーを使用して編集を行いたいオブジェクトにカーソルを合わせ、編集、または削除してください。オブジェクトの詳細については [3.4 章](#) をご覧ください。
- ③ **編集の終了**…作成が終了しましたら、**ESC キー**  を押下します。保存確認メッセージが表示されますので、編集内容を保存する場合は、**保存して終了**を、保存しない場合は**保存しないで終了**にカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下してください。すると**メッセージブラウザモード画面**に戻ります。

### 3.3.4. メッセージのコピー

すでに作成されているメッセージを元に、新規のメッセージを作成したい場合等、メッセージのコピーを行う方法です。以下の手順でコピーしてください。

- ① **コピー元ファイルの選択**…メッセージブラウザモード画面の時、**矢印キー**を使用してコピー元にしたメッセージ番号へカーソルを移動します。
- ② **コピー画面の表示**…**ツールキー**  を押下して**ツール画面**を表示させ、カーソルを**メッセージコピー**に合わせ、**エンターキー**  を押下し、**メッセージコピー画面**を呼び出します。
- ③ **コピー先メッセージ番号の入力**…コピー先のメッセージ番号を入力する項目が表示されますので、**数字キー**を使用してメッセージ番号を入力し、**エンターキー**  を押下してください。自動的に**メッセージブラウザモード画面**に戻ります。

### 3.3.5. メッセージの削除

メッセージの内容を削除する方法です。以下の手順で削除してください。

- ① **削除ファイルの選択**…メッセージブラウザモード画面の時、**矢印キー**を使用して削除したいメッセージ番号へカーソルを移動します。
- ② **ファイルの削除**…**デリートキー**  を押下しますと確認画面が表示されますので、削除する場合は、**右矢印キー**  を押下してください。自動的に**メッセージブラウザモード画面**に戻ります。

### 3.4. オブジェクトについて

印刷のために、メッセージ編集領域に配置されるテキストやバーコード、画像のことを総称して**オブジェクト**と呼びます。U2では、様々なオブジェクトを自由に貼り付けることにより、好みのデザインの印刷が可能です。これらのオブジェクトは、**オブジェメニュー**よりメッセージ編集領域に貼り付き、賞味期限やバーコード、画像など印刷することが可能です。3.3.1章の手順①を行うことで**メッセージ編集画面**を呼び出し、オブジェクトを配置、編集していきます。

#### 3.4.1. オブジェクトの編集方法

オブジェクトの編集方法について、説明します。

##### 3.4.1.1. オブジェクトの追加

編集領域へ新規にオブジェクトを追加する方法です。以下の手順で操作してください。

- ① **カーソルの移動**…メッセージ編集画面で**矢印キー**を使用して、オブジェクトを配置したい場所へカーソルを移動します。
- ② **オブジェクトの配置**…テキストを配置したい場合は、直接**文字入力キー**（**0**～**9**、**.**、**□**）を使用して文字を入力してください。入力できる文字は、アルファベット大文字、数字、記号です。その他のオブジェクトを配置したい場合は、オブジェクトの種類に合わせてファンクションキーを押下します。ファンクションキーとオブジェクトの関係は、以下の通りです。

<b>F2</b>	日付・時刻オブジェクト
<b>F3</b>	未来日付オブジェクト
<b>F4</b>	カウンタオブジェクト
<b>F5</b>	シフトコードオブジェクト
<b>F6</b>	ロゴオブジェクト
<b>F7</b>	バーコードオブジェクト
<b>F8</b>	文字列オブジェクト

- ③ **オブジェクト内容の入力**…オブジェクトの詳細内容を設定する項目が画面下部に表示されますので、それぞれ値を選択、入力してください。なお、各オブジェクトの内容については、3.4.2章をご覧ください。
- ④ **配置の終了**…詳細内容の入力が終わりましたら、**ESC キー**  を押下して**メッセージ編集画面**に戻ってください。

##### 3.4.1.2. オブジェクトの修正

すでに配置されているテキスト以外のオブジェクトの内容を修正する方法です。以下の手順で操作してください。

- ① **カーソルの移動**…メッセージ編集画面で**矢印キー**を使用して、修正したいオブジェクトへカーソルを移動し、**エンターキー**  を押下します。
- ② **オブジェクト内容の修正**…オブジェクトの詳細内容を設定する項目が画面下部に表示されますので、それぞれ値を修正してください。
- ③ **修正の終了**…詳細内容の入力が終わりましたら、**ESC キー**  を押下して**メッセージ編集画面**に戻ってください。

### 3.4.1.3. オブジェクトの削除

すでに配置されているオブジェクトを削除する方法です。以下の手順で操作してください。

- ① **カーソルの移動**…メッセージ編集画面で**矢印キー**を使用して、削除したいオブジェクトへカーソルを移動し、**デリートキー**  を押下します。
- ② **削除の確認**…確認画面が表示されますので、削除する場合は、**右矢印キー**  を押下してください。
- ③ **削除の終了**…削除後は自動的に**メッセージ編集画面**に戻ります。

### 3.4.2. オブジェクトの種類

メッセージに配置できるオブジェクトは、**テキスト**、**日付・時刻**、**未来日付**、**カウンタ**、**シフトコード**、**ロゴ**、**バーコード**、**文字列**の8種類です。各オブジェクトは書式等の詳細内容が設定できます。以下にオブジェクトの詳細内容を説明します。

#### 3.4.2.1. テキスト

内容の変わらないテキストを印刷できます。直接**文字入力キー** ( ~ 、、) を使用して文字を入力します。文字と数字を切り替える場合は、**文字切り替えキー** 、削除する場合は、**デリートキー** 、**バックスペースキー**  を使用します。アルファベットは大文字しか入力できません。詳細設定はありません。

#### 3.4.2.2. 日付・時刻

システム日付や時刻を印刷できます。**F2 キー**  を押下します。押下後、**日付・時刻作成**にカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下して配置します。詳細設定については下記の通りです。

##### 日付・時刻詳細設定

**書式**： 日付・時刻の書式を選択します。**左右矢印キー**   を押下すると、書式が切り替わります。使用したい書式を選択してください。使用したい書式がない場合は、[5.4章](#)→[5.4.3章](#)（日付・時刻書式）をご覧ください。

#### 3.4.2.3. 未来日付

賞味期限や消費期限など、システム日付から何日後というような未来の日付を自動的に印刷できます。**F3 キー**  を押下して配置します。詳細設定については下記の通りです。

##### 未来日付詳細設定

**書式**： 未来日付の書式を選択します。**左右矢印キー**   を押下すると、書式が切り替わります。使用したい書式を選択してください。使用したい書式がない場合は、[5.4章](#)→[5.4.3章](#)（日付・時刻書式）をご覧ください。

**何日**： 何日後の日付を印刷するか、**数字キー**を使用して入力します。例えばここに”30”と入力すると、現在の日付から30日後の日付を印刷します。

## 3.4.2.4. カウンタ

印刷する度に数値が上がる（下がる）カウンタを印刷できます。F4 キー  を押下して配置します。詳細設定については下記の通りです。

### カウンタ詳細設定

- タイプ :** カウンタの種類を選択します。左右矢印キー   を押下すると、**シングルカウンタ**、**ボックスカウンタ**、**ロットカウンタ**と変わります。任意の種類を選択してください。
- 最大 :** カウンタの最大値を、**数字キー**を使用して入力します。
- 最小 :** カウンタの最小値を、**数字キー**を使用して入力します。
- 現在値 :** カウンタの現在値を、**数字キー**を使用して入力します。
- STEP :** カウンタのステップ値（1回で加算・減算される数）を、**数字キー**を使用して入力します。なお、マイナスの値を設定しますと、カウントダウンするカウンタになります。

**シングルカウンタとロット・ボックスカウンタの違い**…ロットとボックスは、共通のパラメータを持つため、それぞれのカウンタを配置した場合、連動したカウントを行います。また、ロットは、ボックスの設定に基づいてカウントを行います。具体的には、ボックスの値が最大値、または最小値に達した時、ロットのカウントが加算、または減算されます。

<b>例 1 :</b>	<b>ボックスの値</b>	<b>ロットの値</b>
	最大値 : 2	最大値 : 999
	最小値 : 1	最小値 : 1
	STEP : 1	STEP : 1
	現在値 : 1	現在値 : 1

印刷されるロットカウンタ : 001、001、002、002、003、003、004…  
印刷されるボックスカウンタ : 1、2、1、2、1、2、1…

<b>例 2 :</b>	<b>ボックスの値</b>	<b>ロットの値</b>
	最大値 : 3	最大値 : 999
	最小値 : 1	最小値 : 1
	STEP : 1	STEP : 5
	現在値 : 1	現在値 : 10

印刷されるロットカウンタ : 010、010、010、015、015、015、020…  
印刷されるボックスカウンタ : 1、2、3、1、2、3、1…

## 3.4.2.5. シフトコード

印刷する時刻によって内容が変わる、シフトコードを印刷できます。F5 キー  を押下します。押下後、**シフトコード作成**にカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下して配置します。詳細設定はありません。

## 3.4.2.6. ロゴ

会社のロゴやケアマークなど、予め作成してあるロゴを印刷できます。F6 キー  を押下します。押下後、

上下矢印キー   を使用して、配置したいロゴにカーソルを合わせ、エンターキー  を押下します。詳細設定はありません。

ロゴは、ペイント等で作成されたビットマップ形式 (\*.bmp) ファイルを、U2 添付の PC 用専用ソフトウェア MessagePRO を使用して追加登録することが可能です。詳細につきましては、MessagePRO ユーザマニュアルをご覧ください。

なお、ロゴには予めよく使用される漢字、記号が 16 パターン×4 種類 (12.7mm 用、10.0mm 用、8.0mm 用、5.5mm 用) 登録されています。以下の漢字、記号をご使用の場合は、登録の必要がありません。

- ・ 賞味期限 (通常フォント・細字フォント)
- ・ 製造年月日 (通常フォント・細字フォント)
- ・ 賞味
- ・ 製造
- ・ 年月日
- ・ 年
- ・ 月
- ・ 日
- ・ 期限
- ・ 期間
- ・ 使用
- ・ 消費
- ・ 品質保持
- ・ ‘ (アポストロフィ)

## 3.4.2.7. バーコード

バーコードを印刷できます。F7 キー  を押下して配置します。詳細設定については下記の通りです。

### バーコード詳細設定

**タイプ:** バーコードのタイプを選択します。左右矢印キー   を押下すると、UPCA、UPCE、EAN13、EAN8、INTER25、CODEBAR、CODE39、CODE128、SCC14、SSCC18、EAN128、DUN-14 と変わります。任意の種類を選択してください。

**内容:** バーコードの内容を、数字キーを使用して入力します。

**幅レベル:** バーコードの幅を設定します。左右矢印キー   を押下すると、1~10 で幅レベルが変わります。任意の幅レベルを選択してください。

**テキストモード:** バーコード下部に、内容を文字表示させるか選択します。左右矢印キー

  を押下すると、オン、オフと切り替わります。使用したい場合、オンを選択してください。

## 3.4.2.8. 文字列

文字列とは、複数の同じ番号の文字列が配置されていれば、同時に内容が変更できるテキストです。この文字列を印刷できます。F8 キー  を押下して配置します。詳細設定については下記の通りです。

### 文字列詳細設定

**文字列番号**：使用したい文字列を選択します。**左右矢印キー**   を押下すると、1～5で番号が変わります。任意の番号を選択してください。

**内容**：文字列の内容を、**アルファベットキー**、**数字キー等**を使用して入力します。入力できる文字数は20文字です。なお、内容を変更しますと、同じファイル内に同じ文字列番号で定義されている文字列の内容も、同様に変更されます。

### 4. ツール

印刷内容の編集や確認を行うことや、インク等の情報を参照することができます。**メッセージブラウザモード画面**が表示されている状態で**ツールキー**  を押下し、**ツール画面**を呼び出して各作業を行ってください。各項目の詳細は以下の通りです。各作業が終了しましたら**エスケープキー**  を押下して、**メッセージブラウザモード画面**に戻ってください。

#### 4.1. ログアウト

ログイン設定機能使用時に表示されます。一旦ログアウトしますと、ログインの画面が表示されます。再度操作を行いたい場合は、ユーザ名を指定してログインしなければなりません。以下の手順で操作してください。

- ① **ログアウトする**…**ツール画面**が表示されている状態でカーソルを**ログアウト**に合わせて、**エンターキー**  を押下します。これでログアウトした状態になります。
- ② **ログイン名の入力**…ログイン名とパスワードを入力する画面が表示されています。再び操作を行う場合は、**ログイン名**に、すでに登録してあるユーザ名を、**アルファベットキー**、**数字キー**を使用して入力してください。
- ③ **パスワードの入力**…カーソルを、**下矢印キー**  を使用して**パスワード**に移動し、設定されているパスワードを**アルファベットキー**、**数字キー**を使用して入力し、**エンターキー**  を押下してください。

#### 4.2. 印刷内容画面

現在印刷するように選択されているメッセージの内容を画面上に表示します。以下の手順で確認してください。

- ① **印刷内容画面の表示**…**ツール画面**が表示されている状態でカーソルを**印刷内容画面**に合わせて、**エンターキー**  を押下し、**印刷内容画面**を呼び出します。
- ② **範囲の移動**…上下左右矢印キー     を押下すると、表示される範囲が移動します。
- ③ **縮尺率の変更**…**エンターキー**  を押下しますと、印刷内容の縮尺率が変更できます。任意の縮尺率を選択してください。
- ④ **確認の終了**…確認が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**ツール画面**に戻ってください。

#### 4.3. ログプレビュー

U2 に登録されているロゴをプレビューすることができます。以下の手順で確認してください。

- ① **ロゴプレビュー画面の表示**…**ツール画面**が表示されている状態でカーソルを**ロゴプレビュー**に合わせて、**エンターキー**  を押下し、**ロゴプレビュー画面**を呼び出します。

- ② **ロゴの選択**…複数のロゴが登録されている場合、**下矢印キー**  を押下すると次のロゴ、**上矢印キー**  を押下すると前のロゴが表示されます。
- ③ **確認の終了**…確認が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**ツール画面**に戻ってください。

### 4.4. 新規メッセージ作成

新規のメッセージを作成します。作成方法の詳細につきましては、[3.3.1章](#)をご覧ください。

### 4.5. メッセージコピー

既存メッセージのコピーを行います。コピー方法の詳細につきましては、[3.3.3章](#)をご覧ください。

### 4.6. インク情報

使用しているインクカートリッジの情報を表示します。以下の手順で確認してください。

- ① **インク情報画面の表示**…**ツール画面**が表示されている状態でカーソルを**インク情報**に合わせて、**エンターキー**  を押下し、**インク情報画面**を呼び出します。
- ② **確認の終了**…確認が終了しましたら**エスケープキー**  を押下して、**ツール画面**に戻ってください。

### 4.7. 製品カウンタ

製品カウンタ（トータルカウンタ）の現在値と最大値の設定を行います。以下の手順で設定してください。

- ① **ツール画面**が表示されている状態でカーソルを**製品カウンタ設定**に合わせて、**エンターキー**  を押下し、**製品カウンタ画面**を呼び出します。
- ② 設定できる値は、最大値と現在値です。設定を行いたい項目にカーソルを合わせて、**数字キー**を使用して、値を入力してください。
- ③ **設定の終了**…設定が終了しましたら**エスケープキー**  を押下して、**ツール画面**に戻ってください。

## 5. 各種設定

各種設定キー  を押下すると各種設定画面が表示され、印刷や画面表示等、U2に関する各種設定の参照や変更が行えます。設定を行いたい項目にカーソルを合わせ、エンターキー  を押下してください。各項目の詳細は、以下をご覧ください。

また、印刷開始位置キー  を押下すると印刷開始位置画面が表示され、印刷開始位置の変更が行えます。

### 5.1. 印刷開始位置

印刷を開始する前に、印刷開始位置の設定を行う必要があります。なお、工場出荷時の値は0mmになっています。

- ① **ファイルの選択**…メッセージブラウザモード画面の時、矢印キーを使用して印刷開始位置設定を行いたいメッセージ番号へカーソルを移動します。
- ② **印刷開始位置の入力**…印刷開始位置キー  を押下すると印刷開始位置画面が表示されます。数字キーを使用し、印刷開始位置を入力してください。なお、範囲は0～2500mmです。
- ③ **値の確定**…入力後、エスケープキー  と押下すると設定が保存され、メッセージブラウザモード画面に戻ります。
- ④ **印刷開始位置の確認**…テスト用のワークを流し、印刷位置を確認してください。

### 5.2. システム設定

U2を使用するにあたっての基本的な設定を行います。以下の手順で設定してください。

- ① **システム設定画面の表示**…各種設定キー  を押下し各種設定画面が表示させ、カーソルをシステム設定に合わせて、エンターキー  を押下し、システム設定画面を呼び出します。
- ② **各設定の選択**…カーソルを次にあげる各設定に合わせて、エンターキー  を押下して、設定を行ってください。各設定の詳細は以下の通りです。
- ③ **設定の終了**…各設定が終了しましたら、エスケープキー  を押下して、各種設定画面に戻ってください。

#### 5.2.1. シャットダウン

U2の電源を落とす際、このシャットダウンを行います。システム設定画面が表示されている状態でこちらにカーソルを合わせ、エンターキー  を押下すると確認画面が表示されますので、シャットダウンする場合は、右矢印キー  を押下してください。

### 5.2.2. 使用言語

U2 の画面表示に使用する言語を選択します。以下の手順で選択してください。

- ① **使用言語の選択**…使用言語画面で、左右矢印キー   を押下すると、使用言語が **ENGLISH**（英語）、**JAPANESE**（日本語）と切り替わります。表示させたい言語を選択してください。なお、通常は **JAPANESE** を選択してください。
- ② **設定の終了**…設定が終了しましたら、エスケープキー  を押下して、**システム設定画面**に戻ってください。

### 5.2.3. 使用単位

U2 で使用する長さの単位を選択します。以下の手順で選択してください。

- ① **使用単位の選択**…使用単位画面で、左右矢印キー   を押下すると、使用単位が **インチ**、**ミリメートル**と切り替わります。使用したい単位を選択してください。なお、通常は **ミリメートル** を選択してください。
- ② **設定の終了**…設定が終了しましたら、エスケープキー  を押下して、**システム設定画面**に戻ってください。

### 5.2.4. システム日付

U2 に内蔵されているカレンダー、時計の調整を行います。以下の手順で設定してください。

- ① **日付・時刻の入力**…**システム日付画面**で、左から年、月、日、時、分、秒を現在の日付、時刻に合わせて **数字キー** を使用し、入力していきます。
- ② **設定の終了**…設定が終了しましたら、エスケープキー  を押下して、**システム設定画面**に戻ってください。なお、**エスケープキー** を押した時点から時計がスタートします。

### 5.2.5. 画面バックライト節電

操作していない時に画面のバックライトをオフにする機能です。操作を止めてから何分後にライトをオフにするか設定します。以下の手順で設定してください。

- ① **状態の選択**…画面バックライト節電画面で、**状態** にカーソルを合わせ、左右矢印キー   を押下すると、状態が **オフ**、**オン** と切り替わります。使用したい場合、**オン** を選択してください。
- ② **消灯時間の入力**…**状態** を **オン** にした場合、その下に消灯までの時間を 項目が表示されます。**上下矢印キー**   でそれぞれにカーソルを合わせ、消灯までの時間を、**数字キー** を使用して入力します。入力できる値は 1~60 です。
- ③ **設定の終了**…設定が終了しましたら、エスケープキー  を押下して、**システム設定画面**に戻ってください。

### 5.2.6. サマータイム制

サマータイム制を導入している地域で使用する場合は、サマータイム期間になると自動的にシステム時刻を変更する機能です。以下の手順で設定してください。

- ① **状態の選択**…サマータイム制画面で、**状態**にカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、状態が**オフ**、**オン**と切り替わります。状態を選択してください。なお、日本国内で使用する場合は**オフ**を選択してください。
- ② **地域の選択**…状態を**オン**にした場合、その下に**地域**が表示されます。**上下矢印キー**   でそれぞれにカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、地域が**ヨーロッパ**、**アメリカ**と切り替わります。地域を選択してください。
- ③ **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**システム設定画面**に戻ってください。

### 5.2.7. 初期値へリセット

U2 に保存されている設定値を、全て工場出荷時の初期値へリセットする機能です。また、新しい SD カードや、別のコントローラで使用していた SD カードを使用する場合は、必ずこのリセットを行います。リセットする場合は、以下の手順で設定してください。なお、登録してあるファイルはそのまま残ります。

- ① **コードの入力**…**警告画面**で「123456」を入力し、**エンターキー**  を押下すると初期化が始まります。
- ② **再起動**…初期化が終了すると、一旦電源が落ち、自動的に再起動します。

### 5.2.8. 時間補正

U2 内蔵時計のズレを補正する機能です。事前準備を行った後、以下の手順で設定してください。

**事前準備**：U2 の内蔵時計を現在の時刻に正確に合わせます。時刻合わせの手順は、5.2.4 章（システム日付）をご覧ください。そのまま、丸 1 日、内蔵時刻を変更しないようにしてください。なお、通常の印刷などは行って構いません。24 時間後、内蔵時計の時刻を確認します。何秒ずれたかを確認してください。

- ① **補正方向の選択**…**時計補正画面**で**補正方向**にカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、使用言語が**遅らせる**、**進ませる**と切り替わります。時刻が進んだ場合には**遅らせる**、時刻が遅れた場合には**進ませる**を選択してください。
- ② **オフセット時間の入力**…**上下矢印キー**   で**オフセット時間の電源オン時**にカーソルを合わせ、24 時間でずれた時間を、**数字キー**を使用して入力します。例えば 10 秒進んだ場合は「10」、20 秒遅れた場合は「20」を入力してください。さらに、**下矢印キー**  で**オフセット時間の電源オフ時**にカーソルを合わせ、同様に時間を入力してください。
- ③ **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**システム設定画面**に戻ってください。
- ④ **時刻合わせ**…事前準備と同様、内蔵時計を正確に現在の時刻に合わせてください。

### 5.3. アラーム設定

アラーム機能についての設定を行います。以下の手順で設定してください。

- ① **アラーム設定画面の表示**…各種設定キー  を押下し各種設定画面が表示させ、カーソルを**アラーム設定**に合わせて、**エンターキー**  を押下し、**アラーム設定画面**を呼び出します。
- ② **各設定の選択**…カーソルを次にあげる各設定に合わせて、**エンターキー**  を押下して、設定を行ってください。各設定の詳細は以下の通りです。
- ③ **設定の終了**…各設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**各種設定画面**に戻ってください。

#### 5.3.1. カウンタアラーム

カウンタが設定された最大値に達した場合、印刷を終了してメッセージを表示する設定を行います。こちらにカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、カーソル右側の項目が**オフ**、**オン**と切り替わります。カウンタアラームを使用するか、しないかを選択してください。

#### 5.3.2. プッシュ音

キーを押下した時、“ピッ”という音を出すか、出さないかの設定を行います。こちらにカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、カーソル右側の項目が**オフ**、**オン**と切り替わります。音を使用するか、しないかを選択してください。

#### 5.3.3. 印刷時ビープ音

印刷した時、“ピッ”という音を出すか、出さないかの設定を行います。こちらにカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、カーソル右側の項目が**オフ**、**オン**と切り替わります。音を使用するか、しないかを選択してください。

### 5.4. 編集設定

編集に関する機能についての設定を行います。以下の手順で設定してください。

- ① **編集設定画面の表示**…各種設定キー  を押下し各種設定画面が表示させ、カーソルを**編集設定**に合わせて、**エンターキー**  を押下し、**編集設定画面**を呼び出します。
- ② **各設定の選択**…カーソルを次にあげる各設定に合わせます。**メッセージ名**と**カウンタリセット**以外については、**エンターキー**  を押下して、設定を行ってください。各設定の詳細は以下の通りです。
- ③ **設定の終了**…各設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**各種設定画面**に戻ってください。

## 5.4.1. メッセージ名

メッセージブラウザモード画面の下部に表示されるメッセージ番号欄に、メッセージ名も表示させる設定です。こちらにカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、カーソル右側の項目が**オフ**、**オン**と切り替わります。メッセージ名の表示を使用するか、しないかを選択してください。

## 5.4.2. 年 (暦) 設定

西暦以外の年 (和暦等) を使用して印刷したい場合、こちらで設定を行います。以下の手順で設定してください。

- ① **状態の選択**…年 (暦) 設定画面で、**状態**にカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、状態が**オフ**、**オン**と切り替わります。状態を選択してください。
- ② **年の入力**…状態を**オン**にした場合、その下に西暦の年が表示されます。**上下矢印キー**   でこちらにカーソルを合わせ、現在の年 (和暦等) を、**数字キー**を使用して入力します。
- ③ **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**編集設定画面**に戻ってください。

## 5.4.3. 日付・時刻書式

U2には、予めいくつかの日付書式が登録されていますが、この書式以外で印刷を行いたい場合、新規で書式を登録できます。また、削除もできます。以下の手順で追加、削除を行ってください。  
なお、日付・時刻書式の右側にアスタリスク (\*) が表示されているものは、編集が行えない書式です。

### 5.4.3.1. 書式の追加

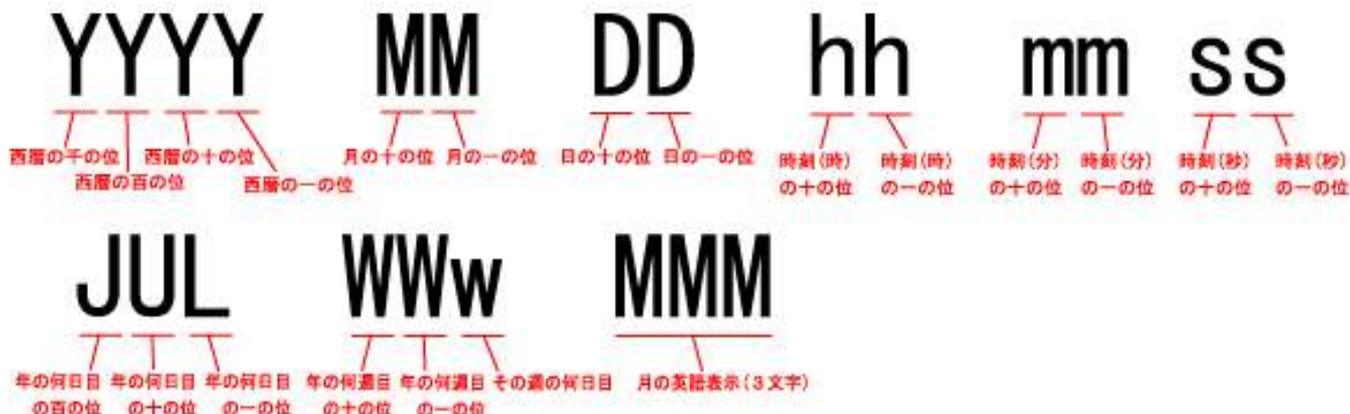
- ① **空き項目の選択**…日付・時刻書式画面で、書式の一覧が表示されますので、**下矢印キー**  を使用して、書式が定義されていない (==空き==と表示されている) 項目へカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下してください。
- ② **必要書式の選択**…日付・時刻書式変更画面が表示されますので、必要な桁 (例えば年の下 2 桁であれば、YYYY の 3 つ目、4 つ目) へカーソルを移動し、**エンターキー**  を押下して行ってください。
- ③ **記号の入力**…間にコロン (:) やスラッシュ (/)、ハイフン (-) が必要な場合は、**シンボルキー**  を押下し、記号一覧の画面を呼び出します。なお、**左右矢印キー**   を使用すると別の記号も表示されます。組み込みたい記号の数値を**数字キー**で入力してください。
- ④ **設定の終了**…設定が終了しましたら**エスケープキー**  を押下して、**編集設定画面**に戻ってください。

### 5.4.3.2. 書式の削除

- ① **削除したい書式の選択**…日付・時刻書式画面で、書式の一覧が表示されますので、**上下矢印キー**   を使用して、削除したい書式へカーソルを合わせてください。
- ② **削除の実行**…**デリートキー**  を押下すると**確認画面**が表示されますので、削除する場合は、**右矢印キー**  を押下してください。

- ③ **削除の終了**…削除が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**編集設定画面**に戻ってください。

**日付書式の詳細**：日付書式の詳細は、以下の通りです。



## 5.4.4. シフト

印刷する時刻によって印刷の内容を変えたい場合に使用する、シフトコードの設定を行います。以下の手順で設定してください。なお、シフトは最大で5つまで、シフト名は最大3文字まで登録できます。また、使用できる文字はアルファベット大文字と数字、記号です。

- ① **シフト1の入力**…シフト画面で、シフト1の**名前**にカーソルを合わせ、**アルファベットキー**、**数字キー**を使用してシフト名を入力後、**数字キー**を使用して**時刻**を入力します。
- ② **シフト2以降の入力**…シフト2以降も同様にシフト名と開始時刻を入力してください。
- ③ **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**編集設定画面**に戻ってください。

## 5.4.5. ロールオーバー

日付は通常 0 : 00 で切り替わりますが、この日付の切り替わるタイミングを任意の時刻に設定できる機能が、ロールオーバーです。以下の手順で設定してください。

- ① **状態の選択**…ロールオーバー画面で、**状態**にカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、状態が**オフ**、**オン**と切り替わります。状態を選択してください。
- ② **時刻の入力**…状態を**オン**にした場合、その下にロールオーバーしたい時刻を入力する項目が表示されます。**上下矢印キー**   でそちらにカーソルを合わせ、ロールオーバーしたい時刻を、**数字キー**を使用して入力します。
- ③ **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**編集設定画面**に戻ってください。

### 5.4.6. カウンタリセット

印刷開始時、カウンタのリセットを行うかどうかの確認画面を表示させる設定です。カウントアップのカウンタの場合、最小値、カウントダウンのカウンタの場合、最大値へリセットされます。こちらにカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、カーソル右側の項目が**オフ**、**オン**と切り替わります。カウンタリセットを使用するか、しないかを選択してください。

### 5.4.7. ゼロサプレス

時刻、日付、カウンタにおいて、ゼロサプレスを行うかどうかの設定をします。時刻、日付、カウンタについてそれぞれ設定できるようになっています。以下の手順で設定してください。

- ① **項目の選択**…ゼロサプレス画面で、  **上下矢印キー**を押下し、設定したい項目にカーソルを合わせてください。
- ② **種類の選択**…**左右矢印キー**   を押下すると、**ゼロを表示**（例、001）、**ゼロを表示せず右寄せで空白にする**（例、\_1）、**ゼロを表示せず左寄せで空白にする**（例、1\_）、**ゼロを表示せず左詰めにする**（例、1）と切り替わります。それぞれ選択してください。
- ③ **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**編集設定画面**に戻ってください。

### 5.4.8. 印字開始位置共通設定

印字開始位置の値を各ファイル共通にするか、個々のファイル毎に持たせるかの設定をします。こちらにカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、カーソル右側の項目が**オフ**、**オン**と切り替わります。印字開始位置共通設定を使用するか、しないかを選択してください。

## 5.5. システム診断

システムの状態や操作状況の情報が表示されます。以下の手順で確認してください。

- ① **システム診断画面の表示**…**各種設定キー**  を押下し**各種設定画面**が表示させ、カーソルを**システム診断設定**に合わせて、**エンターキー**  を押下し、**システム診断画面**を呼び出します。
- ② **各機能の選択**…カーソルを次にあげる各機能に合わせて、**エンターキー**  を押下して、機能を実行してください。各情報の詳細は以下の通りです。
- ③ **機能の終了**…各機能が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**各種設定画面**に戻ってください。

### 5.5.1. システムテスト

U2 の様々な項目を自己診断する機能です。以下の手順で診断を行ってください。

- ① **テストの選択**…**システムテスト画面**で、カーソルを次にあげる各テストに合わせて、**エンターキー**  を押下して、診断を行ってください。各診断の詳細は以下の通りです。

- ② **機能の終了**…各テストが終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**システム診断画面**に戻ってください。

### 5.5.1.1. 自己診断テスト

U2 コントローラ内部や、外部に接続されている機器についてテストします。以下の手順で診断を行ってください。

- ① **テスト開始**…こちらの項目にカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下しますと、自動的にテストが開始されます。
- ② **テスト結果の表示**…テスト終了後、**テスト結果画面**が表示されます。全て正常な場合は、**テスト完了!**と表示されます。何か異常があった場合は、その内容が表示されます。
- ③ **テストの終了**…テストが終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**システムテスト画面**に戻ってください。

### 5.5.1.2. 液晶画面テスト

画面の液晶に異常がないかテストします。以下の手順でテストを行ってください。

- ① **テスト開始**…こちらの項目にカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下しますと、自動的にテストが開始され、画面が上から下へ赤→緑→青→白と変わっていきます。正常に変わっていくか確認してください。
- ② **テストの終了**…テストが終了しますと、自動的に**システムテスト画面**に戻ります。

### 5.5.1.3. LED テスト

コントローラ上部にある LED ランプに異常がないかテストします。以下の手順でテストを行ってください。

- ① **テスト開始**…こちらの項目にカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下しますと、自動的にテストが開始され、コントローラ上部の LED ランプが **Alarm**→**InkLow**→**Print**→**3 つ全ての順**に点灯します。正常に点灯するか確認してください。(Run ランプは、常に点滅しています。)
- ② **テストの終了**…テストが終了しますと、自動的に**システムテスト画面**に戻ります。

### 5.5.2. ログレポート

U2 上で操作された内容が、ログとして保存されていますが、その内容を表示する機能です。以下の手順で確認してください。

- ① **項目の選択**…ログレポート画面で、  上下矢印キーを押下し、内容を見たい項目にカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下してください。
- ② **情報の確認**…情報詳細が確認できましたら、**エスケープキー**  を押下し、**ログレポート画面**に戻ってください。

- ③ **確認の終了**…確認が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**システム診断画面**に戻ってください。

### 5.6. 印刷設定

印刷に関する機能についての設定を行います。以下の手順で設定してください。

- ① **印刷設定画面の表示**…**各種設定キー**  を押下し**各種設定画面**が表示させ、カーソルを**印刷設定**に合わせて、**エンターキー**  を押下し、**印刷設定画面**を呼び出します。
- ② **各設定の選択**…カーソルを次にあげる各設定に合わせて、**エンターキー**  を押下して、設定を行ってください。各設定の詳細は以下の通りです。
- ③ **設定の終了**…各設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**各種設定画面**に戻ってください。

#### 5.6.1. プリントヘッド

プリントヘッドに関する設定を行います。以下の手順で設定してください。

- ① **設定の選択**…**プリントヘッド画面**で、カーソルを次にあげる各設定に合わせて、**エンターキー**  を押下して、設定を行ってください。各設定の詳細は以下の通りです。
- ② **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**印刷設定画面**に戻ってください。

##### 5.6.1.1. チャンネル

HP のインクカートリッジにはノズルが2つあります。このノズルの内、片方だけ使用するか、両方使用するか選択します。**左右矢印キー**   を押下して、**片方**、**両方**から使用するノズルを選択してください。片方を選択した場合は、**使用ノズル**の設定も行ってください。

##### 5.6.1.2. 印刷方向

印刷する方向を選択します。**左右矢印キー**   を押下して、上下方向、左右方向の合った印刷方向を選択してください。

##### 5.6.1.3. 使用ノズル

チャンネルで**片方**を選択した場合だけ表示される項目で、どちらのノズルを使用するか選択します。**左右矢印キー**   を押下して、**左ノズル**、**右ノズル**から使用したいノズルを選択してください。

##### 5.6.1.4. 解像度

印刷の解像度を選択できます。**左右矢印キー**   を押下して、片ノズル使用時は、**300x50～300x600dpi (50 刻み)**、両ノズル使用時は、**600x50～600x600dpi (50 刻み)** から使用したい解像度を選択

してください。片方のノズル使用時、300×400、両方のノズル使用時、600×400 が標準です。400 の値を 200 (1/2) に変更すると印字幅は 2 倍に、50 (1/8) に変更すると印字幅は 8 倍になるような関係になっています。なお、エンコーダ使用時の解像度は、自動的に算出されるため、設定はできません。

### 5.6.2. プレページ

印刷の擦れを防ぐために、ごく少量のインクを定期的に噴射させる機能の設定を行います。以下の手順で設定してください。

- ① **状態の選択**…プレページ画面で、**状態**にカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、状態が**オフ**、**オン**と切り替わります。状態を選択してください。
- ② **レベルの入力**…状態を**オン**にした場合、その下に乾燥状態のレベルを入力する項目が表示されます。**上下矢印キー**   でそれぞれにカーソルを合わせ、乾燥レベルを、**数字キー**を使用して入力します。なお、範囲は 1~5 で、湿度が低い環境ほど大きい数値を設定します。
- ③ **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**印刷設定画面**に戻ってください。

### 5.6.3. センサ (通常タイプのみ)

使用するセンサの選択を行います。以下の手順で選択してください。なお、モバイルタイプにはこのメニューがありません。

- ① **センサの選択**…センサ画面で、**左右矢印キー**   を押下すると、ソースが**内蔵センサ**、**外付けセンサ**と切り替わります。使用するセンサを選択してください。
- ② **モードの選択**…ソースを**外付けセンサ**にした場合、その下に**モード**が表示されます。**上下矢印キー**   でそれぞれにカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、モードが**通常**、**逆**と切り替わります。**通常**は、センサが覆われた時、**逆**はセンサの覆いが外れた時に印刷を開始します。モードを選択してください。
- ③ **選択の終了**…選択が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**印刷設定画面**に戻ってください。

### 5.6.4. エンコーダ・ライン速度 (通常タイプのみ)

ライン速度を検出するエンコーダを使用するか、使用しない場合は、ライン速度をいくつにするかの設定を行います。以下の手順で設定してください。なお、モバイルタイプにはこのメニューがありません。

- ① **エンコーダ使用・未使用の選択**…エンコーダ・ライン速度画面で、**エンコーダ**にカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、状態が**オフ**、**オン**と切り替わります。エンコーダの使用 (オン) ・未使用 (オフ) を選択し、オンを選択した場合は手順③、オフを選択した場合は手順②に進んでください。
- ② **ライン速度の入力**…エンコーダを**オフ**にした場合、ライン速度を入力する項目が表示されます。**上下矢印キー**   でそれぞれにカーソルを合わせ、ライン速度を、**数字キー**を使用して入力します。その後、手順④へ進んでください。

- ③ **エンコーダ仕様の入力**…エンコーダをオンにした場合、使用するエンコーダのパルス数と直径を入力する項目が表示されます。**上下矢印キー**   でそれぞれにカーソルを合わせ、エンコーダのパルス数と直径を、**数字キー**を使用して入力します。なお、パルス数の範囲は500～19200、直径の範囲は1.0～1000.0mmです。
- ④ **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**印刷設定画面**に戻ってください。

### 5.6.5. エンコーダ (モバイルタイプのみ)

モバイルタイプ使用時で、両ノズルを使用して印刷する場合、2つのノズルの同期をとるために、エンコーダの設定を行います。初期値は405で、基本的に変更する必要がありません。変更する場合は、以下の手順で設定してください。なお、通常タイプにはこのメニューがありません。

- ① **解像度の入力**…エンコーダ画面で、**数字キー**を使用して解像度を入力します。なお、範囲は50～600dpiです。
- ② **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**印刷設定画面**に戻ってください。

### 5.6.6. ライン速度テスト (通常タイプのみ)

ラインの速度がわからない場合、こちらで簡易的にライン速度を測定し、設定することが可能です。以下の手順で設定してください。なお、モバイルタイプにはこのメニューがありません。

- ① **ワーク幅の入力**…**ライン速度テスト画面**で、**数字キー**を使用してテストで使用するワークの幅を入力します。なお、範囲は100～1000mmです。
- ② **ワークを流す**…入力後、**エンターキー**  を押下します。画面下部に**ワークを置いてください**と表示されたら、**エンターキー**  を押下して、テスト用のワークを**実際ライン**に流してください。
- ③ **測定値の入力**…測定された値が画面下部に表示されましたら、**エンターキー**  を押下してください。

### 5.6.7. 繰り返し印刷

同じ内容を繰り返し印刷させる機能の設定を行います。以下の手順で設定してください。

- ① **状態の選択**…**繰り返し印刷画面**で、**状態**にカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、状態が**オフ**、**オン**と切り替わります。状態を選択してください。
- ② **トリガーモードの選択**…**トリガーモード**にカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、モードが**オフ**、**オン**と切り替わります。トリガーモードが**オン**の時は、センサが覆われている状態の時、印刷が行われます。また、**オフ**の時は、印刷可能状態の間、印刷が行われます。トリガーモードの**オン**・**オフ**を選択し、**オン**を選択した場合は手順③、**オフ**を選択した場合は手順④に進んでください。

- ③ **設定の選択**…設定にカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、モードが**通常印刷**、**繰返し印刷**と切り替わります。**通常印刷**の時は、指定した回数だけ繰返し印刷を行います。**繰返し印刷**の時は、センサが覆われている状態の間、繰返し印刷を行います。使用する設定を選択してください。
- ④ **繰返しの内容設定**…繰返しの内容について設定を行います。**初期間隔**、**繰返し間隔**、**繰返し回数**について設定します。  
**初期間隔**は、トリガーモードが**オン**の時表示されます。センサが覆われてから1つめの印刷がされるまでの距離を入力します。範囲は0～4161mmです。**繰返し間隔**は、印刷の間隔を入力します。範囲は10～4161mmです。印刷の幅より広い間隔を指定しなければなりません。**繰返し回数**は、トリガーモードが**オン**で**通常印刷**が選択されている時表示されます。印刷を繰返す回数を入力します。範囲は1～65535回です。
- 上下矢印キー**   でそれぞれにカーソルを合わせ、**数字キー**を使用して入力します。
- ⑤ **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**印刷設定画面**に戻ってください。

### 5.6.8. ヘッドクリーニング

ページ（インクの強制噴射）を行い、ヘッドノズルのクリーニングを行います。以下の手順で作業してください。

- ① **クリーニング開始**…**ヘッドクリーニング画面**が表示されている状態でセンサとノズルをテスト用の紙などで覆い、ページを行ってください。モバイルタイプの場合は、**印刷トリガボタン**を押してください。
- ② **クリーニングの終了**…クリーニングが終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**印刷設定画面**に戻ってください。

### 5.6.9. 印刷画面モード

印刷中に表示される画面内容の設定を行います。以下の手順で設定してください。

- ① **印刷画面モードの選択**…印刷画面モード画面で、**左右矢印キー**   を押下すると、印刷画面モードが**印刷情報**、**印刷プレビュー**と切り替わります。使用する印刷画面モードを選択してください。
- ② **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**印刷設定画面**に戻ってください。

### 5.6.10. リフレッシュ時間

こちらの機能は、設定された時間で、バッファ内の時刻データをリフレッシュする機能ですが、弊社からの指示があった場合以外は、**オフ**を選択しておいてください。

もし、設定が必要な場合は、以下の手順で設定してください。

- ① **状態の選択**…繰返し印刷画面で、**状態**にカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、状態が**オフ**、**オン**と切り替わります。状態を選択してください。
- ② **時間間隔の入力**…状態を**オン**にした場合、その下にリフレッシュする時間の間隔を入力する項目が表示されます。**上下矢印キー**   でそちらにカーソルを合わせ、時間間隔を、**数字キー**を使用して入力します。なお、範囲は1～9で、単位は分です。

- ③ **設定の終了**…設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**印刷設定画面**に戻ってください。

### 5.7. セキュリティ設定

U2 では、セキュリティを考慮し、ログインユーザとパスワードを設定することが可能です。以下の手順で設定してください。

- ① **セキュリティ設定画面の表示**…各種設定キー  を押下し各種設定画面が表示させ、カーソルを**セキュリティ設定**に合わせて、**エンターキー**  を押下し、**セキュリティ設定画面**を呼び出します。
- ② **ログイン設定の選択**…**ログイン設定**にカーソルを合わせ、**左右矢印キー**   を押下すると、設定が**オフ**、**オン**と切り替わります。設定を選択してください。
- ③ **ユーザ設定画面の表示**…**ログイン設定**を**使用**にした場合、その下にユーザ設定画面を呼び出す項目が表示されます。**上下矢印キー**   でそちらにカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下し、**ユーザ設定画面**を呼び出し、設定を行ってください。各設定の詳細は以下の通りです。
- ④ **設定の終了**…各設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**各種設定画面**に戻ってください。

#### 5.7.1. ユーザの追加

ユーザの新規追加方法です。以下の手順で設定してください。

- ① **作業の選択**…ユーザ設定画面で、**エンターキー**  を押下すると、画面右下に行いたい作業の選択肢が表示されます。**追加**にカーソルを合わせ、**エンターキー**  を押下してください。
- ② **ユーザ名の入力**…ユーザ名とレベル、パスワードを入力する画面が表示されます。**ユーザ名**には、任意のユーザ名を**アルファベットキー**、**数字キー**を使用して入力してください。
- ③ **権限レベルの選択**…レベルにカーソルを移動し、ユーザの権限レベルを選択します。**マネージャ**は、全ての操作が可能なユーザ、**エディタ**は、各種設定変更はできませんが、メッセージの編集は行えるユーザ、**オペレータ**は、印刷ファイルの選択のみできるユーザです。**左右矢印キー**   を押下してレベルを選択してください。
- ④ **パスワードの入力**…**新規パスワード**にカーソルを移動し、任意のパスワードを**アルファベットキー**、**数字キー**を使用して入力してください。
- ⑤ **パスワードの再入力**…**再入力**にカーソルを移動し、**新規パスワード**に入力したパスワードを**アルファベットキー**、**数字キー**を使用して再度入力してください。
- ⑥ **設定の終了**…各設定が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**ユーザ設定画面**に戻ってください。

#### 5.7.2. ユーザの削除

ユーザの削除方法です。以下の手順で設定してください。

## U2 ユーザマニュアル

- ① **削除したいユーザの選択**…ユーザ設定画面で、上下矢印キー   を押下し、削除したいユーザにカーソルを移動します。
- ② **作業の選択**…エンターキー  を押下すると、画面右下に行いたい作業の選択肢が表示されます。  
削除にカーソルを合わせ、エンターキー  を押下してください。
- ③ **削除の実行**…確認画面が表示されますので、削除する場合は、右矢印キー  を押下してください。
- ④ **削除の終了**…削除が終了しますと、自動的にユーザ設定画面に戻ります。

### 5.7.3. ユーザの変更

ユーザ情報の変更方法です。以下の手順で設定してください。

- ① **変更したいユーザの選択**…ユーザ設定画面で、上下矢印キー   を押下し、変更したいユーザにカーソルを移動します。
- ② **作業の選択**…エンターキー  を押下すると、画面右下に行いたい作業の選択肢が表示されます。  
変更にカーソルを合わせ、エンターキー  を押下してください。
- ③ **情報の変更**…ユーザ名とレベル、パスワードを入力する画面が表示されます。変更したい項目にカーソルを移動し、任意の値を入力、選択してください。
- ④ **設定の終了**…各設定が終了しましたら、エスケープキー  を押下して、ユーザ設定画面に戻ってください。

## 5.8. U2 について

ハードウェアやソフトウェアのバージョン、シリアル番号等、U2 コントローラとインクカートリッジの詳細情報が表示されます。以下の手順で確認してください。

- ① **U2 について画面の表示**…各種設定キー  を押下し各種設定画面が表示させ、カーソルを U2 についてに合わせて、エンターキー  を押下し、U2 について画面を呼び出します。
- ② **各情報の選択**…カーソルを次にあげる各情報に合わせて、エンターキー  を押下して、情報を表示してください。各情報の詳細は以下の通りです。
- ③ **表示の終了**…確認が終了しましたら、エスケープキー  を押下して、各種設定画面に戻ってください。

### 5.8.1. プリンタ情報

使用している U2 コントローラの情報を表示させる機能です。以下の手順で確認してください。

- ① **情報の表示**…プリンタ情報画面で、U2 コントローラの情報が表示されています。  下矢印キーを押下すると、P.S. フォント表示画面に切り替わります。

- ② **表示の終了**…確認が終了しましたら、**エスケープキー**  を押下して、**U2 について画面**に戻ってください。

### 5.8.2. インク情報

使用しているインクカートリッジの情報を表示させる機能です。以下の手順で確認してください。

- ① **情報の表示**…**インク情報画面**で、インクカートリッジの情報が表示されています。  **下矢印キー**を押下すると、**次画面**に切り替わります。
- ② **表示の終了**…確認が終了しましたら**エスケープキー**  を押下して、**U2 について画面**に戻ってください。

## 5.9. 登録

オプションで登録されているソフトウェアの一覧が表示されます。

## 6. メンテナンス

U2 を日常ご使用いただく上での手順、永くご使用いただくためのメンテナンス方法等を記載しています。

### 6.1. 印刷開始時のクリーニング作業

品質のよい印刷を行うために、プリンタの使用開始前に、以下のクリーニング作業を行ってください。

#### 6.1.1. 浸透性物質用インク (SP4、バルクインク) の場合

- ① **クリーニングキットの用意**…専用のワイパーパッド、専用ワイブを用意します。なお、キットは、純正品をご使用ください。純正品以外のものをご使用になりますと、故障の原因となります。



- ② **クリーニングキットの準備**…専用ワイブを袋から出し、ワイパーパッドに乗せ、挟みます。



- ③ **カートリッジの取り外し**…コントローラの電源が入っていないことを確認し、インクカートリッジをコントローラから取り外してください。
- ④ **クリーニング**…カートリッジのノズル部分をワイパーに軽く当て、10cmほどゆっくりとカートリッジを引いてください。この時、ノズルに対して水平になる向きで引いてください。



- ⑤ **印刷確認**…インクカートリッジをコントローラに戻し、電源を入れ、テスト印刷を行ってください。

### 6.1.2. 非浸透性物質用インク (NP4) の場合

- ① **クリーニングキットの用意**…専用のワイパーパッド、専用ワイブを用意します。なお、キットは、純正品をご使用ください。純正品以外のものをご使用になりますと、故障の原因となります。



ワイパーパッド



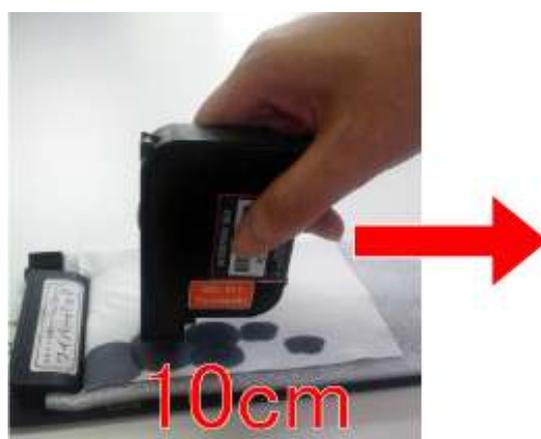
専用ワイブ

- ② **クリーニングキットの準備**…専用ワイブを袋から出し、下図のようにワイパーパッドに挟んで、セットします。



挟む

- ③ **クリーニング**…カートリッジのノズル部分をワイパーに軽く当て、10cmほどゆっくりとカートリッジを引いてください。この時、ノズルに対して水平になる向きで引いてください。



- ④ **印刷確認**…インクカートリッジをコントローラに戻し、電源を入れ、テスト印刷を行ってください。

## 6.2. 印字中断後のメンテナンス方法

印刷の品質を保つため、印刷中断後のインクは以下の方法でメンテナンスしてください。

### 6.2.1. 浸透性物質用インク (SP4、バルクインク) の場合

#### 6.2.1.1. 保管印刷中断期間が短期 (最長 1 日) の場合

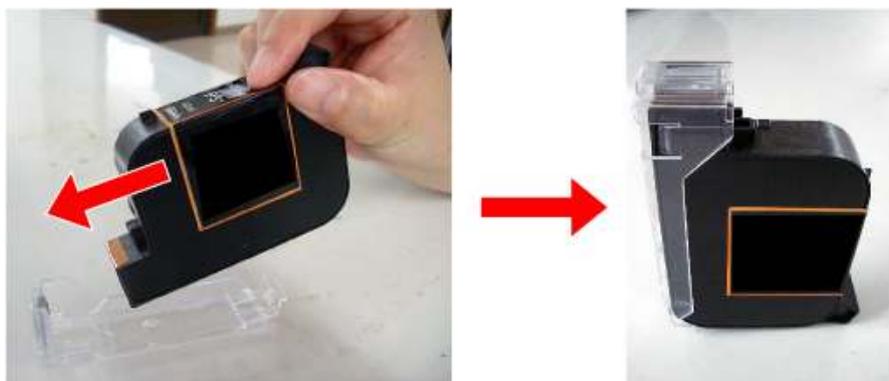
昼休みなどの一時的な印刷中断や、作業終了後、翌日の作業開始時まで使用しない場合などのケースです。インクカートリッジはコントローラに付けたままにします。次回、使用開始時、6.1.1 章のクリーニング作業を行ってください。

#### 6.2.1.2. 印刷中断期間が長期 (2 日以上) の場合

##### **SP4 インクカートリッジの場合**

週末や長期休暇など、2 日以上印刷しないケースです。インクカートリッジをコントローラから取り外して保管する必要があります。

作業終了後、インクカートリッジを取り外し、6.1.1 章のクリーニング作業を行ってください。その後、専用カバークリップでヘッド面全体をカバーします。カバー後はノズル面を上にして、カバーごと立てて保管してください。



##### **370cc バルクインクの場合**

ペン (カートリッジ) とインクタンクの高低差 25cm 以内を保ったままスツールから外します。ペン部分は、6.1.1 章のクリーニング作業を行ってください。その後、専用カバークリップでヘッド面全体をカバーします。インクタンクの上にペン部分を載せ、輪ゴム、または粘着テープで留めて保管してください。



### 6.2.2. 非浸透性物質用インク (NP4) の場合

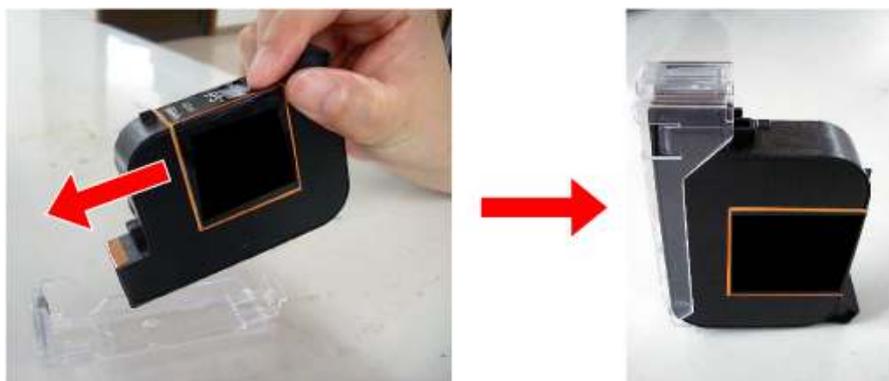
#### 6.2.2.1. 保管印刷中断期間が短期 (10分以上24時間未満) の場合

昼休みやライン不具合調整などの一時的な印字中断、作業終了後、翌日の作業開始まで使用しない場合などのケースです。インクカートリッジは、プリンタに付けたままにします。次回、使用開始時、テスト印字を行い、NGであれば、ノズル部分を専用ワイプで軽く拭き取ります。再度テスト印字を行い、印字品質を確認してください。



#### 6.2.2.2. 印刷中断期間が長期 (24時間以上) の場合

週末や長期休暇、繁忙期のみでの使用など、24時間以上印字しないケースです。インクカートリッジをプリンタから取り外して保管する必要があります。作業終了後、インクカートリッジを取り外し、6.1.2章のクリーニング作業を行ってください。その後、専用カバークリップを取り付けます。取り付け後は、ノズル面を上にして、カバーごと立てて保管してください。



次回、使用開始時、6.1.2章のクリーニング作業を行った後、テスト印字を行い、印字品質を確認してください。(カバークリップは未使用時、紛失しないよう大切に保管してください。)

### 6.3. 定期的な時刻調整

コントローラ内蔵のシステム時計は、正確ではない場合があります。したがって、定期的にシステム時計の調整を行うことをお勧めします。特に、賞味期限などの日付や、時刻を印刷されているお客様は、**週に1度必ず**システム時計の調整を行ってください。なお、時刻の調整方法につきましては、5.2章→5.2.4章をご覧ください。

## 6.4. モバイルタイプのバッテリーについて

モバイルタイプのコントローラはバッテリーで駆動しています。

### 6.4.1. バッテリーの着脱

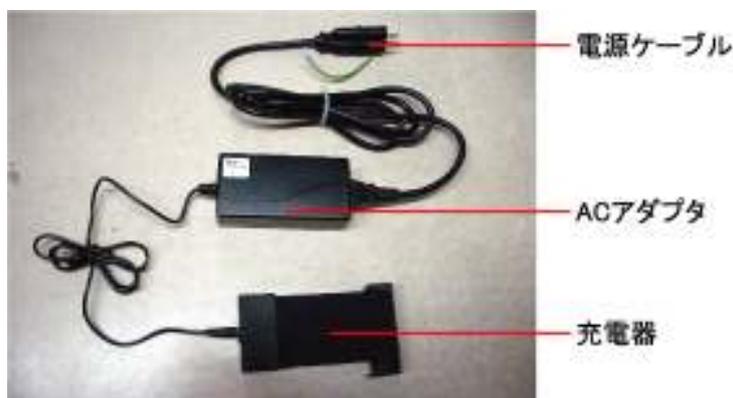
コントローラのバッテリー着脱方法です。バッテリーはコントローラの下部前面に挿入口があります。挿入口横のストップを引いてフタを開け、バッテリーの着脱を行ってください。



### 6.4.2. バッテリーの充電

初めてご使用になる場合、バッテリーが消耗した場合は、充電が必要となります。以下の手順で充電を行ってください。

- ① **充電器の準備**…付属の充電器に専用 AC アダプタ、電源ケーブルを接続します。



- ② **バッテリーの挿入**…充電器のフタを開け、バッテリーを、電極側を奥にして挿し込みます。この時、バッテリーの上下の向きが逆ですと、奥まで入りません。入らない場合は、バッテリーの上下を逆にしてください。



## U2 ユーザマニュアル

---

- ③ **バッテリーの挿入**…電源ケーブルをコンセントに挿し込みますと、充電が開始されます。充電中は AC アダプタのランプが赤く点灯します。



- ④ **充電終了**…充電が終了しますと、ACアダプタのランプが緑色に点灯します。コンセントから電源ケーブルを抜き、バッテリーを取り出してください。

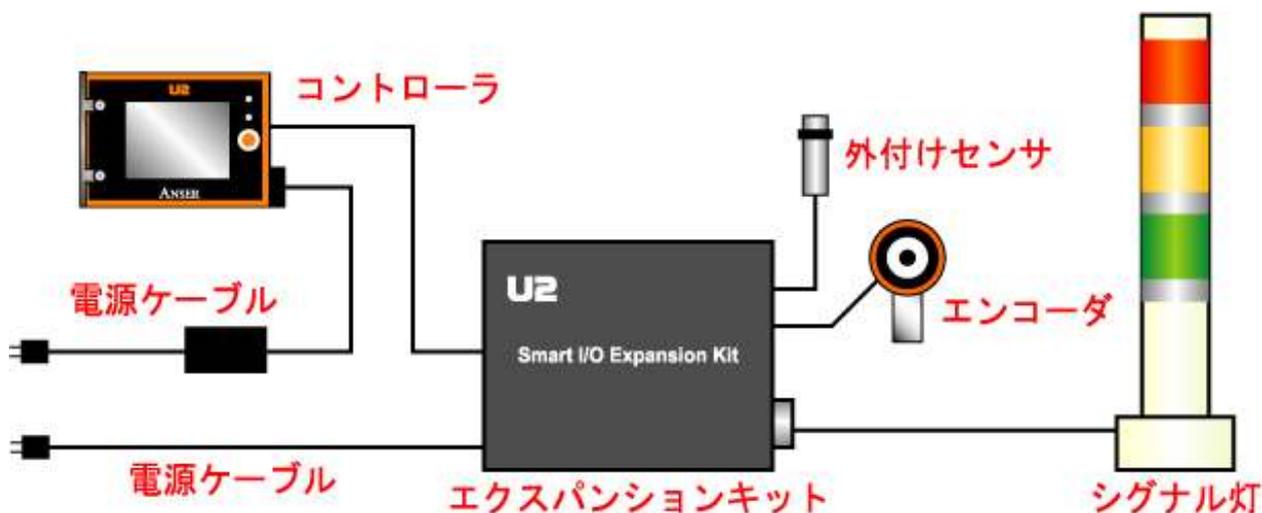


### 6.5. U2 モバイルの保管 **重要**

U2 モバイルは専用のケースがありますので、使用しない時は、この専用ケースに正しく収納して保管してください。なお、収納する際は、必ずコントローラからバッテリーを抜いてください。

## 7. オプション機能

オプションとして、外付けセンサ、エンコーダ、アラームキットをご用意しております。それぞれ外部機器接続ポートに接続して使用しますが、U2 コントローラの外部機器接続ポートは、1 口しかありません。複数のオプションを接続させる場合は、エクспанションキットという機器を間に接続する必要があります。また、アラームキットを接続する場合は、必ずエクспанションキットを接続しなければなりません。



### 7.1. 外付けセンサ

印刷位置の関係等で内蔵センサが使用できない場合、接続するセンサです。

#### 7.1.1. 外付けセンサ設置手順

コントローラ取付け用ブラケットに外付けセンサを設置する場合は、以下の手順で行ってください。

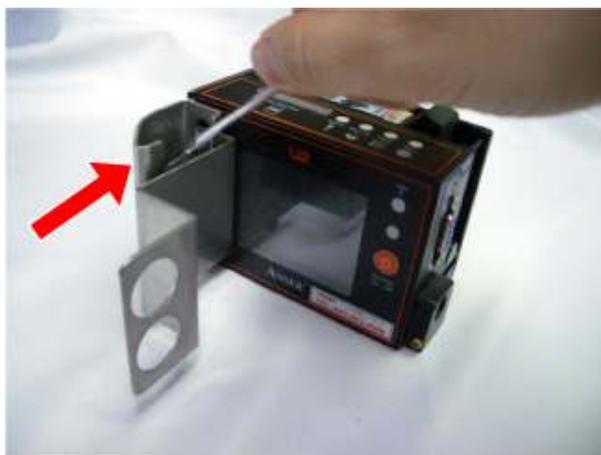
- ① **ガイドの取り外し**...すでにコントローラにガイドが取り付けられている場合は、ネジを2本外し、ガイドを取り外してください。



- ② **取り付け治具の仮留め**…センサ取り付け治具を、取り付け治具付属の専用ネジで仮留めします。



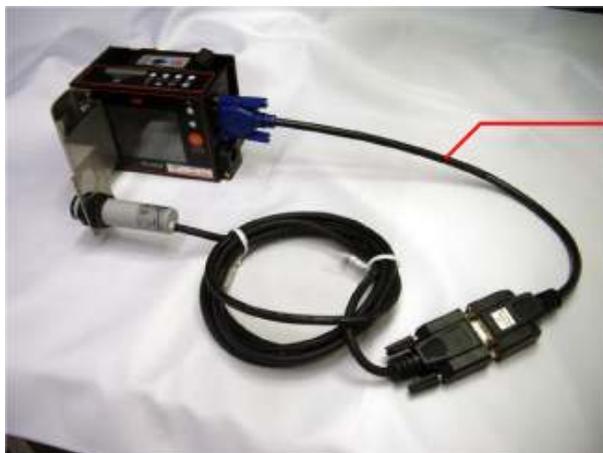
- ③ **ガイドの取り付け**…①で外したガイドを、治具を仮留めしたネジに通し、治具と共締めします。



- ④ **センサの取り付け**…外付けセンサに付いている黒いリングを1つだけ回して外し、センサを治具の穴に通した後、外したリングを戻して治具に固定します。



- ⑤ **ケーブルの接続**…外付けセンサのケーブルにセンサ付属の9ピン15ピン変換ケーブルを接続した後、変換ケーブルをコントローラの外部機器変換ポートに接続してください。なお、エクспанションキット使用の場合、変換ケーブルは必要なく、センサのケーブルを直接エクспанションキットの Photocell ポートに接続してください。



9ピン15ピン  
変換ケーブル

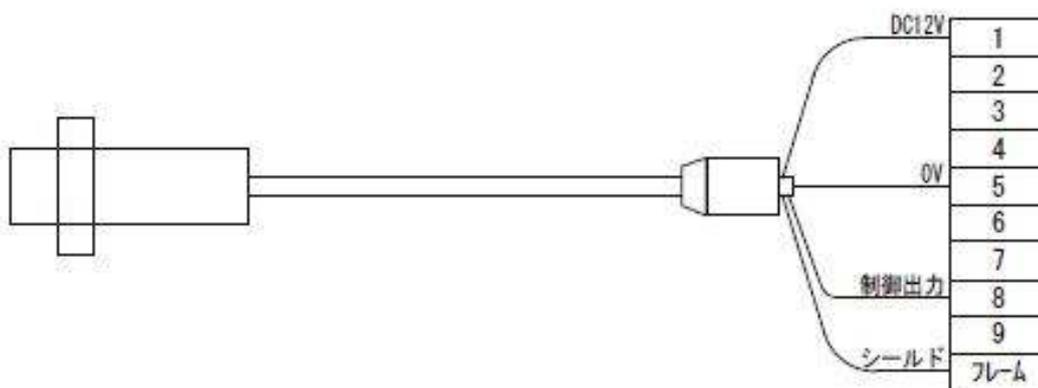
### 7.1.2. コントローラ側の設定

外付けセンサについて、U2 コントローラ側の設定を行います。設定の詳細は、[5.6 章](#)→[5.6.3 章](#)を参照してください。

### 7.1.3. 外付けセンサのピンアサイン

センサのピンアサインは、下図のようになっています。(D-sub9 ピン オス)

#### センサー配線図 (NPN)



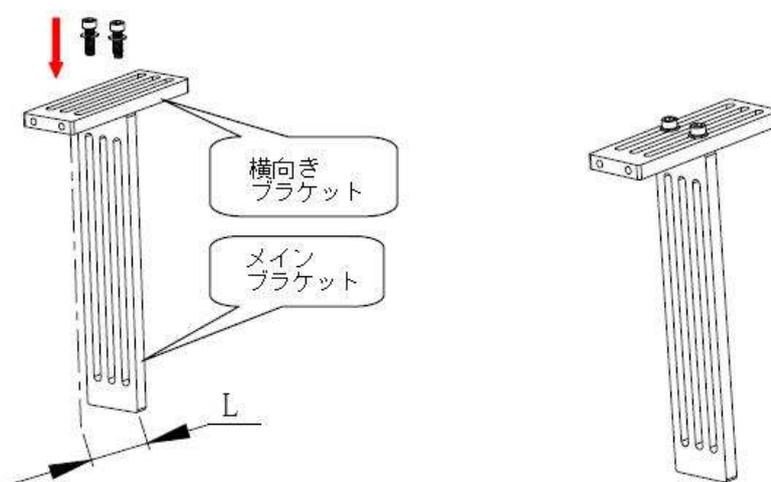
## 7.2. エンコーダ

ラインの速度を検出し、印刷をより正確行うために使用する機器がエンコーダです。バーコード印刷など、印刷に正確さが必要な場合や、ライン速度が安定していない場合等に接続します。

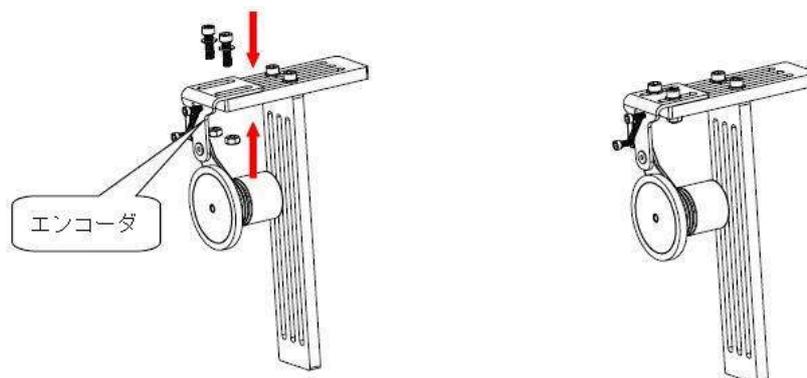
## 7.2.1. エンコーダ設置手順

ラインへのエンコーダ設置は、以下の手順で行ってください。

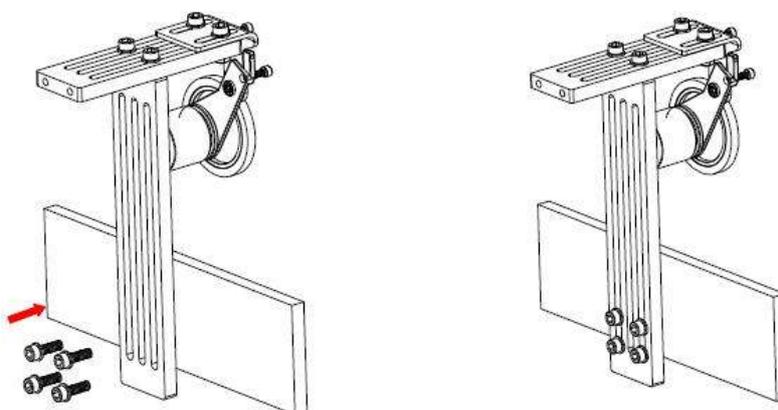
- ① **ブラケットの組み立て**…メインブラケットと横向きブラケットを、付属の M6×L20 のネジと M6 のワッシャを使用して取り付けます。



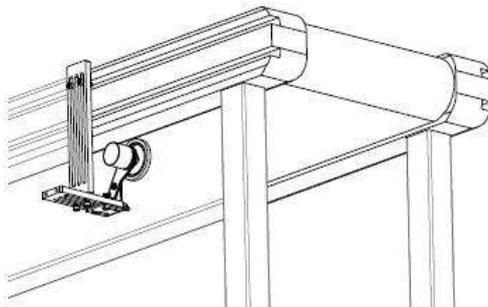
- ② **エンコーダの取り付け**…手順①で組み立てたブラケットに、下図のようにエンコーダを取り付けます。



- ③ **ラインへの取り付け**…手順②で組み上がったエンコーダを、付属の M6×L20 のネジと M6 のワッシャを4つずつ使用して取り付けます。この時、エンコーダのホイールが、しっかりとコンベアに接触し、空回りしないよう取り付けてください。



- ④ **その他の設置方法**…上記の方法の他、下図のように、エンコーダをコンベアの下側に接触するよう取り付けても構いません。



## 7.2.2. コントローラ側の設定

エンコーダについて、U2 コントローラ側の設定を行います。設定の詳細は、[5.6章](#)→[5.6.4章](#)を参照してください。

## 7.3. アラームキット

アラームキットとは、U2 の稼動状態をシグナル灯で表す機器です。アラームキットのシグナル灯は、緑、橙、赤の3色灯で、エクспанションキットを介してU2 コントローラと接続します。

### 7.3.1. 信号の内容

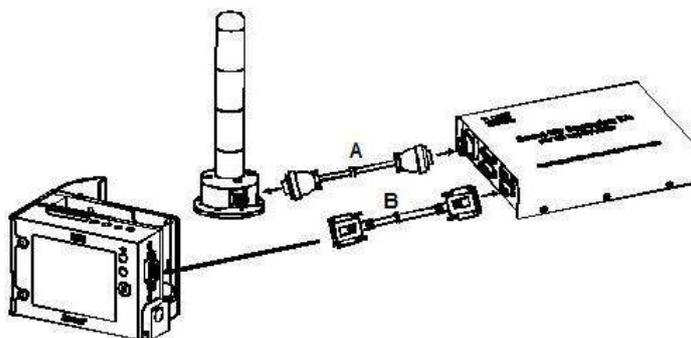
信号の内容は以下の通りです。また、信号は、不具合を解消しないかぎり出力され続けます。

アラーム内容	信号の色	ブザー音
インク残量なし または インクカートリッジなし または 不正なインクカートリッジ使用	赤	あり
インク残量僅少	黄	なし
印刷可能状態	緑	なし

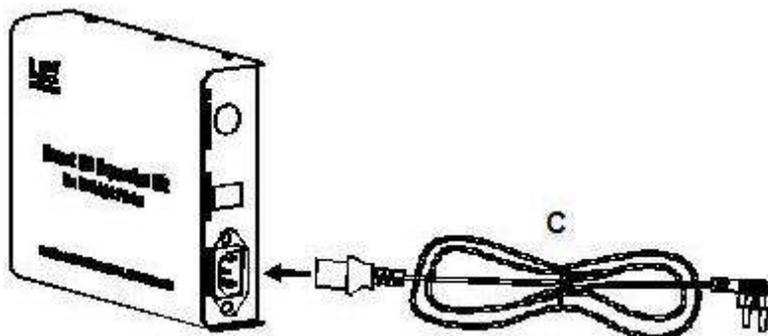
### 7.3.2. アラームキット接続手順

アラームキットの接続は、以下の手順で行ってください。

- ① **各ケーブルの接続**…エクспанションキットとシグナル灯を丸型6ピンのシグナル灯接続ケーブル (A) で接続します。また、エクспанションキットとU2 コントローラをD-sub15ピンのシリアルケーブル (B) で接続します。

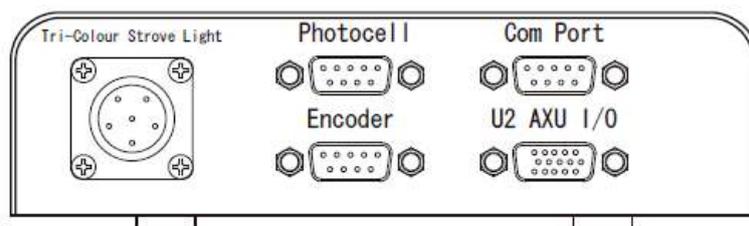


- ② **電源ケーブルの接続**…エクспанションキットに電源ケーブル (C) を接続します。

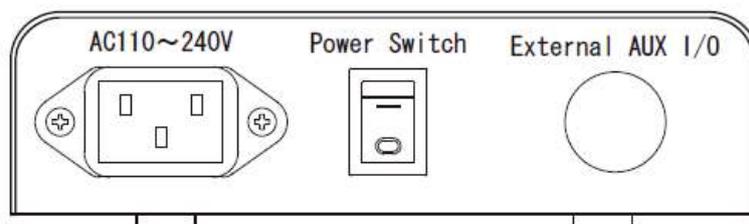


## 7.4. エクспанションキット

アラームキット接続時、必ず必要になるのがエクспанションキットですが、アラームキットを使用しない場合でも、エンコーダと外付けセンサの両方を接続する必要がある時は、エクспанションキットを接続しなければなりません。以下の各ポートに機器を接続します。



(コネクタ側)



(電源側)

**Photocell**…外付けセンサを接続します。

**Encoder**…エンコーダを接続します。

**U2 AUX I/O**…15ピンシリアルケーブルにてU2コントローラと接続します。

**Tri-Colour Strobe Light**…専用シグナル灯を接続します。

**AC110~240V**…電源ケーブルを接続します。

**Power Switch**…電源スイッチです。

**※ご注意**…Com Port、External AUX I/O は現在使用できません。

## 8. トラブルシューティング

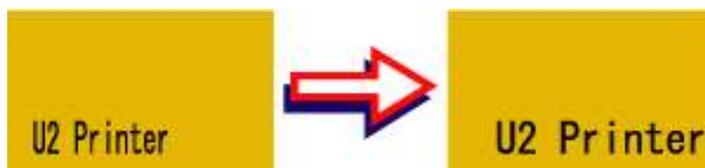
### 8.1. 印刷の状態が悪い時は

きれいな印刷をするためには、まずコンベアにガイドバーを取り付けることをお勧めします。また、ローラコンベアはワークが揺れますので、ベルトコンベアをお勧めします。さらに、以下のように、印刷に問題が発生した場合の対処方法を記述します。

#### 8.1.1. 設定による問題

##### 8.1.1.1. 圧縮された文字や、間延びした文字が印刷されてしまう

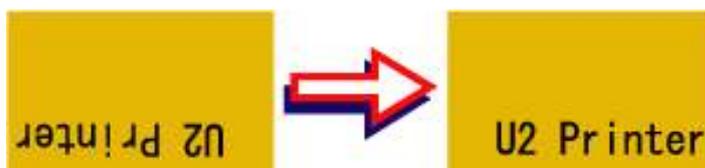
コンベアの速度と U2 のコンベア速度設定が合っていないと、圧縮された文字や間延びした文字が印刷されてしまいます。



このような場合は、[5.6 章](#)→[5.6.4 章](#)（エンコーダ・ライン速度）をご覧ください。コンベア速度設定の調整を行ってください。コンベアの速度は、常に一定でなければなりません。一定でない場合は、エンコーダの接続をお勧めします。

##### 8.1.1.2. 上下や左右が逆になった文字が印刷されてしまう

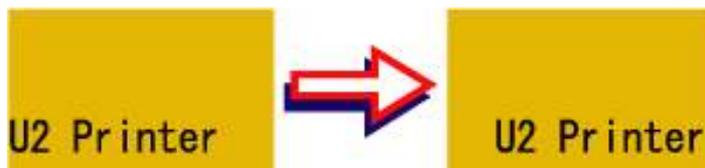
印刷方向の設定が誤っていると、正しい印刷ができません。



上下逆や左右逆に印刷されてしまった場合は、[5.6 章](#)→[5.6.1 章](#)（プリントヘッド）をご覧ください。印刷方向設定の調整を行ってください。

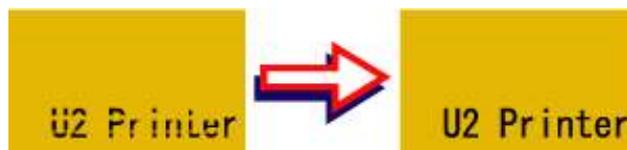
##### 8.1.1.3. 印刷の位置がずれている

印刷の開始位置を正しく調整する必要があります。



印字の位置がずれている場合は、[5.1 章](#)（印刷開始位置）をご覧ください。印刷開始位置設定の調整を行ってください。

## 8.1.2. プリントヘッドの問題



このように印刷されてしまった場合、ノズルが目詰まりを起こしている可能性があります。[6.1 章](#)をご覧ください。ノズル部分のクリーニングを実施してください。（クリーニング方法は、ご使用のインクによって異なりますのでご注意ください。）

前述の方法で解消できなかった場合は、ノズルの変更を行います。インクカートリッジにはノズルが2つ付いています。現在使用中のノズルがかすれている場合、もうひとつのノズルに切替えると正常に印刷される可能性があります。ノズルの変更方法については、[5.6 章](#)→[5.6.1 章](#)をご覧ください。  
バルクインク使用時、インクタンクとペンプリントヘッドを接続するチューブが折れている場合があります。もしチューブが折れ、チューブ内に 10cm 以上空気が残ってしまっている場合は、インクタンクとペンプリントヘッドを新しいものと交換してください。

## 8.1.3. 印刷距離の問題

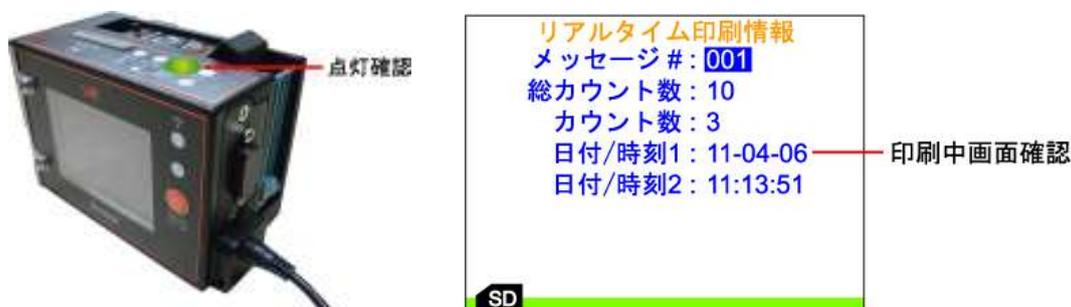


このように印刷されてしまった場合は、プリントヘッドとワークの距離をより近づけてください。プリントヘッドからワークまでの推奨距離は 5mm 以内 です。

## 8.2. 印刷が出ない場合

電源が入っているにも関わらず、全く印刷されない場合、以下の手順でご確認ください。

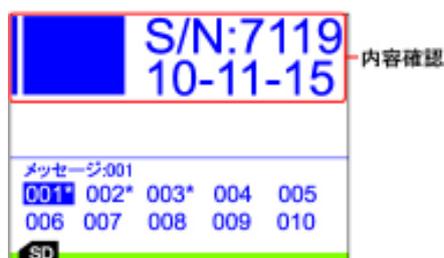
- ① **印刷状態の確認**…コントローラ上部の Print ランプは点灯していますか？また、印刷中画面が表示されていますか？点灯していない場合は、**印刷オンキー** (Print On) を押下して、印刷可能状態にしてください。



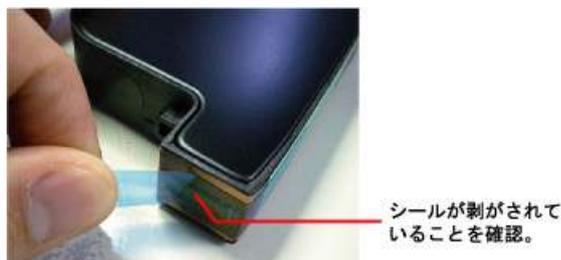
- ② **メッセージ番号の確認**…正しいメッセージ番号が選択されていますか？ディスプレイに表示されているメッセージ番号を再度確認してください。



- ③ **印刷内容の確認**…印刷の内容は入力されていますか？印刷を停止して、ディスプレイに表示されている印刷内容を再度確認してください。



- ④ **システム設定の確認**…システム設定が変更されていませんか？印刷の諸設定を再度確認してください。
- ⑤ **インクカートリッジの確認**…新品のインクカートリッジを装填する際、プリントヘッドに貼ってある保護用シールを剥がしましたか？U2の電源が入っていないことを確認した後、カートリッジホルダから一旦カートリッジを外し、シールの有無を確認してください。



**インクカートリッジをホルダに再装填する際、引っかかりなどあった場合は、無理に押し込まないよう**にしてください。カートリッジの先端が傷つき、印刷不良の原因となります。

- ⑥ **センサの確認**…センサは内蔵のものをご使用ですか、それとも外付けセンサをご使用ですか？5.6章→5.6.3章をご覧ください。センサの設定を確認し、設定が誤っている場合は、ご使用のセンサに合わせてください。
- ⑦ **エンコーダの確認**…エンコーダをご使用ですか？5.6章→5.6.4章をご覧ください。エンコーダ・ライン速度の設定を確認し、設定が誤っている場合は、正しく変更してください。また、エンコーダを使用していて、なおかつ設定も合っている場合は、エンコーダがコンペアと接触し、正しく回転しているか確認してください。
- ⑧ **インク残量の確認**…インクは残っていますか？各種設定キー  を押下後、システム設定→U2について→インク情報の INK 項目をご確認ください。

### 8.3. Alarm ランプが点灯している

コントローラ上部の Alarm ランプが点灯している場合、5.5 章→5.5.1 章をご覧ください、**自己診断テスト**を行ってください。診断後、表示されたテスト結果に合わせて、以下の対処法を行ってください。

- カートリッジなし：** インクカートリッジを挿入してください。インクカートリッジが挿入されている場合は、正規品かどうか確認してください。
- 無効なカートリッジです：** 有効な新しいインクカートリッジと交換してください。交換しても Alarm が消えない場合は、ソフトウェアの更新が必要かもしれません。
- インクがありません！：** 新しいインクカートリッジと交換してください。
- 無効な SD カードです！：** 異なるコントローラの SD カードを挿したときに表示されます。5.2 章→5.2.7 章をご覧ください、**初期値へリセット**を行ってください。

### 8.4. リモコンキーパッドで動作しない

リモコンキーパッドのキーを押下しても何も動作しない場合、以下の手順でご確認ください。

- ① **受信状態の確認**…コントローラ正面右側の赤外線受光ランプは点灯していますか？点灯していない場合は、その下にある**リモートオン・オフキー**を押下して、赤外線受光可能状態にしてください。



- ② **保護フィルムの確認**…保護フィルムが挟まっていますか？開梱時には電池ホルダに保護フィルムが挟まれていますので、挟まったままの場合は、抜いてください。



- ③ **電池の確認**…リチウム電池が消耗しているかもしれません。電池切れの際は交換が必要です。交換用の電池は、電器店、カメラ店などでゲーム用、電卓用などとして市販されている電池（型番：**CR2025**）をご購入ください。

## U2 ユーザマニュアル

リモコン裏面、下側にある電池ホルダを引き出します。つまみを引き、ホルダを手前に引き出してください。新品の電池と交換し、ホルダを戻します。この時+、-を間違えないようにしてください。



### 8.5. その他

- **電源が入らない。**⇒コンセントが抜けていないか確認してください。モバイルタイプの場合は、バッテリーが挿入されているか確認してください。バッテリーが挿入されているのに電源が入らない場合は、バッテリーの残量が不足していることが考えられます。バッテリーの充電を行ってください。
- **電源投入後、英語メニューの画面が表示される。**⇒電源ボタンを長押しして起動しますと、メンテナンス用の画面が表示されてしまいます。電源投入時、電源ボタンは長押ししないでください。
- **電源投入後、エラーメッセージ CODE5 の画面が表示される。**⇒電源ケーブルをコントローラに挿し込む、または、電源プラグをコンセントに挿し込む方法で起動した場合、また、U2 モバイルで、主電源スイッチを入れて起動した場合、まれにこのメッセージが表示されることがあります。電源ボタンを長押しして一旦電源を落とし、再度電源ボタンを押して起動して、同メッセージが表示されなければ問題ありません。もし、電源ボタンで起動しても同メッセージが表示される場合は、弊社サポート課へご連絡ください。
- **「インクカートリッジなし」が表示される。**⇒インクカートリッジが挿入されているのに、「インクカートリッジなし！」が表示される場合は、インクカートリッジが U2 専用の正規のものかご確認ください。正規品ではない場合、インクカートリッジは認識されません。
- **メッセージの編集ができない。**⇒「行数指定なしのメッセージは編集できません！」の画面が表示され、編集ができないメッセージは、コントローラ上から編集はできません。MessagePRO を使用して編集してください。  
また、上記の画面が表示されないにも関わらず、編集ができない場合は、編集権限のないユーザでログインしている可能性があります。編集権限のあるユーザでログインし直してください。
- **データがとんでしまった。**⇒誤操作などでデータがとび、正常な印刷をしなくなった場合は、データの復旧を行います。U2 には、専用ソフトウェア MessagePRO が添付されていますが、その機能の1つとして PC にデータをバックアップしておく機能があります。納入直後にデータがバックアップされていれば、その状態にデータを復旧することができます。（バックアップしていない場合は、復旧できません。）データのバックアップ・リストアの詳細については MessagePRO ユーザマニュアルをご覧ください。

## 9. お問い合わせ

トラブルシューティングを行っても解決しないトラブルや、機器の故障、技術的なご質問がある場合は、下記の電話番号にお問い合わせください。

**山崎産業株式会社 サポート課**

**TEL : 043-463-4500**

受付時間：平日 9:00~17:00